docomo PRO series
HT-01A

ISSUE DATE: '08.10

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

docomo

ドコモ
W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

このたびは、「docomo PRO series HT-01A」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。HT-01Aはお客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
・「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
　http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

本書は次のような検索方法で、知りたい機能や検索方法を探せます。

索引から　P.228

機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。

表紙インデックスから　表紙

表紙右端のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

P.2～P.3で詳しく説明しています。

目次から　P.4

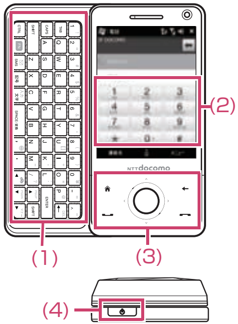
目的ごとに分類された目次から探します。

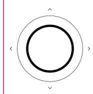
メニュー一覧から　P.210

FOMA端末に表示されるメニューから探します。

- この『HT-01A取扱説明書』の本文中においては、『HT-01A』を『FOMA端末』と記載させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDカードが必要となります。microSDカードについて→P.112
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書では、ボタンやアイコンの表記を次のように省略しています。



	実際のボタン／アイコン	本書での表記例
(1)	キーボードの	を押します。
(2)	ディスプレイの 1	「1」をタップします。
(3)	ボタン	を押します。
	ボタン	を押します。
		を押します。※
		を押します。※
		(決定)を押します。
		ナビゲーションコントロールの周囲をなぞります。
(4)	ボタン	を押します。

※： 、 など、まとめて記載する場合があります。

- 本書では、操作手順を次のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているアイコンを指やスタイラスで軽くたたいて選択する動作です。

表　記	意　味
「スタート」→「設定」→「個人用」タブ	ディスプレイに表示されている スタート をタップし、表示されるメニューリストから「設定」をタップし、「個人用」タブをタップする
、 をタップする	ディスプレイに表示されている 、 をタップする

本書の見かた／引きかた（つづき）

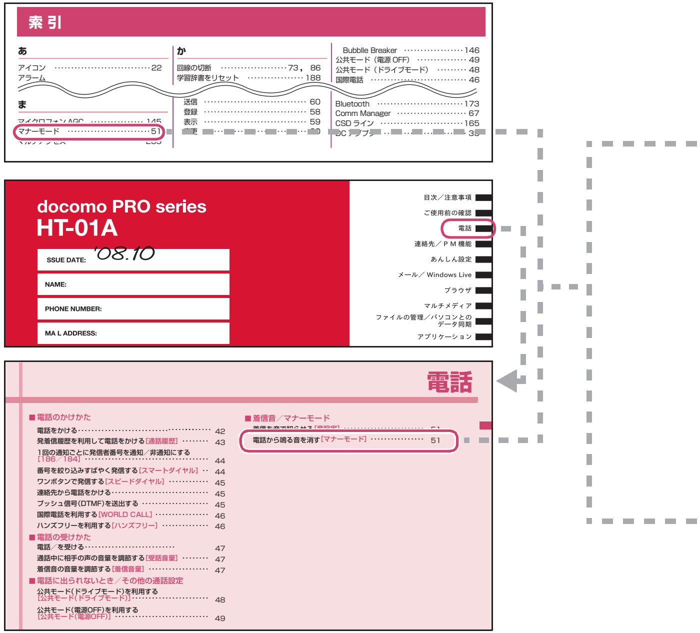
「電話から鳴る音を消す（マナーモード）」の記載ページを探すときを例として説明します。

索引から

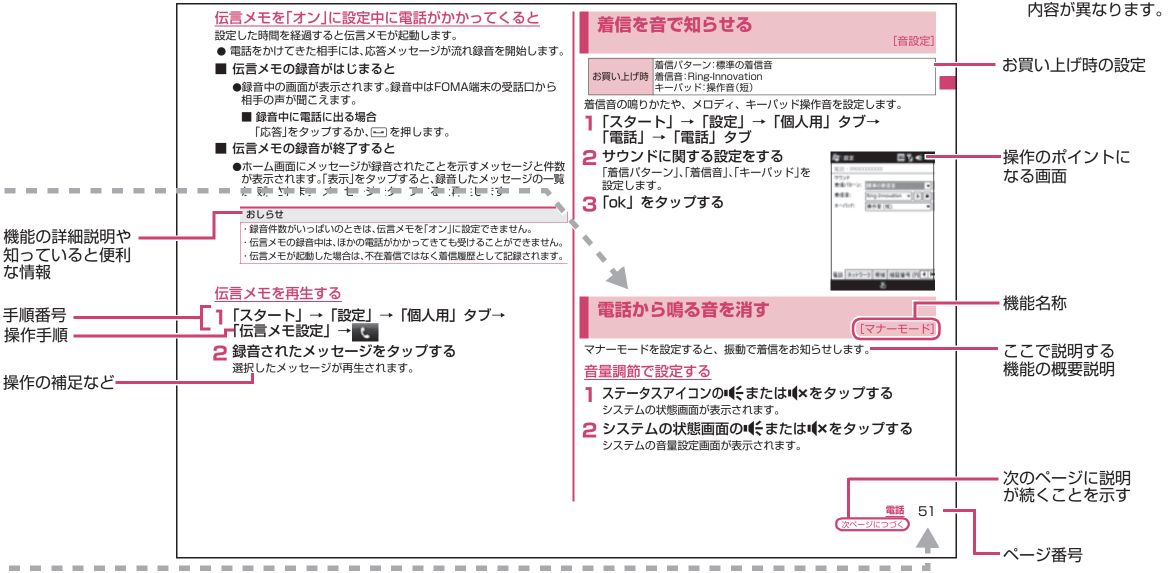
機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

表紙インデックスから

「表紙」→「章扉（章の最初のページ）」→「説明ページ」の順に設定したい機能の説明ページを探します。
章扉には詳しい目次も掲載されています。



※:本文中のページとは
内容が異なります。



伝言メモを「オン」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

● 電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。

■ 伝言メモの録音がはじまると

●録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

■ 録音中に電話に出る場合

「応答」をタップするか、[ボタン]を押します。

■ 伝言メモの録音が終了すると

●ホーム画面にメッセージが録音されたことを示すメッセージと件数が表示されます。「表示」をタップすると、録音したメッセージの一覧

おしらせ

・録音件数がいっぱいのときは、伝言メモを「オン」に設定できません。
・伝言メモの録音中は、ほかの電話がかかってきても受けることができません。
・伝言メモが起動した場合は、不在着信ではなく着信履歴として記録されます。

伝言メモを再生する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「伝言メモ設定」→[アイコン]

2 録音されたメッセージをタップする

選択したメッセージが再生されます。

着信を音で知らせる

[音設定]

お買い上げ時	着信パターン:標準の着信音 着信音:Ring-Innovation キーパッド:操作音(短)

着信音の鳴りかたや、メロディ、キーパッド操作音を設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「電話」タブ

2 サウンドに関する設定をする

「着信パターン」、「着信音」、「キーパッド」を設定します。

3 「ok」をタップする

電話から鳴る音を消す

[マナーモード]

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

音量調節で設定する

1 ステータスアイコンの[アイコン]または[アイコン]をタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面の[アイコン]または[アイコン]をタップする

システムの音量設定画面が表示されます。

電話 51

次ページにつづく

● 本書では主に、ホーム画面からの操作手順を記載しています。また、操作説明の画面は、説明に必要な部分をクローズアップして記載していることがあります。

● 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目　次

HT-01Aの主な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■ 高速通信対応　→P.179

- FOMAハイスピードエリア対応で、最大受信速度7.2Mbps、最大送信速度384kbpsでデータの送受信を行います。

※：最大7.2Mbps・最大384kbpsとは、規格上の最大値であり、実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsによる通信となります。

■ 国際ローミング　→P.204

- 日本国内でお使いのFOMA端末・電話番号が海外でもそのまま使えます（GSM・3Gエリアに対応）。音声電話、SMSを利用できます。

■ Windows Mobile 6.1を搭載

- Windows Mobile 6.1の搭載により、パソコンとのデータ連携やWindows Liveなどのサービスを利用できます。

■ メール　→P.72

- ドコモの携帯電話とSMSのやり取りができます。
- mopera U端末設定で、mopera Uのメール設定を簡単に行えます。
- ｉモード端末やパソコンなどと電子メールのやり取りができます。

■ ブラウザ　→P.81

- パソコン向けのインターネットホームページを見ることができます。
- OperaとInternet Explorerの2つのブラウザを利用できます。

■ ワイヤレス通信　→P.174、P.177

- ワイヤレスLAN機能やBluetoothを使ってネットワークに接続し、データを送受信できます。

■ タッチパネルを利用した便利な操作　→P.29

- HT-01Aのディスプレイを指でなぞってアイコンを直接タップしたり、絵や文字を描くことができます。
- TouchFLO 3D（タッチフロー）インタフェースを搭載し、ディスプレイ上を指で上下左右になぞることで、メニューやアプリケーションの選択ができます。
- ディスプレイ上を指でなぞることで、操作で画面の切り替えや画像の拡大表示などを行う、ジェスチャー操作も利用できます。
- ナビゲーションコントロールで項目を選択したり、画像の拡大／縮小表示ができます。

■ TouchFLO 3D　→P.29、P.131

ホーム画面から便利な機能を切り替えて利用できます。

- 表示されているタブをタップしたり、ドラッグして目的の機能を切り替えることができます。また、タッチパネルを左右になぞって切り替えることもできます。
- 現在時刻の表示、連絡先から電話をかけたり、メールの作成、音楽や動画コンテンツの視聴などのさまざまなプログラムを直接起動することができます。

■ セキュリティ

- 一定時間何も操作をしない状態が続くとき、他の人が使用できないようにボタンをロックすることができます（デバイスロック）。→P.68
- microSDカードにデータを保存するとき、データを暗号化して保存するように設定することができます（暗号化）。→P.113
- 外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知をすることができます（スキャン機能）。→P.162

■ 連絡先／PIM機能　→P.55

- 「連絡先」には名前、電話番号、メールアドレスのほかにさまざまな個人データを登録することができます。
- 仕事の状況確認や予定表の登録など、スケジュール管理ができます。
- 連絡先や仕事、予定表はパソコンのMicrosoft Outlookと同期を取ることができます。

■ カメラ機能　→P.92

- タッチパネルを利用した簡単な操作で静止画や動画を撮影できます。
- オートフォーカス機能によりピント合わせが自動的に行われます。
- 撮影した静止画や動画は、フォトアルバム／ビデオアルバムで見ることができます。

■ 音楽や動画の再生　→P.101

- タッチパネルを利用した簡単な操作で、音楽、静止画、動画の再生ができます。→P.29
- Windows Media Playerで音楽や動画の再生ができます。パソコンに保存したライブラリと同期することもできます。

■ YouTube　→P.105

- インターネットホームページやYouTubeでストリーミング配信されている動画コンテンツを見ることができます。

■ GPS　→P.148

- GPS機能を使って、現在地情報を入手できます。

■ Officeアプリケーション　→P.123

- パソコンで作成したWordファイル、Excelファイル、PowerPointファイルを見ることができます。WordファイルやExcelファイルは編集することもできます。
- パソコンで作成したPDFファイルを見ることができます。

■ 便利なツール　→P.143

- FMラジオやボイス レコーダー、ゲームなども楽しめます。
- MP3 TrimmerでMP3ファイルを切り出して保存したり、着信音に設定したりできます。
- RSS Hubでインターネットから最新のニュースをダウンロードすることができます。

■ 文字入力機能　→P.187

- HT-01AのQWERTYキーボードとソフトウェアキーボード(入力パネル)が利用できます。
- 予測変換を利用して効率よく日本語の入力ができます。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス(有料)※
- キャッチホン(有料)※
- 転送でんわサービス(無料)※
- 迷惑電話ストップサービス(無料)

※：お申し込みが必要です。

HT-01Aのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモード機能(ｉモードメール、ｉモードのサイト(番組)への接続、ｉアプリなど)には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、定額制料金サービス「パケ･ホーダイ」／「パケ･ホーダイフル」／「パケ･ホーダイ ダブル」はご利用いただけません。大量のパケット通信を行う場合には、「Biz･ホーダイ」／「Biz･ホーダイ ダブル」のご契約をおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。**
⚠警告	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。**
⚠注意	**この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。**

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	**禁止（してはいけないこと）を示します。**	水濡れ禁止	**水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。**
分解禁止	**分解してはいけないことを示す記号です。**	指示	**指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。**
濡れ手禁止	**濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。**	電源プラグを抜く	**電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。**

■ 「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止	**火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。** 機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。 また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。
分解禁止	**分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。** 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
水濡れ禁止	**濡らさないでください。** 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
指示	**FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。** 指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。 電池パック HT02 FOMA ACアダプタ 01／02 FOMA DCアダプタ 01／02 FOMA 海外兼用ACアダプタ 01 FOMA 乾電池アダプタ 01 FOMA充電機能付USB接続ケーブル 01 ※：その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止	**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ(充電器含む)、FOMAカードを入れないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。
禁止	**強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
禁止	**充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。** ショートによる火災や故障の原因となります。
指示	**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。**
指示	**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。** **1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。** **2. FOMA端末の電源を切る。** **3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。** そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。** 落下して、けがや故障の原因となります。
禁止	**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。** 故障の原因となります。
指示	**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。** けがなどの原因となります。

⚠注意

指示	**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。
指示	**FOMA端末をアダプタ(充電器含む)に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。** 充電しながらＦＭラジオの聴取などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ(充電器含む)の温度が高くなることがあります。 温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。** 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。
禁止	**エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。** エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止	**医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。** FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。
禁止	**FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。** 火災、感電、故障の原因となります。

⚠警告

指示	**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
指示	**ハンズフリーに設定して通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。** **また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。** 音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
指示	**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。** 心臓に影響を与える可能性があります。
指示	**屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。** 落雷、感電の原因となります。
指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※：ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
指示	**万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。** ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止	**ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。** 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
禁止	**磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。** キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
禁止	**FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。** 強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。
禁止	**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。** **液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。** **また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。** 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
禁止	**着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。** 難聴になる可能性があります。
指示	**自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。** 安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

⚠注意

指示	**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。** 下記の箇所に金属を使用しています。 ・使用箇所：

使用箇所	素材	表面処理
本体キャビネット（ディスプレイ周辺）	ステンレススチール	該当なし
カメラプレート	アルミ	ヘアライン
ミニUSB端子	ステンレススチール	該当なし

⚠注意

指示	**FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。** けがなどの事故や破損の原因となります。

3.電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止	**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。** **また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**火の中に投下しないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
禁止	**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
指示	**電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。** 失明の原因となります。

⚠警告

禁止	**落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
指示	**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。** 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
指示	**電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。** 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
指示	**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。** 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

次ページにつづく

⚠注意

禁止	**一般のゴミと一緒に捨てないでください。** 発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
禁止	**濡れた電池パックを充電しないでください。** 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。
指示	**電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。** 皮膚に傷害を起こす原因となります。

4.アダプタ（充電器含む）の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。** 感電、発熱、火災の原因となります。
禁止	**ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。** 感電の原因となります。
禁止	**DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。** 火災の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ(充電器含む)には触れないでください。** 落雷、感電の原因となります。
禁止	**コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。** 火災、故障、感電、傷害の原因となります。

⚠警告

禁止	**充電中は、充電器を安定した場所に置いてください。また、充電器を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。** FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。
禁止	**アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。** 感電、火災の原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手でアダプタ(充電器含む)のコード、コンセントに触れないでください。** 感電の原因となります。
指示	**指定の電源、電圧で使用してください。** 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。 ACアダプタ：AC100V DCアダプタ：DC12V・24V(マイナスアース車専用) 海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V (家庭用交流コンセントのみに接続すること)
指示	**DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。** 指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。
指示	**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。** 火災の原因となります。
指示	**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。** 感電、ショート、火災の原因となります。
指示	**アダプタ(充電器含む)をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。** コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

⚠警告

電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 感電、火災、故障の原因となります。
電源プラグを抜く	**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。** 感電、発煙、火災の原因となります。
電源プラグを抜く	**お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。** 感電の原因となります。

5.FOMAカードの取り扱いについて

⚠注意

指示	**FOMAカード(IC部分)を取り外す際は切断面にご注意ください。** 手や指を傷つける可能性があります。

6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

⚠警告

指示	**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。** ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。 ・病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。 ・自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。
指示	**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
指示	**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
指示	**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。** 電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

次ページにつづく

取り扱い上のご注意

共通のお願い

● 水をかけないでください。

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

● お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

・FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

● エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

● FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

● FOMA端末、アダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

● ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

FOMA端末についてのお願い

● タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなどの尖ったもので操作しないでください。タッチパネルが破損する原因となります。

● 極端な高温、低温は避けてください。

温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。

● 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

● お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。

故障、破損の原因となります。

● ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

● 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

● カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

● リアカバーを外したまま使用しないでください。

電池パックが外れたり、故障、破損の原因となります。

● FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。

FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。

● microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所
  ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、FOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、キーボード、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。

■ 周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
▬ ▬ ▬

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します

4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します

▬ ▬ ▬　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3.その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

● 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。

技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

● 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。

やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

● Bluetooth機能は日本国内で使用してください。

FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

● 無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。

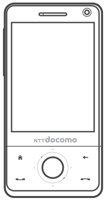
FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。

海外でご使用になると罰せられることがあります。

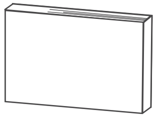
本体付属品および主なオプション品について

■ 本体付属品

HT-01A
（リアカバーHT02、
保証書含む）



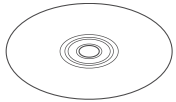
取扱説明書（本書）



電池パック HT02



CD-ROM（1 枚）

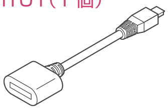


・お使いになる前にディスク
HT-01A をパソコンと同期させるソフトウェアなどが収録されています。
また、名刺リーダーやバックアップツールなどのソフトウェアも収録されています。

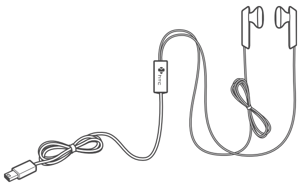
スタイラス HT02（1 本）



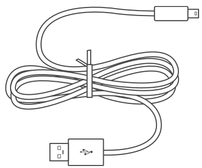
FOMA miniUSB 変換アダプタ HT01（1 個）



miniUSB ステレオヘッドセット HT02

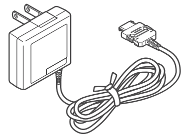


USB 接続ケーブル（試供品）



■ 主なオプション品

FOMA AC アダプタ

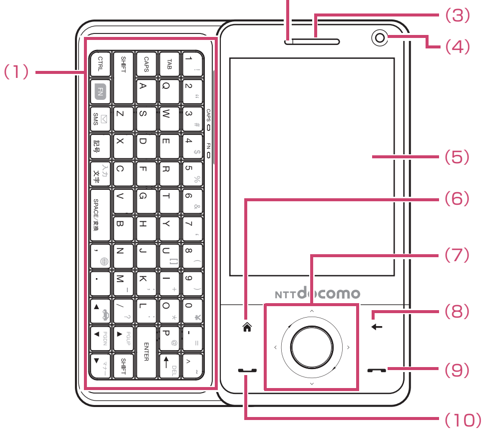


MEMO

ご使用前の確認

各部の名称と機能

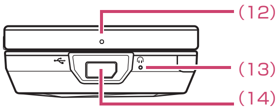
前面（開いたとき）



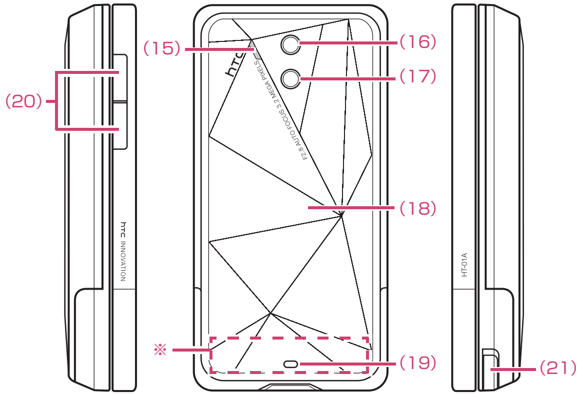
上側面



下側面

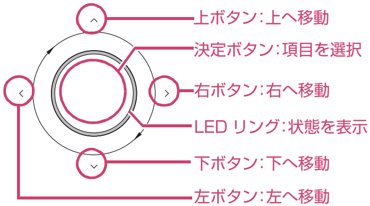


左側面　背面　右側面



※アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で電話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

名称	説明
(1)キーボード	文字や記号を入力します(P.188)。
(2)光センサー	周囲の明るさを検知し、画面の明るさを自動的に調節します。
(3)受話口	相手の声が聞こえます。
(4)内側カメラ	自分撮影用に使用します。
(5)ディスプレイ	指で直接画面にタッチして項目を選択したり、画面の上をなぞってスクロールできます(付属のスタイラスでも、項目の選択や画面のスクロールができます)。
(6)ホームボタン(🏠)	ホーム画面を表示します。

名称	説明
(7)ナビゲーション コントロール	 ・上／下／左／右ボタンを押すとカーソルが移動します。 ・決定ボタンを押すとカーソルがある項目を選択します。 ・ナビゲーションコントロールの周囲を時計回りになぞると拡大表示、反時計回りになぞると縮小表示します(P.21)。 ・LEDリングが点灯／点滅して端末の状態を示します(P.22)。
(8)戻るボタン( )	前画面に戻ります。
(9)終了ボタン( )	・通話を終了します。 ・待受画面で1秒以上押すとFOMA端末はロックされ、タッチパネルやボタンの操作ができなくなります。 ・着信時は点灯します。
(10)開始ボタン( )	・電話をかけたり受けたりします。 ・通話中に保留／保留解除を切り替えます。 ・待受画面で1秒以上押すと割り当てたプログラムが起動します(P.166)。 ・通話中に1秒以上押してスピーカーフォンのオン／オフを切り替えます。 ・着信時は点滅します。
(11)電源ボタン( )	・電源をオン(2秒以上押す)／電源をオフ(5秒以上押す)します(P.38)。 ・ボタンを短く押すと、スリープモードの設定／スリープモードの解除を行います。
(12)送話口	音声を送ります。
(13)リセットボタン	スタイラスの先で押すと、FOMA端末がリセットされます(P.169)。
(14)外部接続端子	付属のFOMA miniUSB変換アダプタやUSB接続ケーブル(試供品)、miniUSBステレオヘッドセットを接続します。

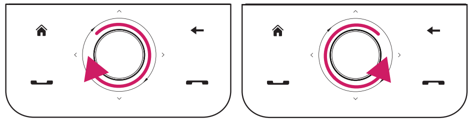
名称	説明
(15)スピーカー	着信音やスピーカーフォン通話中の相手の声などが聞こえます。
(16)外側カメラ	静止画や動画の撮影に使用します。
(17)フラッシュライト	カメラ撮影時のフラッシュライトが点灯します。
(18)リアカバー	電池パックやFOMAカード、microSDカードの取り付けや取り外しができます。
(19)ストラップ取付穴	ストラップを取り付けます(P.36)。
(20)音量ボタン(／)	音量を調節します。 ※:実際のボタンには▲／▼は印字されておりませんが、本書に記載しているボタンは、▲／▼を入れて説明しています。
(21)スタイラス	文字や絵を描いたり、項目の選択に使用します。 ※:スタイラスには磁石が内蔵されているため、クレジットカードなどの磁気カードを近づけないでください。

ナビゲーションコントロール

ナビゲーションコントロール（上、下、左、右、決定ボタン）を操作して、項目を選択したり、拡大／縮小表示したりできます。

拡大／縮小表示する

ナビゲーションコントロールの周囲を時計回りになぞると拡大表示し、反時計回りになぞると縮小表示することができます。



拡大表示　　縮小表示

おしらせ

ナビゲーションコントロールで拡大／縮小表示できるのは以下のアプリケーションのみです。

- カメラ
- アルバム
- Operaブラウザ
- Word Mobile
- Excel Mobile
- Adobe Reader LE

LEDリングの動作

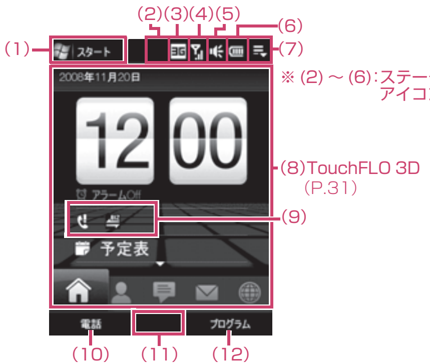
ナビゲーションコントロールのLEDリングが点灯／点滅して、FOMA端末の状態を表示します。

LEDリングの動作	FOMA端末の状態
ゆっくり点滅	充電中
点灯	充電完了
約12秒ごとに1回点滅	電池残量が10%以下
早く点滅	着信中
上下が同時に2回ずつ点滅	新着メール、ボイスメッセージ、アラーム通知あり
反時計回りに2回ずつ点滅	不在着信、新着SMSあり

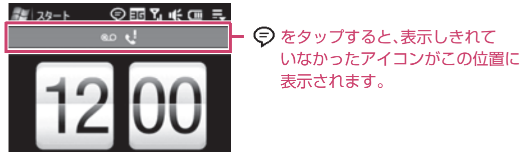
ディスプレイの見かた

［ホームスクリーン］

ディスプレイには、FOMA端末の状態、操作や設定を行うためのアイコンなどが表示されます。
画面上でそれぞれのアイコンをタップすると、プログラムが起動します。



ホーム画面（ホーム）表示例



通知内容表示例

	アイコン	説明
(1)		スタートメニューを表示
(2)		コネクション確立
		通知内容を表示
		新着メールあり（P.75）
		新着SMS（P.77）、留守番電話の通知（P.197）
		新着Windows Live メッセージあり（P.78）
		不在着信通知
		ボイスメッセージあり（P.197）
		スピーカーフォンがオン（P.48）
		ローミング中
		アラームの設定あり（P.149）
		ワイヤレスネットワーク検出（P.174）
		ヘッドセット検出

	アイコン	説明
(2)		Bluetooth通信機能がオン(P.177)
		Bluetooth検出可能モード(P.177)
		Bluetoothビーム受信中(P.179)
		Bluetoothヘッドセット接続中
		ActiveSync実行中(P.114)
		パソコンとの同期エラー
(3)		GPRS(General Packet Radio Services)通信が有効(ローミング中のみ表示)
		EDGE通信が有効(ローミング中のみ表示)
		HSDPA通信が有効(ローミング中のみ表示)
		3G(パケット)ネットワーク使用可能
		ワイヤレスLAN機能がオン(P.174)
		ワイヤレスLAN接続中(P.174)
		ワイヤレスLAN接続で通信中(P.174)
		接続有効
		接続無効
		パソコンと同期中
		GSM環境で音声通信が利用可能
(4)		GPRS接続中(ローミング中のみ表示)

	アイコン	説明
(4)		GPRS使用中(ローミング中のみ表示)
		EDGE接続中(ローミング中のみ表示)
		EDGE使用中(ローミング中のみ表示)
		HSDPA接続中(ローミング中のみ表示)
		HSDPA使用中(ローミング中のみ表示)
		3G(パケット)接続中
		3G(パケット)使用中
		電波の受信レベル表示(P.38)
		電話機能がオフ(P.69)
		圏外(P.38)
		オプションサービス検索中
		音声通話中(P.44)
		通話保留中(P.44)
		通話転送中
		FOMAカード未挿入時にダイヤル
(5)		FOMAカード未挿入(P.34)
		マナーモード設定(P.53)
		サウンドオン(P.49、P.53)

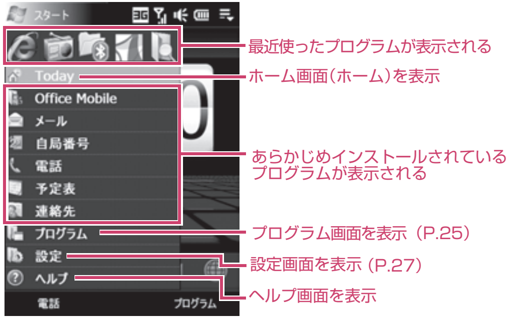
次ページにつづく

	アイコン	説明
(5)		サウンドオフ(P.49、P.53)
(6)		バッテリー残量を表示(P.37)
		バッテリー充電中(P.37)
(7)		クイックメニューを表示(P.33)
	ok	設定を確定
		アプリケーションを終了
(9)		通話履歴の表示(P.45)
		マナーモードオン設定中(P.53)
		公共モード(ドライブモード)オン設定中(P.50)
		フライトモードオン設定中(P.69)
	BIZ	Biz･ホーダイアプリの起動状態表示(P.185)
		伝言メモあり(P.52)
(10)	電話	タップして電話をかける(P.44)
(11)	あ	ひらがな入力モード(P.188)
	カ	全角カタカナ入力モード(P.188)
	ｶﾅ	半角カタカナ入力モード(P.188)
	A	全角大文字英字入力モード(P.188)
	AB	半角大文字英字入力モード(P.188)
(11)	a	全角小文字英字入力モード(P.188)
	ab	半角小文字英字入力モード(P.188)
	1	全角数字入力モード(P.188)
	12	半角数字入力モード(P.188)
		手書き検索モード(P.192)
		手書き入力モード(P.191)
(12)	プログラム	タップしてプログラムを表示(P.141)

メニューから機能を選択する

［スタートメニュー］

ホーム画面左上の「スタート」をタップすると、スタートメニューが表示されます。項目をタップしてプログラムを起動します。



おしらせ

・スタートメニューを小さく表示することもできます。「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「TouchFLO」→「大きいスタートメニューを有効にする」のチェックを外します（P.151）。

プログラム一覧

■「スタート」メニューに表示されるプログラム一覧

アイコン	説明
	Today ホーム画面を表示します（P.132）。
	Office Mobile Office文書の作成や表示ができます（P.123）。
	メール メール、SMSの送受信ができます（P.72）。
	自局番号 自局電話番号を表示します（P.40）。
	電話 電話の発着信などを行います。また、サービス設定などができます（P.43）。
	予定表 カレンダーにスケジュールを登録します（P.60）。
	連絡先 友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します（P.56）。
	プログラム プログラム一覧を表示します（P.25）。
	設定 各種設定を行います（P.27）。
	ヘルプ ヘルプ情報を表示します。

■「プログラム」に表示されるプログラム一覧

アイコン	説明
	ゲーム Bubble Breaker、Teeterとソリティアの3種類のゲームがあります（P.146）。
	SecurityScan FOMA端末に取り込んだデータやプログラムをスキャンします（P.162）。
	ActiveSync FOMA端末とパソコンの間で情報の同期ができます（P.114）。
	Adobe Reader LE PDFファイルを表示します（P.129）。
	Bluetooth Explorer Bluetooth対応機器どうしでファイル交換などのデータ通信ができます（P.177）。
	Comm Manager 通話および通信機能のオンとオフを切り替えます（P.69）。
	FM Radio FMラジオを聴くことができます（P.144）。

アイコン	説明
	Internet Explorer インターネットホームページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます(P.86)。
	Messenger Messengerを起動します(P.78)。
	mopera Uへようこそ(またはmopera U端末設定) mopera Uの設定や端末設定を行います(P.73、P.183)。
	MP3 Trimmer MP3ファイルを切り出したり、着信音に設定できます(P.154)。
	NAVITIME 地図検索や乗換案内などが利用できます(P.147)。
	Opera Browser インターネットホームページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます(P.83)。
	RSS Hub RSSリーダーを使用して、インターネットから最新のニュースをダウンロードし、更新することができます(P.155)。
	SIMマネージャ FOMAカードに保存されている連絡先を管理します(P.57)。
	Windows Live Microsoft社が提供するオンラインサービスを利用します(P.77)。
	Windows Media 音楽や動画を再生できます(P.101)。
	YouTube 動画コンテンツを視聴できます(P.105)。
	Zip ZIPフォーマットの書庫ファイルを利用します(P.113)。
	アルバム 静止画や動画を再生します(P.97)。
	インターネット共有 FOMA端末からのインターネット接続を、他のパソコンなどから利用します(P.179)。
	オーディオブースター 音声出力の音質を調節します(P.106)。
	カメラ 静止画や動画を撮影します(P.92)。

アイコン	説明
	クイック GPS インターネットから最新の衛星データをダウンロードして位置情報を検出できます(P.148)。
	ストリーミングメディア ストリーミング動画を再生します(P.104)。
	ファイル エクスプローラ ファイルの整理や管理をします(P.110)。
	ボイス レコーダー 音声の録音や再生ができます(P.145)。
	ボイス短縮ダイヤル 連絡先やプログラムにボイスタグを割り当て、ボイスタグを発声して電話をかけたりプログラムを起動したりできます(P.153)。
	メモ 入力パネルでタップまたは手書きしたメモを作成します(P.63)。
	リモートデスクトップモバイル ネットワーク内のパソコンをFOMA端末から操作できます(P.181)。
	画像とビデオ FOMA端末本体やmicroSDカードに保存されている静止画や動画の表示、整理、並べ替えができます(P.100)。
	検索 FOMA端末に保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します(P.113)。
	仕事 現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます(P.58)。
	伝言メモ 伝言メモに関する設定ができます(P.52)。
	電卓 加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます(P.146)。

■「お使いになる前にディスク」からインストールするプログラム一覧

お使いになる前にディスクからインストールする方法は、「お使いになる前にディスク」から利用できる機能（P.157）を参照してください。

アイコン	説明
	Sprite Backup FOMA端末のデータをmicroSDカードにバックアップできます(P.158)。
	WorldCard Mobile カメラで名刺を撮影して、記載されている内容を連絡先に登録できます(P.159)。
	辞書ウォーカー英語 英単語の対訳、成句、用例などを調べることができます(P.158)。
	英語で反義GO！ 英語の反義語の知識をゲームで試せます(P.159)。

各種設定について

「スタート」→「設定」をタップした後、画面下部にあるタブ（「個人用」／「システム」／「接続」）をタップすると、各種設定を行うアイコンが表示されます。

■「個人用」の設定

アイコン	説明
	Today ホーム画面に表示されるアイテムや画面の配色(テーマ)をカスタマイズできます(P.150)。
	オーナー情報 個人情報の入力ができます(P.41)。
	キーボード スライディングサウンド FOMA端末を開いたり閉じたりするときの効果音を設定します(P.189)。
	ボイス短縮ダイヤル 連絡先やプログラムにボイスタグを割り当てます(P.153)。
	ボタン ハードウェアボタン(［—］)へのプログラム割り当てや上下ボタンの動作の調整をします(P.166)。
	メニュー スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます(P.151)。
	ロック デバイスロックのパスワードの設定ができます(P.68)。
	伝言メモ設定 伝言メモに関する設定ができます(P.52)。
	入力 文字入力や手書き入力に関する設定をします。
	電話 着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、ネットワークサービスなどに関する設定ができます(P.53、P.40、P.67、P.208)。
	音と通知 イベントや通知、その他のサウンドを有効にして、イベントごとに異なる種類の通知を設定できます(P.150)。

■「システム」に関する設定

アイコン	説明
	G-Sensor ゲーム(Teeter)を行うときに、FOMA端末の水平位置を設定します。
	TouchFLO タッチスクリーン上をスクロールしたりパンするときの効果音の設定、スタートメニューの表示サイズやステータスアイコンの拡大表示を設定します(P.151)。
	Windows Update Windows Mobileを最新の状態に更新します(P.220)。
	エラー報告 エラー報告機能の有効／無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとFOMA端末の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。

次ページにつづく

アイコン	説明
	カスタマ フィードバック システムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。
	ストレージをクリア メモリからすべてのデータとファイルを消去し、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します(P.168)。
	タスクマネージャ 現在実行中のアプリケーションの確認や終了方法などを設定します(P.33)。
	デバイス情報 ファームウェアのバージョン、ハードウェア、ID、通話時間などの情報を表示します(P.167)。
	バージョン情報 OSのバージョンや著作権情報を確認します(P.167)。
	プログラムの削除 インストールしたプログラムを削除します(P.165)。
	マイクロフォンAGC 録音中に自動的に音量調整します(P.146)。
	メモリ FOMA端末のメモリ割り当て状態とmicroSDカード情報を表示します(P.166)。
	地域 FOMA端末で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます(P.153)。
	外付け GPS 市販の外部GPS機器からGPSデータを取得するための設定を行います。
	時計とアラーム 日付と時間の変更や特定の曜日と時間にアラームを設定できます(P.39)。
	暗号化 microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します(P.113)。
	画面 タッチスクリーンの補正や文字サイズの変更をします(P.29、P.151)。
	管理プログラム 社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。

アイコン	説明
	証明書 インストールされている証明書についての情報を表示します(P.69)。
	電源 バッテリー残量を表示します。また、スリープモードへの移行時間やバックライトの明るさの設定ができます(P.37、P.152)。

■「接続」に関する設定

アイコン	説明
	Biz･ホーダイ接続設定/Biz･ホーダイ インストール Biz･ホーダイの設定、またはBiz･ホーダイアプリのインストールを行います(P.184)。 ※:アイコン名は、Biz･ホーダイアプリがインストールされているときは「Biz･ホーダイ接続設定」、Biz･ホーダイアプリがインストールされていないときは「Biz･ホーダイ インストール」になります。
	Bluetooth Bluetooth機能をオンにして、デバイスを検出可能モードに設定すると、他のBluetoothデバイスの検出ができます(P.177)。
	Comm Manager 通話および通信機能のオンとオフを切り替えます(P.69)。
	NW サービス ネットワークサービスの設定を行います(P.196)。
	PCへのUSB接続 パソコンとのUSBによる接続を、シリアル接続またはLAN接続に切り替えます(P.168)。
	Wi-Fi 有効なワイヤレスネットワークを検出します(P.175)。
	ドメインへの登録 FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がFOMA端末を管理できるように設定できます。
	ビーム FOMA端末がBluetoothで通信できるように設定します(P.179)。
	ワイヤレスLAN 有効なワイヤレスネットワークについての情報を表示し、ワイヤレスLAN設定をカスタマイズします(FOMA端末では使用できません)。

アイコン	説明
	**接続** FOMA端末がインターネットやプライベートのローカルネットワークに接続できるように、パケット通信(GPRS、3G)、Bluetoothなど、モデムの種類を設定します。
	**高度なネットワーク設定** GPRSの認証方式、CSD(Circuit Switch Data)接続を行うときに使用する回線の種類、SMSを使用するためのサービスを設定します(P.167)。

タッチパネルの使いかた

[TouchFLO 3D]

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっています。指や付属のスタイラスで画面に直接触れて操作します。

項目の選択

1 ディスプレイ上の項目をタップする

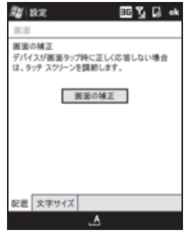


選択する項目を指やスタイラスで軽くたたきます。

■ タッチスクリーンのタップ位置を補正する場合

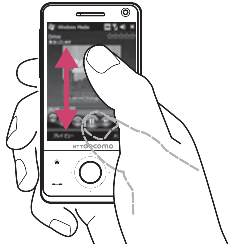
1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「画面」

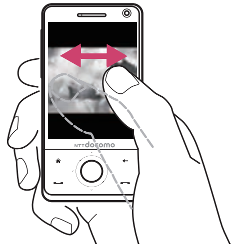
2 「配置」タブの「画面の補正」をタップした後、画面の指示に従って補正



項目の切り替え

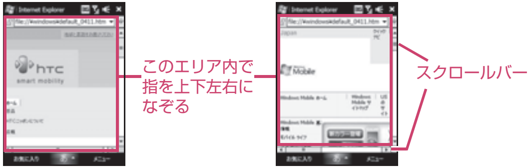
静止画や動画、楽曲などを表示しているときに、上下左右になぞると、前後の項目に切り替わります。





スクロール

Webページや連絡先、プログラム一覧などの表示中に、1画面で表示しきれないときに、上下左右になぞると表示できなかった部分をスクロールして表示することができます。



・スクロール中にディスプレイをタップすると、スクロールが止まります。

おしらせ

・表示しきれない部分がある場合は、スクロールバーが表示されます。スクロールバーが表示されているときのみスクロール操作ができます。

パン

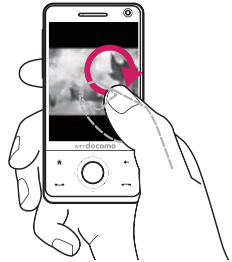
Webページやオフィスアプリケーションのドキュメント、静止画の拡大表示時など、1画面で表示しきれないときに、ディスプレイに触れたままドラッグすると、どの方向にも自由に画面を動かすことができます。



拡大表示

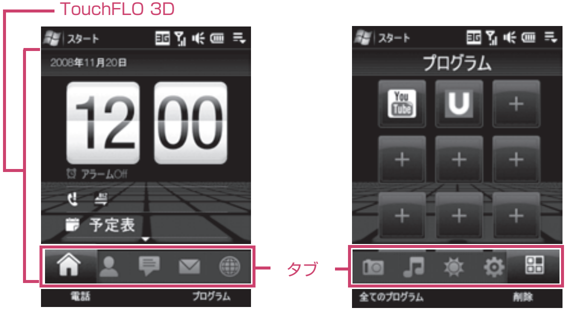
- Webページ表示時などに、ディスプレイを2回タップすると、画面が拡大表示されます。拡大表示時に2回タップすると、元の表示に戻ります。
- アルバム再生などで拡大したい部分を時計回りになぞると、その部分が拡大されます。反時計回りになぞると、元の表示に戻ります。



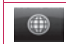


TouchFLO 3Dを利用する

TouchFLO 3Dは、ディスプレイ上を指で上下左右になぞってメニューの選択やアプリケーションの操作を行えるインタフェースです。電源を入れたり、[ホーム]を押すとホーム画面（ホーム）が表示されます。
ホーム画面に表示される10種類のタブを選択して、さまざまな操作を簡単に実行することができます。



ホーム画面（ホーム）　ホーム画面（プログラム）

タブ	説明
	**ホーム** 日時･アラーム設定、通話履歴･予定表の確認ができます（P.132）。
	**連絡先** 連絡先を15件登録し、電話･メール･SMSを発信できます（P.132）。
	**SMSメッセージ** SMSを発信できます（P.133）。
	**メール** 受信したメールの確認や、メールの作成、新しいメールアカウントの作成ができます（P.134）。
	**インターネット** Operaブラウザでインターネットに接続できます（P.135）。

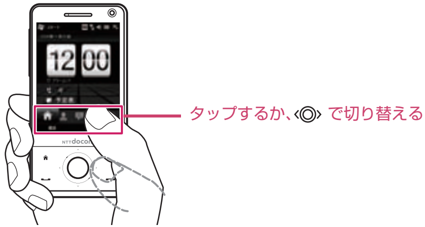
タブ	説明
	**画像とビデオ** 静止画／動画の再生や、カメラの起動ができます（P.135）。
	**ミュージック** 楽曲ファイルの再生ができます（P.137）。
	**天気** 天気情報が表示できます（P.140）。
	**設定** データの同期、サウンド、壁紙など基本的な設定ができます（P.141）。
	**プログラム** よく使うプログラムを登録し、すばやく起動させることができます（P.141）。

タブを切り替える

タブを切り替えるには、次の3つの方法があります。

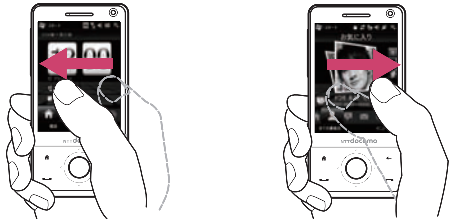
使用するタブを選択する

タブを直接タップするか、‹◎›で選択します。



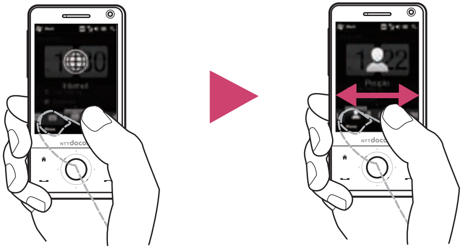
タッチパネルを左右になぞる

タッチパネルを左右になぞると、前後のタブの画面に切り替わります。



タブをドラッグする

現在表示されているタブをタップしたまま左右にドラッグして、表示したいタブのところで離します。

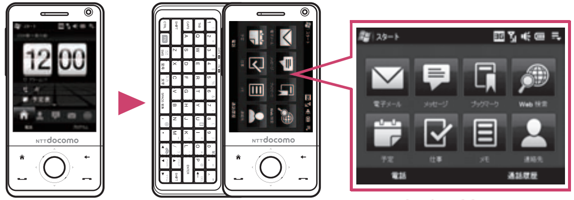


選択されているタブをタップしたままにする

そのまま左右にドラッグし、目的のタブが表示されたら離す

Action Menuを利用する

ホームスクリーン表示中に、本FOMA端末を開く(横方向にスライドする)とAction Menuが表示されます。表示されたアイコンをタップして、すばやく作業をはじめることができます。



横にスライド　　Action Menu

タブ	説明
	電子メール 受信したメールの確認や、メールの作成、新しいメールアカウントの作成ができます。
	メッセージ SMSを発信できます。
	ブックマーク Operaブラウザに任意のウェブサイトのURLを登録できます。
	Web検索 Operaブラウザの検索機能を使ってキーワードを入力して検索できます。
	予定 スケジュールの登録ができます。
	仕事 仕事の進捗など管理することができます。
	メモ 入力パネルでタップまたは手書きしたメモを作成します。
	連絡先 友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。

複数の機能を切り替えながら操作する

［クイックメニュー］

ホーム画面表示中は、クイックメニューで実行中のアプリケーションを確認して、必要に応じて終了させることができます。
タスクマネージャからも同様の操作を行えます。

クイックメニューを使う

1 ホーム画面表示中に画面右上の をタップする

クイックメニューが表示されます。

2 実行または終了する機能を選択する



タスクマネージャを使う

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「タスクマネージャ」→「実行」タブ

実行中のアプリケーションが表示されます。



2 終了するアプリケーションにチェックを付け、「選択したアイテムを終了」または「すべて終了」をタップする

3 「ok」をタップする

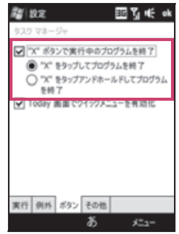
おしらせ

・アプリケーションは、終了させるまで起動中になっています。

・「X」ボタンで実行中のアプリケーションを終了するかどうかを設定できます。

「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「タスクマネージャ」→「ボタン」タブで、「"X"ボタンで実行中のプログラムを終了」にチェックを付ける→動作を選択→「ok」をタップする

チェックを付けない場合は、タスクマネージャまたはクイックメニューからアプリケーションを終了してください（実行中のアプリケーション画面の「X」ボタンをタップ（または1秒以上タップ）しても終了しません）。



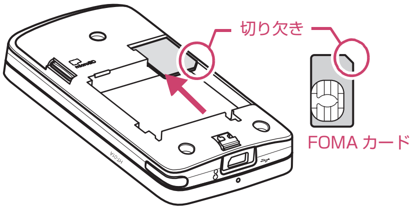
FOMAカードを使う

FOMAカードとはお客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。FOMAカードがFOMA端末に取り付けられていないと、通話やパケット通信の機能を使用することができません。

FOMAカードの取り付けかた

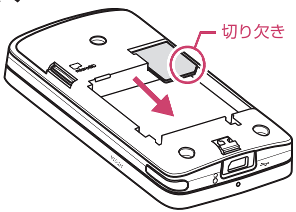
● FOMAカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切った状態で、電池パックを外してから行ってください(P.35)。

1 IC面を下にして、図のような向きで、FOMAカードを矢印の方向にカードスロットの奥まで差し込む



FOMAカードの取り外しかた

1 カードスロットからFOMAカードを矢印の方向にゆっくり引き抜く



おしらせ

・無理に取り付けようとしたり、無理に外そうとするとFOMAカードが壊れることがありますのでご注意ください。

・FOMAカードのIC部分に触れたり、傷をつけたりしないようご注意ください。

・FOMAカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）を含め音声発信できません。

FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます(P.66)。

FOMAカードの種類について

FOMAカードには2種類のバージョンがあります。本FOMAカードをご使用になる場合、以下のような機能差分があります。

機能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁
WORLD WING	利用不可	利用可
サービスダイヤル(P.201)	利用不可	利用可

WORLD WINGについて

WORLD WINGとは、FOMAカード(緑色／白色)とサービス対応端末で、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

・2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨をお申し込みいただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。

・2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。

・一部ご利用になれない料金プランがあります。

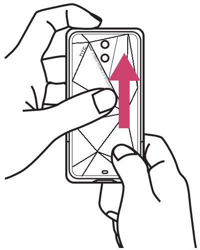
・万が一、FOMAカード(緑色／白色)を海外で紛失・盗難された場合には、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをとってください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の総合お問い合わせ先をご覧ください。なお、紛失された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

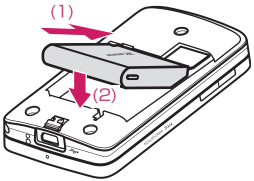
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 電池パックの取り付け／取り外しの際は、FOMA端末を手で持った状態で行うことをおすすめします。

取り付けかた

1 リアカバーの中央を矢印の方向へスライドさせて取り外す

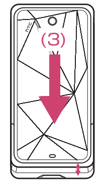


2 電池パックの注意書き面を下にして、電池パックとFOMA端末の金属端子が合うように、（1）の方向に取り付けてから、（2）の方向へはめ込む



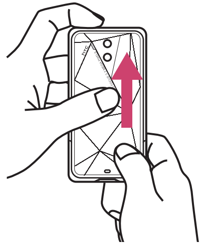
3 リアカバーをFOMA端末から約2～3mmずらして置く

4 FOMA端末とリアカバーにすき間ができないように（3）の方向にカチッと音がするまで押し込む

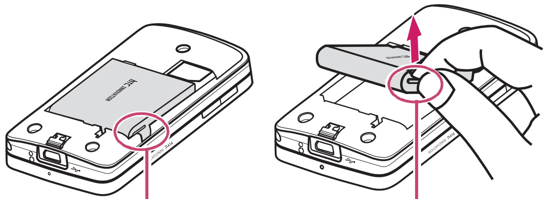


取り外しかた

1 リアカバーの中央を矢印の方向へスライドさせて取り外す



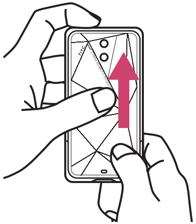
2 電池パックの右側の突起部分を利用して、矢印の方向に持ち上げて取り外す



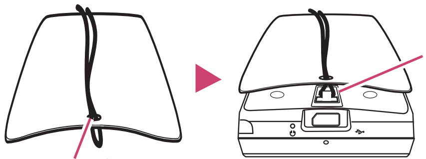
ストラップの取り付けかた

電池カバーを外して、本体下側にあるストラップ取付穴にストラップを通してください。

1 **リアカバーの中央を矢印の方向へスライドさせて取り外す**



2 **リアカバーの穴を通して、フックにストラップを掛ける**



3 **ストラップをはさまないようにリアカバーを閉める**

充電する

電池パックの寿命について

FOMA端末専用の電池パックHT02をご利用ください。

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらFMラジオの視聴などを長時間行うと電池パックの寿命が短くなることがあります。

Li-ion 00 環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

充電について

- 詳しくはFOMA ACアダプタ 01／02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ 01(別売)、FOMA DCアダプタ 01／02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタの電源プラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

電源を入れたままでの長時間(数日間)充電はおやめください

- 充電中にFOMA端末の電源を入れたまま長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れアラームが鳴ってしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を

行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタ、DCアダプタから外してもう一度セットして充電し直してください。

電池の使用時間の目安について

電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。

ネットワーク※	連続通話時間	連続待受時間
FOMA／3G	約220分	静止時：約400時間 移動時：約130時間
GSM	約240分	静止時：約240時間

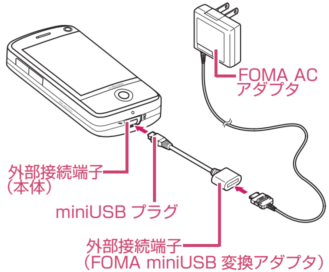
※：本FOMA端末で利用できるネットワークについてはP.204を、利用できる通信サービスの違いについてはP.205を参照してください。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合など）により、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。また、通話や通信をしなくても、メールを作成したり、カメラや内蔵アプリケーションなどの機能を使用すると、通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

ACアダプタでの充電方法

- 付属のFOMA miniUSB変換アダプタと別売のFOMA ACアダプタまたはFOMA DCアダプタを使って充電する場合の充電時間の目安は以下のとおりです。

充電時間の目安
約240分



1 ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にしてFOMA miniUSB変換アダプタの外部接続端子に水平に接続する

2 FOMA miniUSB変換アダプタをFOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

miniUSBプラグは差込口の広い方を上にして水平に差し込みます。

3 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

充電がはじまります。

・充電中はナビゲーションコントロールの周囲のLEDリングがゆっくり点滅します。充電が完了するとLEDリングが点灯します。電源が入っている場合、充電中はステータスアイコンにが表示され、充電が完了するとが表示されます。

4 充電が終わったら、FOMA miniUSB変換アダプタのminiUSBプラグをFOMA端末から引き抜く

5 ACアダプタのコネクタのリリースボタンを押しながら、FOMA miniUSB変換アダプタの外部接続端子から水平に引き抜く

6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

電池残量の確認のしかた

［電池残量］

電池の状態は、ホーム画面にアイコンで表示されています。

電池アイコン						
電池残量	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0	充電中

次ページにつづく

より詳しい電池残量は、次の手順で確認できます。

1 ステータスアイコンの をタップする



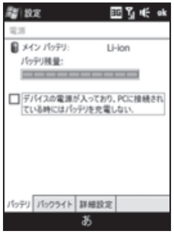
システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面の をタップする



電源画面が表示されます。

3 「バッテリ」タブをタップする



おしらせ

・電池残量は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「電源」→「バッテリ」タブをタップしても確認できます。

・システムの状態画面は、「ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する」を設定していないと表示されません(P.151)。

電池残量が少なくなったら

電池残量が少なくなると、警告メッセージが表示されます。その場合は、以下の方法で使用中のデータを保護してください。

● 使用中のデータをすぐに保存する。

● すぐに充電を開始する。

● すぐに充電できない場合は、データの紛失を防ぐために電源を切る。

電源を入れる／切る

[電源ON／OFF]

● お買い上げ後はじめてお使いになる場合(または長時間お使いにならなかった場合)は、必ず充電してからお使いください。

● 電源を入れる前にFOMAカードが正しく取り付けられていることを確認してください。

電源を入れる

1 を2秒以上押す

FOMA端末に電源が入り、ホーム画面が表示されます。

■ 圏外( )が表示されている場合

サービスエリア外または電波の届かないところにいます。 など電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。

受信レベルは次のように表示されます。



■ PIN1コード入力を「ON」にしている場合

PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力するとホーム画面が表示されます。

■ はじめて電源を入れた場合

初期設定(タッチスクリーンの補正やmopera U端末設定、セキュリティスキャンの設定など)を行ってください。

おしらせ

・FOMA端末は国際ローミングに対応しているため、電源を入れた直後は対応しているネットワークの検索に時間がかかることがあります。なお、検索中は圏外( )と表示される場合があります。

・はじめて電源を入れてからしばらくすると、「カスタマ エクスペリエンス」に関するメッセージと が表示されます。「次へ」をタップし、フィードバックを送信する／しないを選んで「ok」をタップすると、 は表示されなくなります。

電源を切る

1 画面に「デバイスがオフになります。続行しますか？」が表示されるまで ⏻ を押し続ける

2 「はい」をタップする

FOMA端末の電源が切れます。

スリープモードの切り替え

FOMA端末は、一定時間操作を行わなかったときに自動的にディスプレイの表示が消えるように設定されています。
スリープモードの解除、または操作中にスリープモードに切り替えるには、⏻を押します。
（スリープモードの設定→P.152）

おしらせ
- スリープモード中でも、メッセージや電話を受信できます。
- メッセージや電話を受信すると、スリープモードは自動的に解除されます。

初期設定を行う

［初期設定］

はじめてFOMA端末の電源を入れたときは、Windows Mobileデバイスをセットアップする画面が自動的に表示されます。画面の表示に従って、順に設定を行ってください。

1 タッチスクリーンを補正する

スタイラスを使って、画面の指示どおりにタップ操作を行います。終了すると、自動的にWindows Mobileデバイスのカスタマイズが行われます。
カスタマイズが終了するとFOMA端末が再起動されます。

2 画面の指示に従い、パターンデータの自動更新設定を行う

パターンデータの自動更新設定→P.165
PIN1コード入力を「ON」にしている場合は、自動更新設定は行われず、PIN1コード入力画面が表示されます。

3 画面の指示に従い、mopera Uの設定を行う

mopera Uの設定→P.181

おしらせ
- パターンデータの自動更新設定では通信を行います。

日付・時刻を設定する

［日付／時刻］

日付や時刻の修正が必要な場合は、「時計とアラーム」で日付・時刻の設定を行います。

1 ホーム画面（ホーム）の時刻表示部分をタップする

時計とアラーム画面が表示されます。
（ホーム画面（ホーム）→P.132）

2 「時刻」タブで、現在地または訪問先の場所、時刻、日付を選択し「ok」をタップする



おしらせ
- 日付と時刻は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「時計とアラーム」→「時刻」タブをタップしても確認できます。
- 時刻や日付の表示形式を変更する場合は、「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「地域」をタップし、変更が必要なタブを選択して設定してください。

自動時刻・時差補正を設定する

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「タイム ゾーン」タブ

2「自動時刻・時差補正」にチェックを付ける

おしらせ

- 電源を入れたときに時刻や時差の補正を行います。
- 電源を入れてもしばらく補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 次の場合は電源を入れ直しても補正は行われません。
  - FOMAカード未挿入
  - 圏外
- 海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては、時差補正が行われない場合があります。
- サマータイムが適用されている通信事業者のネットワークでは、常にサマータイムが適用された時刻になります。

相手に自分の電話番号を通知する

［発信番号通知設定］

電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

- 圏外（Y!）が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 相手の電話機が発信番号表示が可能なときだけ有効です。

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

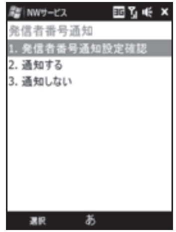
NWサービスの一覧が表示されます。

2「5.発信者番号通知」をタップする

3「2.通知する」をタップする

ネットワーク暗証番号を入力して「OK」をタップする。

1.発信者番号通知設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。
2.通知する	→ネットワーク暗証番号の入力→「ok」 発信者番号を通知します。
3.通知しない	→ネットワーク暗証番号の入力→「ok」 発信者番号を通知しません。



おしらせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知する／しないを設定することもできます。→P.46

自分の電話番号を確認する

［SIMマネージャ］

お客様のFOMAカードに登録されている電話番号（自局電話番号）を表示して確認できます。

1「スタート」→「プログラム」→「SIMマネージャ」

マイナンバーの後の数字が、自局電話番号です。



おしらせ

- 「スタート」→「自局番号」でも確認できます。

オーナー情報を編集する

［オーナー情報］

個人情報の登録や編集ができます。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「オーナー情報」→「オーナー情報」タブ

2 必要な情報を登録し、「ok」をタップする



おしらせ

・メモしておきたい事柄があれば、「メモ」タブに登録してください。
・電源を入れたときにオーナー情報またはメモの内容を表示する場合は、「オプション」タブで設定してください。

MEMO

電話

電話をかける

1 を押す

電話画面が表示されます。

- ホーム画面（ホーム）表示中に「電話」をタップしても電話画面を表示できます。



電話画面

2 相手の電話番号をタップする

■ 電話番号を間違えたときは

をタップして入力した番号を消します。

をタップし続けると入力した番号がすべて消えます。

3 を押す

入力した番号に発信され、相手が応答すると通話できます。

4 通話が終了したらを押す

- 「通話を終了」をタップしても通話を終了できます。

おしらせ

- 電話番号を入力すると、登録されている連絡先や通話履歴から該当する相手が表示されます。
- 連絡先に登録されていない電話番号を入力した場合は、「不明な発信者」と表示されます。
- 電話番号を6桁以上入力したときに、該当する電話番号が連絡先に登録されていない場合は、「連絡先に保存？」が表示されます。タップすると入力中の電話番号を連絡先に登録できます。
- QWERTYキーボードで相手の電話番号を押し、ENTERを押して電話をかけることもできます。
- 電話をかけたとき、相手が応答した後数秒で画面が暗くなります。これは省電力のための機能で、画面が消えるだけでボタン操作を行うことはできます。電源ボタンを押すと電話中の画面に戻ります。
- 画面下部にある または をタップして、ダイヤルパッドの表示／非表示を切り替えることができます。

電話中の画面の見かた



	アイコン	説明
(1)	－	**状態表示エリア** サービスプロバイダ名、通話相手の情報、通話時間が表示されます。
(2)	保留	**保留** 通話を一時保留します。※
	通話を追加	**通話を追加** 通話中に第3者に電話をかけることができます。
	メモ	**メモ** 通話中にメモを取ることができます。 メモ画面の「メニュー」から録音を選択し、通話を録音することができます。
	ミュート	**ミュート** 自分の音声が相手に聞こえなくなります。
	スピーカー	**スピーカーオン／オフ** ハンズフリーを利用する場合に「スピーカーオン」をタップします。→P.48
	連絡先	**連絡先** 登録している連絡先の編集および新規作成ができます。
(3)	通話を終了	**通話を終了** 通話を終了します。

	アイコン	説明
(4)	キーパッド	**キーパッド** タップすると電話画面が表示され、キーパッドをタップして電話番号をダイヤルできます。
(5)	メニュー	**メニュー** タップすると、通話の保留、ミュート、スピーカーオン／オフ、連絡先の表示や登録、メモの作成などができます。

※：「キャッチホン」および「転送でんわサービス」をご契約いただいていない場合、通話中に「保留」をタップしても、一時保留にはなりません。

おしらせ

- 着信時に相手の番号が通知されなかった場合、状態表示エリアには「プライベート」（非通知設定の場合）、または「不明」（通知不可能／公衆電話の着信の場合）と表示されます。
- 通話中にスタイラスを抜くとメモ（P.63）が表示されます。

発着信履歴を利用して電話をかける

［通話履歴］

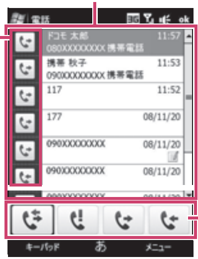
発着信履歴から相手を選択して電話をかけることができます。

1 **ホーム画面（ホーム）表示中に「電話」→「メニュー」→「通話履歴」**

通話履歴一覧が表示されます。

発着信履歴表示エリア

(2)



(1)

2 **（1）のいずれかのアイコンをタップして確認したい履歴を表示する**

発着信履歴表示エリアに履歴が表示されます。

	アイコン	項目	説明
(1)		全履歴	発着信履歴表示エリアに全発着信履歴を表示します。
		不在着信履歴	発着信履歴表示エリアに不在着信履歴を表示します。
		発信履歴	発着信履歴表示エリアに発信履歴を表示します。
		着信履歴	発着信履歴表示エリアに着信履歴を表示します。
(2)		不在着信	不在着信したことを示します。
		発信	音声電話を発信したことを示します。
		着信	音声電話を着信したことを示します。

3 **発信したい連絡先または電話番号をタップする**

4 **「ダイヤル」をタップする**

5 **通話が終了したら［終話キー］を押す**

- 「通話を終了」をタップしても通話を終了できます。

■ **通話履歴を連絡先に登録する場合**

「通話履歴」→「メニュー」→「連絡先に保存」→「新しい連絡先」または追加対象の連絡先を選択

■ **通話履歴からSMSを送信する場合**

「通話履歴」→「メニュー」→「SMSメッセージの送信」

■ **通話時間を表示する場合**

「通話履歴」→「メニュ」→「通話時間」

■ **通話履歴を削除する場合**

「通話履歴」→「メニュ」→「削除」または「すべての履歴を削除」→「はい」

次ページにつづく

おしらせ

・本FOMA端末は「着信履歴表示選択」、「無音時間設定」、「着信秒数確認」機能を搭載していないため、迷惑電話対策としては「迷惑電話ストップサービス」をご利用ください。
・伝言メモが起動した場合は、不在着信ではなく着信履歴として記録されます。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

[186／184]

相手の電話機が発信者番号表示に対応している場合、音声通話をかけたときに自分の電話番号（発信者番号）を相手の電話機（ディスプレイ）へ表示させせることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

● 自分の電話番号を通知するかどうかを、一括して設定する方法については、「相手に自分の電話番号を通知する」(P.40)を参照してください。

相手の電話番号に「186」／「184」を付けてダイヤルする

1 電話画面表示中に「1」「8」「6」（通知）／「1」「8」「4」（非通知）をタップする

（電話画面の表示→P.44）

2 相手の電話番号をタップする

3 [発信キー]を押す

電話をかけるときに通知／非通知を選択する

1 相手の電話番号をタップする

2 「メニュー」→「発信者番号ありでダイヤル」／「発信者番号なしでダイヤル」

3 [発信キー]を押す

番号を絞り込みすばやく発信する

[スマートダイヤル]

スマートダイヤルを使って、通話履歴や連絡先などを検索できます。スマートダイヤルは、文字をタップするごとに連絡先を絞り込んでいく機能です。

（例）「2」をタップ→　連絡先の1文字目に「2」、「A」、「B」、「C」を含む候補を表示

「2」「3」をタップ→　連絡先の2文字目に「3」、「D」、「E」、「F」を含む候補を表示

● アルファベットを検索する場合、空白文字(スペース)、'(ダッシュ)、-(ハイフン)、_(アンダーバー)に続く文字も検索します(「2」をタップした場合、「_2」や「'A」も検索します)。

1 電話画面表示中に「0」～「9」、「＊」、「#」をタップする

候補が表示されます。（電話画面の表示→P.44）

2 相手を選択し、[発信キー]を押す

おしらせ

・SMSを送信する場合は、相手を選択して「メニュー」→「SMSメッセージの送信」をタップします。
・検索結果に相手が表示されない場合は、「メニュー」→「連絡先」をタップして、発信先を選択してください。

ワンボタンで発信する

［スピードダイヤル］

よくかける連絡先をスピードダイヤルに登録しておくと、該当するキーを1秒以上タップするだけで発信できます。

スピードダイヤルを登録する

1 電話画面表示中に「メニュー」→「スピードダイヤル」

スピードダイヤルリストが表示されます。
（電話画面の表示→P.44）

2 「メニュー」→「新規作成」

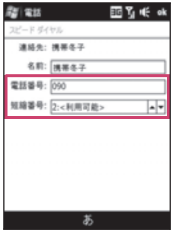
連絡先の選択画面が表示されます。

3 登録する相手をタップする

スピードダイヤル画面が表示されます。

4 登録する「電話番号」を選択する

5 「短縮番号」で割り当てる番号を選択し、「ok」をタップする



おしらせ

- 短縮番号1は、「ボイスメール」に割り当てられています。「1」を1秒以上タップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。
- 新規登録は、短縮番号1以外の番号に割り当ててください。
- 連絡先からスピードダイヤルに登録するには、連絡先の名前をタップして「メニュー」→「スピードダイヤルに追加」→「短縮番号」で割り当てる番号を選択します。
- スピードダイヤルを削除するには、スピードダイヤルリストで削除したい短縮番号をタップして、ポップアップメニューで「削除」をタップします。

スピードダイヤルで発信する

1 電話画面表示中に、短縮番号が割り当てられたキーを1秒以上タップする

登録された相手に発信されます。

連絡先から電話をかける

登録済みの連絡先から相手を選択して電話をかけることができます。

1 「スタート」→「連絡先」をタップする

連絡先画面が表示されます。

2 発信する相手をタップする

- 連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、◎(左右)で発信先を選択できます。

3 を押す

おしらせ

- 発信する相手を1秒以上タップすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューから電話をかけることもできます。

プッシュ信号（DTMF）を送信する

FOMA端末からプッシュ信号を送って、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用できます。

1 通話中に「キーパッド」をタップする

2 「0」～「9」、「*」、「#」をタップする

電話番号に続けてプッシュ信号を入力し、一度にダイヤルすることもできます。「*」を2回タップするとポーズ(P)、3回タップするとウェイト(w)が入ります。ポーズは約1秒の一時停止、ウェイトはを押すまで停止します。

国際電話を利用する

[WORLD CALL]

- 海外での利用について、詳細は「海外利用」(P.203)をご覧ください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、取扱説明書裏面に記載の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 010→国番号→地域番号（市外局番）→相手先電話番号をタップする

地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてタップしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 を押す

3 通話が終了したらを押す

・「通話を終了」をタップしても通話を終了できます。

おしらせ

・「0」を1秒以上タップして国際電話をかけることもできます。
・「0」を1秒以上タップすると、「+」が表示されます。

ハンズフリーを利用する

[ハンズフリー]

通話中の相手の音声をスピーカーから流して通話することができます。

1 通話中に「スピーカー」をタップ、またはスピーカーフォンがオンになるまでを押し続ける

が表示されます。



スピーカーフォンがオンになっているときは、FOMA端末を耳にあてないでください。

おしらせ

・スピーカーフォンをオフにするには、もう一度「スピーカー」をタップするか、スピーカーフォンがオフになるまでを押し続けてください。

電話を受ける

着信があると、着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。応答するか拒否するかを選択できます。

1 電話を着信する

着信音が鳴り、着信メッセージが表示されます。

2 「応答」をタップ、またはを押す

■ 着信を拒否する場合

「着信拒否」をタップ、またはを押します。

3 通話が終了したらを押す

・「通話を終了」をタップしても通話を終了できます。

おしらせ

・本FOMA端末は、テレビ電話を受けることができません。相手がテレビ電話をかけてきた場合は、着信音は鳴らず、着信メッセージも表示されません。
・本FOMA端末は応答保留ができません（着信中にを押すと、着信を切断します）。
・着信中に画面を伏せると、着信音が止まります。
・着信に応答すると数秒で画面が暗くなります。これは省電力のための機能で、画面が消えるだけでボタン操作を行うことはできます。電源ボタンを押すと電話中の画面に戻ります。

■ 着信中の表示について

●相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号が画面に表示されます。連絡先に登録されている相手からの着信の場合、連絡先に登録した名前が画面に表示されます。

同じ電話番号を異なる名前で複数の連絡先に登録していると、連絡先のフリガナ検索順による最初の名前が表示されます。

●相手の電話番号が通知されなかったとき

非通知理由が表示されます。

通話中に相手の声の音量を調節する

［受話音量］

通話中に音量大／小ボタンを押して、通話中の音量や着信音量を調節できます。

1 通話中に（音量大）または（音量小）を押す

音量大ボタン：音量が大きくなります。

音量小ボタン：音量が小さくなります。

おしらせ

・音量を最小にしても、消音にはなりません。

着信音の音量を調節する

［着信音量］

電話がかかってきたときや、メールを受信したときの着信音の音量を調節できます。

待受中に着信音の音量を調節する

1 ステータスアイコンのまたは、をタップする

システムの状態画面が表示されます。

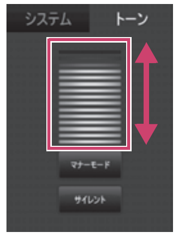
2 システムの状態画面のまたは、をタップする

システムの音量設定画面が表示されます。

3 「トーン」タブをタップする

着信音の音量画面が表示されます。

・着信音の音量画面で「システム」タブをタップすると、システムの音量画面が表示され、システム音量を調節できます。



音量設定画面

次ページにつづく

4 スライダーを上下になぞって、音量レベルを調節する

・「マナーモード」をタップするとマナーモードが設定されます（P.53）。
・「サイレント」をタップすると着信音、システム音が鳴りません。

おしらせ

・スライダーをなぞる代わりに（音量大）（音量小）を押して調節することもできます。
・本機能で設定した着信音量は「予定表」や「時計とアラーム」などのアラーム音にも反映されます。

着信中に着信音を一時的に消す

1 着信中に（音量大）または（音量小）を押す

おしらせ

・着信中に着信音の音量を調節することはできません。

公共モード（ドライブモード）を利用する

［公共モード（ドライブモード）］

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードに設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

● 公共モードの設定／解除は、ホーム画面（P.132）またはAction Menu（P.32）表示中のみできます（圏外など、電波が受信できないときでも設定／解除できます）。
● 公共モード設定中でも電話をかけることができます。
● 本機能はデータ通信中はご利用できません。

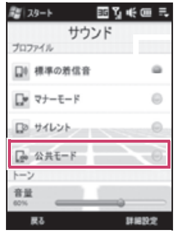
ホーム画面から設定する

1 ホーム画面（設定）を表示する

（ホーム画面（設定）→P.141）

2 「サウンド」をタップする

サウンド画面が表示されます。



3 「公共モード」をタップする

「公共モード（ドライブモード）を設定しました」が表示されます。

4 「消去」をタップする

5 「戻る」をタップする

ホーム画面（ホーム）にが表示され、公共モード（ドライブモード）に設定されていることを示します。

（ホーム画面→P.132）

キーボードで設定する

1 キーボードを開く

キーボードを開くとAction Menu（P.32）が表示されます。



2 FNを押したまま◀を押す

ポップアップメッセージが表示されます。

おしらせ

・マナーモードと公共モード（ドライブモード）は同時に設定できません。マナーモードを設定中に公共モード（ドライブモード）を設定すると、マナーモードは解除されます。また、公共モード（ドライブモード）設定中にマナーモードに設定すると、公共モード（ドライブモード）は解除されます。

公共モード(ドライブモード)を解除する

● ホーム画面(設定)のサウンド画面で「公共モード」以外をタップします。

おしらせ

公共モード設定中には、以下の音が鳴りません。

・電話着信音
・「時計とアラーム」のアラーム音
・電池切れのアラーム音
・メール、SMS着信音
・予定表のアラーム音

公共モード(ドライブモード)に設定すると

お客様のFOMA端末に電話がかかってきても着信音は鳴りません。ただし、着信履歴には記録されます。

● 電話をかけてきた相手には、運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
● メールを受信したときには着信音は鳴らずに、メールの到着を示すメッセージがホーム画面に表示されます。
● 公共モード(ドライブモード)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は「各ネットワークサービスと公共モード(ドライブモード/電源OFF)設定中の着信動作」(P.52)のとおりです。

おしらせ

・公共モード設定中でも、電源が入っていない場合や画面に圏外(圏外アイコン)が表示されている場合は、公共モードの通知はされずに圏外(圏外アイコン)が表示されているときと同じガイダンスが流れます。

公共モード(電源OFF)を利用する

[公共モード(電源OFF)]

公共モード(電源OFF)は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード(電源OFF)に設定すると、電源を切っている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所(病院、飛行機、電車の優先席付近など)にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。

1 電話画面表示中に「*」「2」「5」「2」「5」「1」[発信]を押す

公共モード(電源OFF)が設定されます(ホーム画面上の変化はありません)。

公共モード(電源OFF)設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ 公共モード(電源OFF)を解除する場合

電話画面表示中に「*」「2」「5」「2」「5」「0」[発信]を押します。

■ 公共モード(電源OFF)の設定を確認する場合

電話画面表示中に「*」「2」「5」「2」「5」「9」[発信]を押します。

おしらせ

・公共モード(電源OFF)は電源を入れるだけでは解除されません。「*25250」をタップして解除するまで設定は継続されます。

公共モード(電源OFF)に設定すると

「*25250」をタップして公共モード(電源OFF)を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。

サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード(電源OFF)ガイダンスが流れます。

● 電話をかけてきた相手には、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスが流れ、通話を終了します。
● 公共モード(電源OFF)と各ネットワークサービスを同時に設定しているときの着信時の動作は「各ネットワークサービスと公共モード(ドライブモード/電源OFF)設定中の着信動作」(P.52)のとおりです。

各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作

サービス名	音声電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※
転送でんわサービス	・相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に転送します。※ ・相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。
迷惑電話ストップサービス	・迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 ・それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。

※：呼出時間を0秒に設定している場合、公共モードのガイダンスは流れず、「留守番電話サービス」または「転送でんわサービス」になります。また「着信履歴」には記憶されず、「不在着信あり」のアイコンも表示されません。

伝言メモの設定をする

［伝言メモ設定］

電話に出られないときに、用件をお客様に代わってFOMA端末に録音する際に、相手に流す音声を設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「伝言メモ設定」→⚙

2 以下の項目を設定

項目	内容
オン	伝言のオン／オフを設定します。
伝言メモ準備中ボイス	応答メッセージを選択します。 ・▶：選択したメッセージを再生して確認 ・●：準備中ボイス1〜3を選択し、自作のメッセージを録音 ・✓：選択したメッセージを相手に流すメッセージとする
＜／＞	タップして伝言メモの呼出時間を設定します。

おしらせ

・録音件数がいっぱいのときは、伝言メモを「オン」に設定できません。

・「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を伝言メモと同時に設定しているときに伝言メモを優先させるには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間より、伝言メモの呼出時間を短く設定してください。

・📞をタップすると、録音された伝言メモが表示され、表示をタップすると再生（P.53）できます。

電話に出られないときに用件を録音する

［伝言メモ］

電話に出られないときに、かけてきた相手の用件をお客様に代わってFOMA端末に録音します。

- 「留守番電話サービス」や「転送でんわサービス」を同時に設定しているときに、伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。
- 本機能と留守番電話サービスの違いは次のとおりです。

項目	伝言メモ	留守番電話サービス
録音時間と件数	最大15秒、20件まで	最大3分、20件まで
保存期間	制限なし	最大72時間
保存場所	FOMA端末内	留守番電話サービスセンター
再生可能な条件	圏内、圏外の制限なく再生可	圏内のみで再生可
録音可能な条件	・電話を受ける側が、圏内で電源が入っている場合に録音可 ・伝言メモを「オン」に設定	・電話を受ける側が、圏内または圏外で、電源を切っていても録音可 ・「留守番電話サービス」を「サービス中」に設定→P.196

伝言メモを「オン」に設定中に電話がかかってくると

設定した時間を経過すると伝言メモが起動します。

● 電話をかけてきた相手には、応答メッセージが流れ録音を開始します。

■ 伝言メモの録音がはじまると

●録音中の画面が表示されます。録音中はFOMA端末の受話口から相手の声が聞こえます。

■ 録音中に電話に出る場合

「応答」をタップするか、[通話キー]を押します。

■ 伝言メモの録音が終了すると

●ホーム画面にメッセージが録音されたことを示すメッセージと件数が表示されます。「表示」をタップすると、録音したメッセージの一覧が表示されます。メッセージをタップすると再生します。

おしらせ

・録音件数がいっぱいのときは、伝言メモを「オン」に設定できません。
・伝言メモの録音中は、ほかの電話がかかってきても受けることができません。
・伝言メモが起動した場合は、不在着信ではなく着信履歴として記録されます。

伝言メモを再生する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「伝言メモ設定」→[電話アイコン]

2 録音されたメッセージをタップする

選択したメッセージが再生されます。

おしらせ

・マナーモードを設定中は伝言メモの再生音が聞こえません。あらかじめマナーモードを解除してから再生してください。

着信を音で知らせる

［音設定］

お買い上げ時	着信パターン：標準の着信音 着信音：Ring-Innovation キーパッド：操作音（短）

着信音の鳴りかたや、メロディ、キーパッド操作音を設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「電話」タブ

2 サウンドに関する設定をする

「着信パターン」、「着信音」、「キーパッド」を設定します。



3 「ok」をタップする

電話から鳴る音を消す

［マナーモード］

マナーモードを設定すると、振動で着信をお知らせします。

音量調節で設定する

1 ステータスアイコンの[スピーカーアイコン]または[消音アイコン]をタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面の[スピーカーアイコン]または[消音アイコン]をタップする

システムの音量設定画面が表示されます。

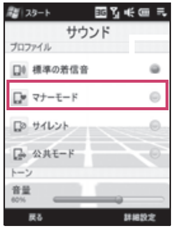
3「マナーモード」をタップする

ホーム画面(ホーム)にが表示され、マナーモードに設定されていることを示します。



音量設定画面

ホーム画面から設定する



1 ホーム画面（設定）を表示する

(ホーム画面(設定)→P.141)

2「サウンド」をタップする

サウンド画面が表示されます。

3「マナーモード」をタップする

4「消去」をタップする

5「戻る」をタップする

ホーム画面(ホーム)にが表示され、マナーモードに設定されていることを示します。

キーボードで設定する

1 キーボードを開く

キーボードを開くとAction Menu(P.32)が表示されます。

2 FNを押したまま▶を押す

ホーム画面(ホーム)にが表示され、マナーモードに設定されていることを示します。

おしらせ

- miniUSBステレオヘッドセットを接続しているときは、マナーモードを設定できません。
- マナーモード設定中にminiUSBステレオヘッドセットを接続するとが消えますが、マナーモードは設定されたままで、FOMA端末(本体)からは音が鳴りません。miniUSBステレオヘッドセットを取り外すとが表示されます。
- マナーモードと公共モード(ドライブモード)は同時に設定できません。マナーモードを設定中に公共モード(ドライブモード)を設定すると、マナーモードは解除されます。また、公共モード(ドライブモード)設定中にマナーモードに設定すると、公共モード(ドライブモード)は解除されます。

■ マナーモードを解除する場合

- 音量設定画面(P.53)で「マナーモード」以外をタップして解除します。
- ホーム画面(設定)のサウンド画面で「マナーモード」以外をタップします。

おしらせ

マナーモード設定中には、以下の音が鳴りません。カメラのシャッター音とセルフタイマー音は鳴ります。

- 電話着信音
- メール、SMS着信音
- 「時計とアラーム」のアラーム音
- 予定表のアラーム音
- 電池切れのアラーム音

連絡先／PIM機能

連絡先に登録する

［連絡先］

本FOMA端末では、さまざまな機能を設定できるFOMA端末（本体）の連絡先と、ほかのFOMA端末でも使えるFOMAカードの連絡先（SIMカード連絡先）に連絡先を登録できます。

● 連絡先に登録できるのは以下の内容です(「SIMカード連絡先」に登録できるのは「名前」、「電話番号」のみです)。

タブ	項目	内容
詳細	名前	姓と名、それぞれのフリガナ、ニックネームが登録できます。
	画像	着信時や通話中に表示される画像を登録できます。
	勤務先、部署、役職	勤務先名、部署名、役職名を登録できます。
	表題	登録した連絡先の表示のしかたを設定できます。
	勤務先電話、勤務先FAX、勤務先住所	勤務先の電話、FAX、住所を登録できます。
	IM	インスタントメッセージの宛先を登録できます。
	電子メール	電子メールのアドレスを登録できます。
	携帯電話	携帯電話番号を登録できます。
	着信音	連絡先に個別の着信音を設定できます。
	Web ページ	ホームページのURLなどを登録できます。
	事業所、自宅電話、自宅住所	事業所名、自宅の電話番号、自宅の住所を登録できます。
	分類項目	連絡先のカテゴリを選択できます。
	その他の住所～子供	その他の住所、ポケットベル、自動車電話、自宅FAX、会社の代表電話番号、勤務先／自宅のその他の電話番号、PHS番号、その他のインスタントメッセージ宛先、その他の電子メールアドレス、秘書、秘書の電話、上司、ID番号、アカウント、カスタマーID、誕生日、記念日、配偶者、子供の情報を登録できます。
メモ	－	メモを入力できます。

1 「スタート」→「連絡先」→「新規作成」

連絡先の種類の選択画面が表示されます。

2 「Outlook連絡先」または「SIMカード連絡先」をタップする

3 必要な項目を入力する



・「分類項目」を設定しておくと、関連のある連絡先をグループ化して登録し管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作ることもできます。

・連絡先に写真を登録するには、「画像の選択」をタップして画像ファイルを選択するか、「カメラ」をタップして写真を撮影します。登録した画像ファイルは、この連絡先から着信したときに電話画面に表示されます。

4 「ok」をタップする

おしらせ

・「メニュー」→「連絡先に保存」をタップすると、通話履歴やメッセージから連絡先データを登録できます。
・連絡先に電話番号を入力するときに、自動的に表示される市外局番を変更するには、「メニュー」→「オプション」をタップし、設定されている市外局番を変更します。
・メールアドレスは、ドメインまで正しく登録してください。ドメインとは、@（アットマーク）より後の文字のことです。
・連絡先に登録した静止画の元のデータが変更されたり、削除された場合は、連絡先の画像も同じように変更、削除されます。
・連絡先を分類項目で表示している場合、新しく作成した連絡先は表示中の分類項目に登録されます。

連絡先の内容を確認する

1「スタート」→「連絡先」

連絡先の一覧が表示されます。

2 確認したい連絡先をタップする

最新の発着信履歴が、電話番号やメールアドレスなどの情報と一緒に表示されます。

連絡先を検索する

表示方法により検索対象が異なります。表示方法が、「名前」の場合は名前が、「勤務先」の場合は勤務先が検索対象となります。

1「スタート」→「連絡先」

連絡先の一覧が表示されます。

2 検索対象を表示して入力する

「名前の入力」欄に入力するか、「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップします。

おしらせ

・「1」、「A」、「ア」～「ワ」タブをタップしたままにして表示されるインデックスから、連絡先の頭文字で検索することもできます。
・分類項目から検索するには、連絡先一覧で「メニュー」→「フィルタ」をタップし、連絡先の「分類項目」をタップします。すべての連絡先を表示するには、「すべての連絡先」をタップします。

連絡先の内容を変更する

1「スタート」→「連絡先」

2 変更したい連絡先をタップする

3「メニュー」→「編集」

4 変更する箇所を入力し、「ok」をタップする

連絡先を削除する

1「スタート」→「連絡先」

2 削除したい連絡先をタップする

3「メニュー」→「連絡先の削除」→「はい」

SIMマネージャを利用する

[SIMマネージャ]

FOMAカードに連絡先を登録したり、FOMA端末（本体）とFOMAカードの連絡先の情報を相互にコピーしたり、SIMカード連絡先から電話をかけたりすることができます。

FOMAカードに連絡先を登録する

1「スタート」→「連絡先」→「メニュー」→「SIMマネージャ」→「新規作成」

2 名前、電話番号、電子メールを入力し、「保存」をタップする

FOMAカードの連絡先をFOMA端末本体にコピーする

1「スタート」→「連絡先」→「メニュー」→「SIMマネージャ」

FOMAカードに登録されている連絡先一覧が表示されます。

2 コピーする連絡先を◎で反転表示する

3「メニュー」→「連絡先に保存」→「ok」

おしらせ

・FOMAカードのすべての連絡先をコピーする場合は、「メニュー」→「すべて選択」をタップします。

FOMA端末本体の連絡先をFOMAカードにコピーする

FOMAカードには、1つの連絡先につき1個の電話番号しか保存できません。複数の電話番号を持つ連絡先は、異なる名前で保存されます。

1 「スタート」→「プログラム」→「SIMマネージャ」→「メニュー」→「USIMに保存する連絡先」

2 FOMAカードにコピーしたい連絡先にチェックを付け、「保存」をタップする

以降は画面の指示に従って操作します。

おしらせ

・全角文字の電話番号で登録されている連絡先は、FOMAカードにコピーすることはできません。

SIMマネージャから電話をかける

1 「スタート」→「プログラム」→「SIMマネージャ」

2 電話をかける相手を◎で反転表示→「メニュー」→「ダイヤル」

連絡先情報を送信する

連絡先をBluetooth通信で送信する

1 「スタート」→「連絡先」

2 送信する連絡先をタップする

3 「メニュー」→「連絡先の送信」→「ビーム」

送信先の検索が開始されます。以降は、画面の指示に従って操作してください。

おしらせ

・Bluetooth通信で連絡先を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されていなければなりません。

新しい仕事を登録する

[仕事]

仕事を登録して、大事な用件や進捗状況を管理できます。
仕事には優先度やアラームを設定したり、項目別に分類できます。

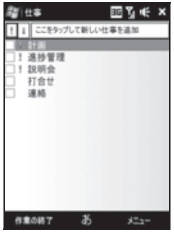
● 仕事に登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
仕事	件名	仕事の名称を登録します。
	優先度	優先度を設定します。
	進捗状況	作業中か、終了した仕事かを設定します。
	開始日	開始日を設定します。
	期限	期限を設定します。
	パターン	1回だけの仕事か、定期的(毎週、毎月、毎年)な仕事かを設定します。
	アラーム	アラームを通知する日時を設定します。
	分類項目	関連する仕事をグループ化します。フィルタの条件として指定できます。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	ー	メモを入力できます。

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」

仕事の一覧画面が表示されます。

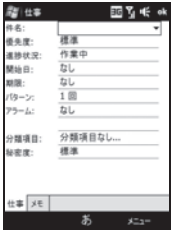
2「メニュー」→「新しい仕事」



3 仕事の件名を入力し、優先度、開始日、期限などを設定する。

・「分類項目」を設定しておくと、関連のある仕事をグループ化して登録し管理できます。表示される分類項目から選択するか、「新規」をタップして新しい項目を作ることもできます。

4「ok」をタップする



■ 件名のみの仕事を登録する場合

時間設定などがない場合、「ここをタップして新しい仕事を追加」をタップして件名を入力します。

おしらせ

・「ここをタップして新しい仕事を追加」が表示されないときは、「メニュー」→「オプション」→「仕事入力バーを表示する」にチェックを付けます。

・作業の終了した仕事を登録することもできます。

・パターンの項目で「一回」以外を選択した場合は、「進捗状況」「開始日」「期限」の入力はできません。

仕事の内容を変更する

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」

2 変更したい仕事をタップする

3「編集」

4 変更する箇所を入力し、「ok」をタップする

仕事を削除する

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」

2 削除したい仕事を◎で反転表示する

3「メニュー」→「仕事の削除」→「はい」

仕事のオプション設定

仕事のアラームや表示方法に関する設定を行います。

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」→「メニュー」→「オプション」

2 必要な項目にチェックを付け、「ok」をタップする

項目	説明
新しいアイテムにアラームを設定する	新しい仕事を登録する際、開始日または期限を設定したときに、自動的にアラームを設定します。
開始日と期限を表示する	仕事を一覧表示する際、開始日と期限を表示します。
仕事入力バーを表示する	「ここをタップして新しい仕事を追加」のバーを表示します。

仕事内容を確認する

仕事の表示方法を変更する

仕事を並べ替えたり、フィルタ機能を利用することができます。

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」→「メニュー」→「並べ替え」または「フィルタ」

2 該当項目をタップする

おしらせ

・フィルタ機能で絞り込んだ内容を元に戻す場合は、「メニュー」→「フィルタ」→「すべての仕事」を選択します。ただし、「作業中の仕事」または「終了した仕事」で絞り込んでいる場合は、チェックが付いている項目を再度選択してください。

・「並べ替え」と「フィルタ」は併用できます。

仕事の状態を設定する

登録した仕事の状態（作業中、作業の終了）を設定できます。

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」

2 設定する仕事を◎で反転表示し、「作業中」または「作業の終了」をタップする

「作業中」と「作業の終了」はタップするごとに表示が切り替わります。「作業の終了」をタップすると、チェックボックスにチェックが付きます。

仕事を送信する

仕事の内容をBluetooth通信で送信する

1「スタート」→「プログラム」→「仕事」

2 送信したい仕事を◎で反転表示し、「メニュー」→「仕事をビームする」

送信先の検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作します。

おしらせ

・Bluetooth通信で仕事を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されていなければなりません。

予定を登録する

[予定表]

予定表に表示する内容を登録します。

● スケジュールに登録できるのは以下の内容です。

タブ	項目	内容
予定	件名	名称を設定します。
	場所	場所を設定します。
	開始	開始日時を設定します。
	終了	終了日時を設定します。
	終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
	パターン	1回だけの予定か、定期的(毎週、毎月、毎年)な予定かを設定します。
	アラーム	事前通知(開始日よりどのくらい前に通知するか)を設定します。
	分類項目	関連する予定をグループ化します。フィルタの条件として指定できます。
	出席者	出席者を連絡表から選択します。設定した場合、入力した予定を出席者に通知できます。
	公開方法	予定の種類を設定します。
	秘密度	秘密にする度合いを設定します。
メモ	−	メモを入力できます。

1 「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「新しい予定」



2 「件名」を入力し、場所、開始日時や終了日時などの情報を入力し、「ok」をタップする

予定の事前通知(アラーム)を行う場合は、「アラーム」を「通知」にして、通知するまでの時間を設定します。

おしらせ
・終日のイベントは、予定表の一番上に表示されます。

予定表を表示する

スケジュール（予定）を登録して管理します。指定した日時にアラーム通知を行うように設定することもできます。

表示する単位を切り替える

1 「スタート」→「予定表」

2 「日」／「週」／「月」／「年」／「予定一覧」をタップする

日、週、月、年、予定一覧はタップするごとに切り替わります。



おしらせ
・「メニュー」→「表示」から表示する単位を切り替えることもできます。
・月／年／予定一覧の表示で日付を選択すると、週単位の表示に切り替わります。

指定した日の予定を表示する

1 「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「指定の日付へ移動」

カレンダーが表示されます。

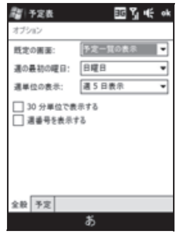
2 表示したい日付をタップする

予定表のオプション設定

予定表の表示形式やアラームのパターンなどを設定します。

1 「スタート」→「予定表」→「メニュー」→「ツール」→「オプション」

2 「全般」タブと「予定」タブで必要な項目を設定し、「ok」をタップする



タブ	項目	説明
全般タブ	既定の画面	予定表を起動したときの表示方法を設定します。
	週の最初の曜日	カレンダーの左端を日曜日または月曜日にするかを設定します。
	週単位の表示	1週間のうち何日表示するかを設定します。
	30分単位で表示する	チェックを付けると、日単位／週単位表示での時間軸が30分単位で表示されます。
	週番号を表示する	チェックを付けると、月単位表示の左端に週番号が表示されます。

タブ	項目	説明
予定タブ	新しいアイテムにアラームを設定する	チェックを付けると、予定登録時のアラームの初期値を設定できます。
	アイコンの表示	予定登録画面に表示するアイコンを設定します。
	会議出席依頼の送信方法	出席者に予定を通知する方法を設定します。

予定表の内容を変更する

1「スタート」→「予定表」

月単位、年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 変更したい予定表をタップする

3「メニュー」→「編集」

4 変更する箇所を入力し、「ok」をタップする

予定を削除する

1「スタート」→「予定表」

月単位、年単位で表示している場合は、削除する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 削除したい予定をタップする

3「メニュー」→「削除」→「はい」

予定表を送信する

会議出席依頼を送信する

OutlookまたはOutlook Mobileを使用している相手に電子メールで会議出席依頼を送信できます。

1「スタート」→「予定表」

月単位、年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 新しい予定を登録するか既存の予定を開き、「メニュー」→「編集」

3「出席者」をタップし、「必須出席者の追加」または「任意出席者の追加」をタップして出席を依頼したい連絡先を追加する

4「完了」→「ok」→「はい」

予定表の内容が保存され、会議出席者にメッセージが送信されます。

おしらせ

- メールで出席依頼を送信する場合は、次回FOMA端末をパソコンと同期させるときに出席者に送信されます。
- 出席を依頼された人が受信すると、その人の予定表に自動的に追加されます。また、出席依頼者に返信があると、依頼者の予定表もアップデートされます。
- 会議出席依頼の送信方法は、「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「予定」タブの「会議出席依頼の送信方法」で設定します。

予定をBluetooth通信で送信する

1「スタート」→「予定表」

月単位、年単位で表示している場合は、変更する予定が登録されている日付をタップして日単位の表示に切り替えてください。

2 送信したい予定をタップして詳細を表示する

3「メニュー」→「ビーム」

送信先の検索がはじまります。以降は画面の指示に従って操作します。

おしらせ

- Bluetooth通信で予定を送信するには、FOMA端末と相手先のBluetooth機能がオンになっており、検出可能なモードに設定されていなければなりません。

メモを利用する

［メモ］

手書きメモを作成する

手書きやキーボード入力でメモを作成できます。

入力モードを設定する

1 「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「メニュー」→「オプション」

2 「既定のモード」で入力モードを選択し、「ok」をタップする

項目	説明
手書き	絵を描いたり、手書きで文字を書いてメモを作成します。
入力	入力パネルで文字をタップしてメモを作成します。

おしらせ

・手書きモードを選択しても入力パネルを表示すると、既定のモードが入力モードに移行します。再度手書きモードに変更するには、「メニュー」→「描画」をタップしてください。

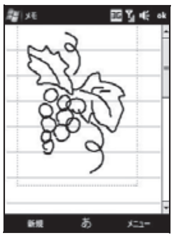
メモに絵を描く（手書き）

1 「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「新規」

2 スタイラスで絵を描く

絵のまわりに選択ボックスが表示されます。

3 描画が終わったら「ok」をタップする



おしらせ

・作成したメモをメールやBluetooth通信で送信することもできます。

・コピーや切り取りのために、描画範囲を選択する場合は、画面上でスタイラスを1秒以上タップしてください。十字が表示されたら、そのままドラッグして選択できます。画面からスタイラスを離すと選択範囲が確定されます。

メモを作成する（入力）

1 「スタート」→「プログラム」→「メモ」→「新規」

2 入力パネルで入力し、「ok」をタップする



ボイスメモを録音／再生する

ボイスメモを録音する

録音した音声は、音声ファイルとして登録したり、メモに音声を添付したりできます。

1 「スタート」→「プログラム」→「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 「メニュー」→「録音ツールバーの表示」

・音声ファイルとして登録する場合は手順4に進みます。

・メモに音声を添付する場合は手順3に進みます。

3 「新規」をタップ

メモ入力画面が表示されます。録音ツールバーが消えた場合は手順2を繰り返します。

4 ●（録音）をタップして録音を開始する

5 ■（停止）をタップして録音を終了する

おしらせ

- 開いているメモに音声を追加する場合は、録音終了後に「ok」をタップしてメモ一覧に戻ります。
- 開いているメモに録音すると、メモにアイコンが表示されます。
- 音声ファイルとして登録するとメモ一覧に表示されます。

ボイスメモを再生する

1 「スタート」→「プログラム」→「メモ」

メモ画面が表示されます。

2 再生したいメモをタップする

メモ入力画面が表示されます。音声ファイルをタップした場合は録音されている内容が再生されます。

3 対象の をタップする

録音されている内容が再生されます。

録音形式を変更する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」

2 「オプション」タブ→「録音形式」のリストから形式を選択する

3 「ok」をタップする

おしらせ

- メモ一覧で「メニュー」→「オプション」→「入力オプション」をタップし、「オプション」タブをタップして変更することもできます。

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのパスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力したFOMA端末をロックするためのパスワード、ネットワーク暗証番号、PIN1／PIN2コード、PINロック解除コードは「＊」で表示され、数字は表示されません。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末をロックするためのパスワードを忘れてしまった場合は、「ストレージをクリア」を実行してパスワードを再設定してください。その他の暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

FOMA端末をロックするためのパスワード

「デバイスロック」で使用するためのパスワードです。安全のため、このパスワードは設定しておくことをおすすめします。

- このパスワードが設定されていない場合、第三者が無断で「ストレージをクリア」（P.168）や「デバイスロック」の設定（P.68）などの重要な操作を実行できてしまいます。
- 「ストレージをクリア」（P.168）を実行して、初期設定画面から新たにパスワードを設定し直すことができます。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「各種お申込・お手続き」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※：「My docomo」「各種お申込・お手続き」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」（数字のゼロ4つ）に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.67）。

PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

PIN2コードは、ユーザー証明書利用時や発行申請などに使用する4～8桁の暗証番号です。

※：本FOMA端末ではPIN2コードを利用する機能はありません。

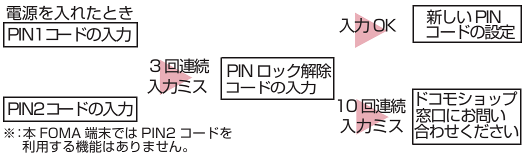


- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。
- 3回誤ったPIN1／PIN2コードを入力した場合は、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除キー」でロックを解除してください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して失敗すると、FOMAカードがロックされます。



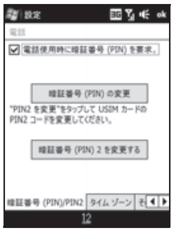
PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」

2「暗証番号（PIN）／PIN2」タブ上の「電話使用時に暗証番号（PIN）を要求。」をタップする

暗証番号を入力する画面が表示されます。



3 暗証番号を入力し、「入力」をタップする

「電話使用時に暗証番号(PIN)を要求。」にチェックが付きます。

4「ok」をタップする

おしらせ

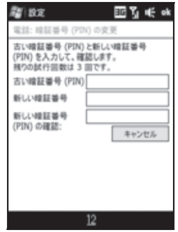
・はじめて暗証番号を入力する場合は、0000を入力してください。

PINコードを変更する

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」

2「暗証番号（PIN）／PIN2」タブの「暗証番号（PIN）の変更」をタップする

PIN1コードの変更ができます。



■ PIN2コードを変更するには

「スタート」→「設定」→「個人用」タブ →「電話」→「暗証番号(PIN)／PIN2」タブ→「暗証番号 (PIN2)を変更する」をタップします。

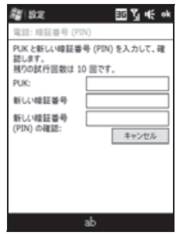
3「古い暗証番号」、「新しい暗証番号」を入力し、「新しい暗証番号」を再入力する

4「ok」をタップする

PINロックを解除する

PINロックを解除するときは、PINロック解除コードを入力した後で、新しいPIN1コード（暗証番号）を設定します。

1 PINロック解除コードの入力画面で、8桁のPINロック解除コードを入力し、「入力」をタップする



2「新しい暗証番号」を入力し、「新しい暗証番号」を再入力する

3「ok」→「ok」をタップする

他の人が使用できないようにする

［デバイスロック］

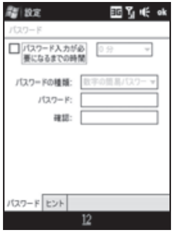
FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間続いたときに、ボタン操作ができないように自動的にロックします。

● ロック中は下記以外の操作はできません。

・緊急通報番号（110番、119番、118番）に電話をかける（緊急通報番号の場合は「＊＊＊」ではなく、入力した電話番号が表示されます）

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ロック」

2「パスワード」タブ→「パスワード入力が必要になるまでの時間」にチェックを付け、項目を設定する



3「ok」をタップする

■ ロックを解除するには

パスワードを入力し、「ロックの解除」をタップしてください。

おしらせ

・「ヒント」タブでヒントを登録している場合は、パスワードを5回間違えるとヒントが表示されます。

・誤ったパスワードを連続して入力すると、パスワードを受け付けるまでの時間が長くなります。

・パスワードを入力する画面では、FOMA端末の電源を切ることができません。

・パスワードはお忘れにならないようご注意ください。万が一お忘れの場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

パスワードを変更する

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ロック」→パスワードを入力→「ロックの解除」

2「パスワード」と「確認」に新しいパスワードを入力し、「ok」をタップする

3「はい」をタップする

すべてのキー操作を無効にする

［キー操作ロック］

移動中に誤ってキーを押しても、動作しないように設定できます。

1 [━]を1秒以上押す

「ロック解除」が表示され、画面のタップやボタンの操作ができなくなります。

■ ロックを解除するには

「ロック解除」→「ロックの解除」をタップしてください。

おしらせ

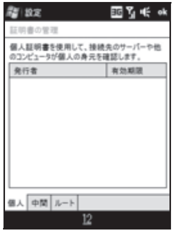
・[⌂]、〇（決定）、または[←]ボタンを押した場合は、「キャンセル」→「ロック解除」→「ロックの解除」をタップしてください。

・スタイラスを本体から抜いて解除することもできます。

証明書を利用する

FOMA端末にインストールされている証明書の情報を確認できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「証明書」



通話・通信機能のオン／オフを切り替える

[Comm Manager]

お買い上げ時	フライトモード:オフ 通話:オン Bluetooth:オフ	ワイヤレスLAN:オフ Microsoft Direct Push:－ データ接続:オフ

通話および通信機能のオン／オフを切り替えることができます。

1 「スタート」→「プログラム」→「Comm Manager」をタップする

Comm Manager画面が表示されます。

2 各通話／通信機能の「オン」または「オフ」をタップしてチェックを付ける



Comm Manager 画面

フライトモード	電話やBluetoothなど、電波を発するすべての機能をオフにします。
通話	電話機能のオン／オフを切り替えます。
Bluetooth	Bluetooth通信機能のオン／オフを切り替えます。
ワイヤレスLAN	ワイヤレスLAN通信機能のオン／オフを切り替えます。
Microsoft Direct Push	Direct Push機能のオン／オフを切り替えます。 ※:あらかじめMicrosoft Exchange ServerとActiveSyncの設定が必要です。詳細は社内システム管理者にご確認ください。
データ接続	通常、インターネットへの接続／切断は自動的に行われますが、「データ接続」を「オフ」にすると、接続(パケット通信)をすぐに切断できます(P.172)。

3 「完了」をタップする

おしらせ

・Comm Managerは、次の方法で表示することもできます。
　・「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Comm Manager」をタップ
　・ホーム画面(設定)で「通信」をタップ
　・ホーム画面(プログラム)で「全てのプログラム」→「Comm Manager」をタップ

発信や着信ができないようにする

[フライトモード]

音声電話、インターネット接続(メールの送受信含む)など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

1 Comm Manager画面で「フライトモード」の「オン」をタップしてチェックを付ける

2 「完了」をタップする

■ フライトモードを解除する場合

Comm Manager画面(P.69)でフライトモードの「オフ」にチェックを付けて「完了」をタップします。

・フライトモードをオンにする前の設定に戻ります。

その他の「あんしん設定」一覧

本章で紹介した以外にも、以下のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
いたずら電話や悪質なセールス電話などの｢迷惑電話｣を着信したくない	迷惑電話ストップサービス※	P.200
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	P.218
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	スキャン機能	P.162

※：本FOMA端末は｢着信許可／拒否設定｣機能を搭載していないため、｢迷惑電話ストップサービス｣をご利用ください。

おしらせ

・見知らぬ着信履歴には、おかけ直ししないようご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

メール／Windows Live

メールについて

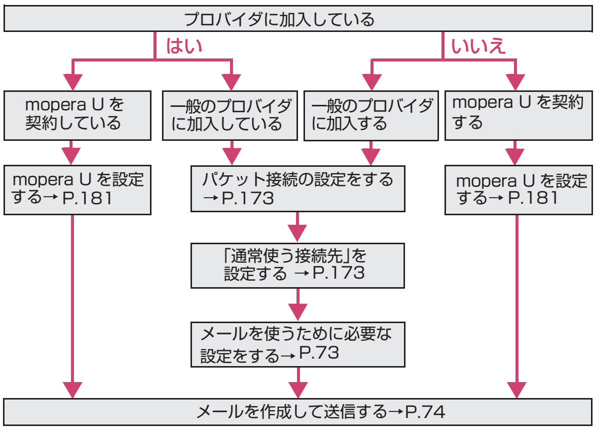
本FOMA端末は、電子メールアカウントやSMSのアカウントを管理します。電子メールをプロバイダから送受信したり、携帯電話ネットワークを使ってSMSを送受信することができます。

- 電子メールを使用するには、事前にメールアカウントを設定する必要があります。
- 電子メールを利用した後に手動で回線を切断する場合は、「回線を切断する」(P.75)を参照してください。

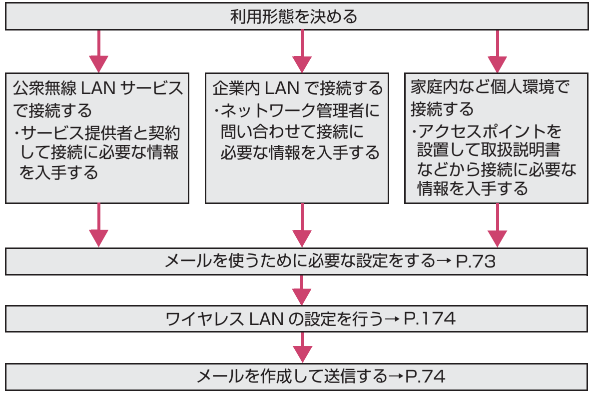
一定の間隔でメールサーバに接続するように設定すると、擬似的にメールを自動受信できますが、従量制データ通信をご利用の場合、サーバーに接続するたびに料金がかかります。

メールをはじめるまでの流れ

【パケット通信で接続する】



【ワイヤレス LAN で接続する】



おしらせ

・パソコンや他の携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

ご利用料金について

・電子メールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

mopera Uについて

・別途お申し込みが必要です。

・mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。

・mopera U未契約の方は、「スタート」→「プログラム」→「mopera Uへようこそ(またはmopera U端末設定)」からアクセスすると、お申し込み画面(オンラインサインアップ)に進むことができます。

Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイについて

・mopera Uに加えてBiz・ホーダイ ダブル、またはBiz・ホーダイを契約すると、定額制サービスを利用できます。Biz・ホーダイ ダブル、およびBiz・ホーダイについては、「Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ」(P.184)を参照してください。

・Biz・ホーダイ ダブルまたはBiz・ホーダイを契約した場合は、どちらもmopera U(Biz・ホーダイ)を「通常使う接続先」に設定してください。
・Biz・ホーダイ ダブルおよびBiz・ホーダイの適用外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

メールを使うために必要な設定をする

メールの送受信を行う前に、メールアカウントを設定する必要があります。

mopera Uのメールアカウントを設定する場合

「mopera U」のメール設定が簡単に行えます。

● あらかじめmopera Uの契約が必要です。

1 「スタート」→「プログラム」→「mopera Uへようこそ（またはmopera U端末設定）」

2 画面の指示に従い設定する

mopera U端末設定→P.181

詳細な設定を行う場合は、「一般プロバイダのメールアカウントを設定する場合」(P.73)の手順6の表を参照の上、「メニュー」→「メール」→「メニュー」→「オプション」→「アカウント選択」→「アカウントの設定の編集」から、設定してください。

一般プロバイダのメールアカウントを設定する場合

1 「スタート」→「メール」

アカウント選択画面が表示されます。

2 「電子メールのセットアップ」をタップする

3 メールアドレスを入力し「次へ」をタップする

4 「インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する」にチェックを付け、「次へ」をタップする

このオプションを選択すると、手動でメール設定をしなくても、メールサーバにより自動的に設定されます。

※：サーバの種類によっては、自動的に設定されない場合があります。

5 自動設定が完了したら「次へ」をタップする

■ 自動設定が失敗した場合

電子メールのプロバイダの種類からインターネット電子メールを選択し、メールサーバを設定します。

・受信メールサーバと送信メールサーバは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
・送信メールサーバによっては、メール送信時に異なるユーザー名とパスワードが必要な場合があります。この場合は「送信電子メールに同じ名前とパスワードを使用する」のチェックを外してください。
・ご利用のプロバイダがメールのセキュリティを高めるためにSSL接続を使用している場合、「サーバーの詳細設定」をタップし、「SSLが必要」にチェックを付けます。「ネットワーク接続」の一覧からインターネット接続に使用するデータ接続を選択します。

6 「すべてのダウンロードの設定を確認する」をタップし、必要に応じて以下の項目を設定する

項目	説明
自動送受信	インターネットに自動接続し、メッセージを送受信する時間間隔を選択します。
メッセージのダウンロード	FOMA端末にメッセージをダウンロードする日数を設定します。
[送信]をクリックしたとき送受信を実行する	送信メールを送信トレイに保存する場合はチェックを外します（お買い上げ時は、「送信」をタップするとすぐメッセージが送信される設定になっています）。チェックを外すと、「メニュー」→「送受信」をタップしなければメッセージは送信されません。
ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する	インターネットに自動接続する間隔が設定されている場合、FOMA端末へのデータローミングも行えます。この方法は、接続料金がかかるため、通常はチェックを外しておくことをおすすめします。
メッセージの削除時	FOMA端末から削除したメールは、サーバ上でも削除するよう設定します。
メッセージ形式	HTML形式かテキスト形式で送受信するかを設定します。
メッセージのダウンロード制限	メールのダウンロードサイズを設定します。

メールを作成して送信する

［新規作成］

1「スタート」→「メール」→電子メールアカウントを選択する

2「メニュー」→「新規」

メッセージ作成画面が表示されます。



3「宛先」に電子メールアドレスを入力する

- 複数の相手に送信する場合は;（セミコロン）で区切ります。
- 「宛先」をタップすると連絡先に保存されているメールアドレスを検索して選択できます。

4 件名を入力する

5 メッセージを入力し、「送信」をタップする

メッセージをすぐに送信する場合は、送信トレイのメッセージを選択し、「メニュー」→「送受信」をタップします。

- よく使用するメッセージをすばやく挿入するには、「メニュー」→「マイテキスト」をタップします。
- スペルチェックを実行するには、「メニュー」→「スペルチェック」をタップします。
- 優先度を設定するには、「メニュー」→「メッセージのオプション」で設定します。
- 記号／顔文字の入力については、「記号／顔文字を入力する」（P.192）を参照してください。

おしらせ

- HTML形式のメールは作成できません。
- メッセージを分割して送受信する機能には対応していません。
- QWERTYキーボード使用中にメールを作成する場合は、[FN]を押したまま[SMS]を押し、電子メールアカウントを選択したら、手順2に進んでください。

ファイルを添付する

1 メッセージ作成画面で、「メニュー」→「挿入」→添付する画像、ボイス メモ、ファイルをタップする

2 添付するファイルを選択する

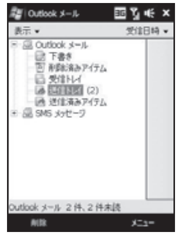
3 メッセージを入力し、「送信」をタップする

作成中のメールを保存しておき、あとで送信する

1 メッセージ作成画面で、「メニュー」→「下書きに保存」

作成したメッセージが「下書き」フォルダに保存されます。

2 画面左上にある ▼ をタップする



3「下書き」→送信したいメールをタップする

4 必要に応じてメッセージを変更し、「送信」をタップする

メールを受信する

- メール受信時には、「音と通知」(P.150)で設定した通知音を鳴らすことができます。

■ 手動でメールを受信する

1 「スタート」→「メール」→電子メールアカウントを選択する

2 「メニュー」→「送受信」

送信トレイにメールが保存されている場合は、「送受信」をタップするとメールは送信されます。

3 読みたいメールをタップする

メールの内容が表示されます。



■ 自動でメールを受信する

自動送受信に設定されている場合（P.73）、メールを受信すると[メールアイコン]が表示されます。「通知」→「表示」をタップすると受信トレイを表示します。

おしらせ

・パケット通信でメールを受信した後は、他のアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「回線を切断する」(P.75)を参照してください。
・メッセージを分割して送受信する機能には対応していません。

メールに返事を出す

［返信］

1 メッセージを開き、「メニュー」→「返信」→「返信」

2 メッセージを入力し、「送信」をタップする

メールを転送する

［転送］

1 メッセージを開き、「メニュー」→「返信」→「転送」

2 メッセージを入力し、「送信」をタップする

メールを削除する

1 「受信トレイ」→削除するメールを[方向キー]で反転表示する

2 「削除」→「はい」

回線を切断する

Comm Manager（P.69）の「データ接続」がオンになっている場合は、電子メールを送受信した後、手動で回線を切断します。

- 切断するまでインターネットに接続されています。

1 ステータスアイコンの[3G]をタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面で[3G]をタップする

切断画面が表示されます。

3「切断」をタップする



添付ファイルを確認する／保存する

添付ファイルは、メッセージの件名の下に表示されます。

1 メッセージを開き、ファイル名をタップする

添付されているファイルのファイル形式にあったアプリケーションで添付ファイルが開きます。

2「メニュー」→「保存」→「名前を付けて保存」

アプリケーションによって手順は異なります。それぞれのアプリケーションの保存の説明を参考にしてください。

おしらせ

・「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」とメッセージが表示された場合は、メッセージをタップするか、「メニュー」→「メッセージのダウンロード」をタップしてください。「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします。」と表示されたら、ファイルのダウンロードがはじまり、終了するとファイル名が表示されます。

メールアカウント内のメールBOXを操作する

メールの並べ替え

1 メール一覧の表示中に「メニュー」→「ツール」→「並べ替え」

「メッセージの種類」、「差出人」、「受信日時」または「件名」で並べ替えることができます。

フォルダの管理

1 メール一覧の表示中に「メニュー」→「ツール」→「フォルダの管理」

お好みの名前でフォルダを作成することができます。

おしらせ

・受信トレイからメッセージを選択して「メニュー」→「移動」をタップします。新しく作成したフォルダに選択したメッセージを移動させることができます。

SMSについて

FOMA端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMSを作成して送信する

● ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。

1「スタート」→「メール」

2 アカウント選択画面で「SMSメッセージ」をタップする

3「メニュー」→「新規」

4 宛先に送信先の携帯電話番号を入力する

連絡先に登録されている携帯電話番号を使用する場合は、「宛先」をタップします。複数の相手に送る場合は、セミコロン(;)で区切ります。

・「宛先」をタップすると連絡先に保存されているメールアドレスを検索して選択できます。

5 メッセージを入力する

6「送信」をタップする

おしらせ

・宛先に"#"または"＊"がある場合、SMSを送信できません。
・送信するSMSメッセージの有効期限は変更できません(3日固定)。
・QWERTYキーボード使用中にSMSを作成する場合は、SHIFT を押したまま SMS を押し、手順3に進んでください。

SMSを受信したときは

電話機能がオンになっていれば、SMSを自動的に受信します。電話がオフの場合は、電話がオンになるまで携帯電話会社側のサーバで保管されます。

● SMS受信時には、「音と通知」(P.150)で設定した通知音を鳴らすことができます。

1「スタート」→「メール」

2 アカウント選択画面で「SMSメッセージ」をタップする

SMS受信トレイが表示されます。

3 受信したメールをタップする

メッセージの内容が表示されます。

おしらせ

・FOMAカードにはSMSを19件まで保存できます。
・画面上部の「宛先」をタップして、受信したメールから送信者の情報を連絡先に登録することができます。
・FOMA端末(本体)のメモリの空き容量が少なくなると、SMSを受信できませんので、他のファイルを削除してください。
・本FOMA端末からメールサーバへ、SMSメッセージがあるかどうか問い合わせることはできません。
・連絡先に登録されている電話番号とSMSの送信元の電話番号が完全に一致しない場合、SMS受信時に連絡先に登録した名前は表示されません。

Windows Live

Windows Liveは、マイクロソフト社が提供するオンラインサービスです。オンラインでチャットをしたり、Windows Liveメール（Hotmail）を利用したりすることができます。
Windows Liveには次のような機能があります。

● Live Searchバー
Web上の情報を検索します。
● Live Messenger
MSN Messenger Mobileの次世代プログラムです。
● Live Mail
Hotmailの次世代バージョンです。
● Live Contacts
Live Mail、Live Messenger、Hotmailの連絡先を保存するアドレス帳です。

Windows Liveのアカウントについて

Windows Liveのアカウント（ID）は、パソコンからWindows Liveのホームページにアクセスして、あらかじめ取得しておく必要があります。

おしらせ

・Windows Live使用時は、ワイヤレスLAN接続が有効であっても、3Gパケット通信での接続が優先されます。
・アカウント(ID)の取得方法については、以下のホームページを参照してください。
http://www.microsoft.com/japan/mscorp/passport/passport02.mspx

Windows Liveにサインインする

[Windows Live]

はじめてWindows Liveを利用するときは、Windows Live ID（お手持ちのWindows Live MailまたはHotmailのメールアドレス）を使ってサインインします。

1「スタート」→「プログラム」→「Windows Live」

2「ここをクリックしてサインインします」をタップする

3 Windows Liveの使用規定とマイクロソフトのプライバシーポリシーを読んだ後、「承諾」をタップする

4 ご利用のWindows Live MailまたはHotmailアドレスとパスワードを入力し、「パスワードを保存する」にチェックを付け、「次へ」をタップする



5 Windows Liveアプリケーションをホーム画面にするかどうかを選択し、「次へ」をタップする

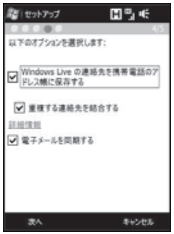
6 FOMA端末と同期させる情報を選択する

■「Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存する」を選択した場合

Windows Liveの連絡先が本FOMA端末の連絡先とLive Messengerの両方に追加されます。

■「電子メールを同期する」を選択した場合

Windows Live MailまたはHotmailの受信トレイにあるメッセージが本FOMA端末にダウンロードされます。

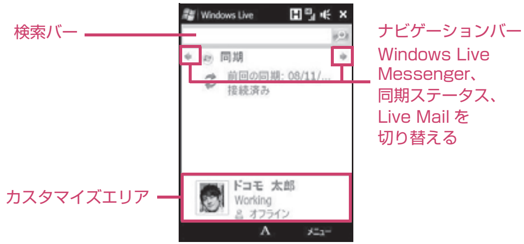


7 「次へ」をタップする

8 同期が完了したら「完了」をタップする

Windows Liveのインタフェース

Windows Liveのメイン画面には検索バー、ナビゲーションバー、カスタマイズエリアが表示されます。カスタマイズエリアには、自分の画像を表示することができます。



Messengerを利用する

Windows Liveメッセンジャーを使用すると、オンラインでインスタントメッセージを送受信できます。

パソコンのWindows Live Messenger と同様に、次に示す機能が利用できます。



- 文字や音声のインスタントメッセージ
- 複数のユーザーどうしの会話
- 絵文字
- オンライン状態が表示されるメンバーリスト
- 画像などのファイルの送受信
- オンライン状態や表示名の変更
- オンライン状態、グループなどでメンバーを分類表示
- メンバーがオフラインのときでもメッセージを送信

おしらせ

・Windows Live Messengerを使用するには、FOMA端末をインターネットに接続する必要があります。インターネットへの接続方法は、P.172を参照してください。

Windows Live Messengerを開く

1 「スタート」→「プログラム」→「Messenger」

メッセンジャー画面が表示されます。

■ サインインする場合

Windows Live Messenger画面で「サインイン」をタップします。

※ はじめてサインインするときは、連絡先リストにメッセンジャーのメンバーが追加されることを知らせるメッセージが表示されます。「ok」をタップし、メンバーを追加します。

■ サインアウトする場合

「メニュー」→「サインアウト」をタップします。

会話をはじめる

1 メンバーリストでメンバーを選択し、「メッセージの送信」をタップする

メッセージ画面が表示されます。

2 文字入力欄に文字メッセージを入力する

■ 絵文字を追加する場合

「メニュー」→「絵文字の追加」をタップし、絵文字一覧から選択します。

3 「送信」をタップする

4 会話を終了するには、「メニュー」→「会話を終了」をタップする

おしらせ

・ファイルを送信するには「メニュー」→「送信」をタップし、画像、音声メモ、その他のファイルを選択して送信できます。

・進行中の会話に他のメンバーを招待するには、「メニュー」→「オプション」→「参加者の追加」をタップします。

Windows Liveのメンバーを追加する

Windows Live Messengerまたは本FOMA端末の連絡先で、Windows Liveのメンバーを追加できます。

■ Windows Live MessengerでWindows Liveのメンバーを追加する場合

1 「メニュー」→「新しいメンバーの追加」

2 メンバーの電子メールアドレスを入力し、「ok」をタップする

■ 連絡先でWindows Liveのメンバーを追加する場合

1 「スタート」→「連絡先」→「新規作成」→「Windows Live」

2 「IM」欄をタップし、相手のWindows Live IDであるメンバーの電子メールアドレス、またはその他のメールアドレスを入力する

おしらせ

・必要に応じてメンバーのその他の情報も入力できますが、Windows Live MessengerやLive Mailのみを使って連絡する相手の場合は、必須ではありません。

Windows Liveメールを利用する

Windows Liveにサインインすると、メールアカウントに「Hotmail」が表示され、Windows Liveメール（Hotmail）をメールアカウントの1つとして使用することができます。この場合、以下の手順でメールの操作を行います。

1 「スタート」→「メール」

2 「Hotmail」

3 メールの操作を行う

おしらせ

・Hotmailサービスの詳細については、以下のホームページを参照してください。
http://messenger.live.jp/

Windows Liveメールのオプション設定

1 「スタート」→「プログラム」→「Windows Live」→「メニュー」→「オプション」

2 設定する項目をタップする

3 登録する内容を設定し、「完了」をタップする



項目	説明
1 [Today]画面のオプション	ホーム画面（ホーム）にWindows Liveを表示するかどうかを設定します。
2 同期オプション	・Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存するかを設定します。 ・電子メールを同期するか設定します。
3 同期スケジュール	同期の方法と頻度を設定します。
4 同期の状態	同期の結果を表示します。
5 ローミング	ローミング時にWindows Liveを有効にするかどうかを設定します。
6 Messenger	音声メモを自動再生するか、またメモの通知方法や使用するフォントを設定します。
7 電子メール	メッセージプレビューのサイズ、すぐにメッセージを送信するかどうか、返信／転送時に元のメッセージを含めるかどうかを設定します。
8 バージョン情報	Windows Liveのバージョン情報を表示します。

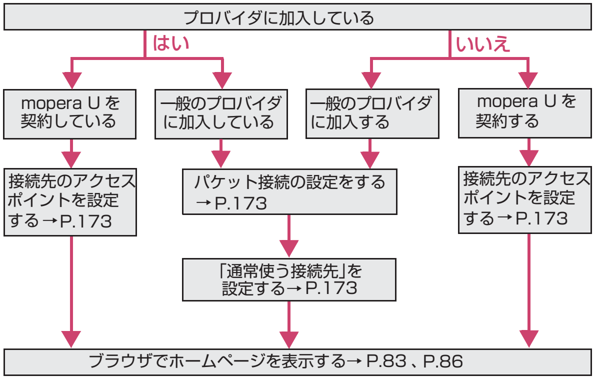
ブラウザ

ブラウザについて

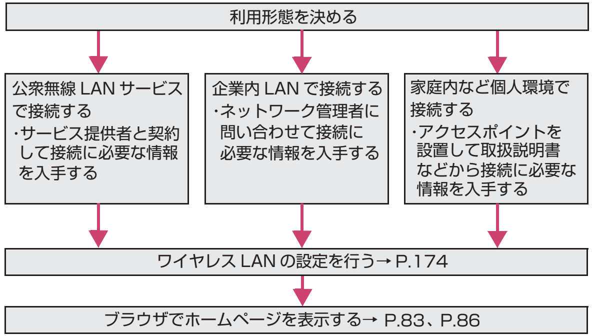
OperaブラウザやInternet Explorerを利用して、インターネットホームページを閲覧することができます。

ホームページを表示するまでの流れ

【パケット通信で接続する】



【ワイヤレス LAN で接続する】



おしらせ

mopera Uについて

- 別途お申し込みが必要です。
- mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。
- mopera U未契約の方は、「スタート」→「プログラム」→「mopera Uへようこそ(またはmopera U端末設定)」からアクセスすると、お申し込み画面(オンラインサインアップ)に進むことができます。

Biz･ホーダイ ダブル／Biz･ホーダイについて

- mopera Uに加えてBiz･ホーダイ ダブル、またはBiz･ホーダイを契約すると、定額制サービスを利用できます。Biz･ホーダイ ダブル、およびBiz･ホーダイについては、「Biz･ホーダイ ダブル／Biz･ホーダイ」(P.184)を参照してください。
- Biz･ホーダイ ダブルまたはBiz･ホーダイを契約した場合は、どちらもmopera U(Biz･ホーダイ)を「通常使う接続先」に設定してください。
- Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイの適用外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

Operaブラウザを利用する

[Operaブラウザ]

Operaブラウザは、Webページの拡大／縮小、回転などができるインターネットブラウザです。
タブをタップしてすばやくページを切り替えて表示できるため、1つのウィンドウに複数のページを表示する場合などに利用すると便利です。

Operaブラウザを起動する

1 「スタート」→「プログラム」→「Opera Browser」



アイコン名	説明
(1)リフレッシュ	表示中のWebページを新しい情報に更新します。
(2)アドレスバー	ウェブサイトのURLをここに入力します。
(3)バック	前に開いていたウェブページへ戻ります。
(4)ブックマーク	しおりを追加したり、しおりを付けたウェブページを編集したり、メッセージアカウントを経由してお気に入りURLリンクを送信したりする、しおり画面へ移動します。
(5)タブ	新規の閲覧タブを追加したり、別の閲覧タブに切り替えることができます。
(6)ホーム	ホームページへ移動します。
(7)メニュー	Operaの設定を変更したり、ダウンロードをチェックしたり、履歴を閲覧したりするためのメニュー一覧を開きます。
(8)タブクローズ	現在のタブを閉じます。この機能は、複数のタブを開いているときに限り可能です。
(9)Exitフル スクリーンモード	ウェブ閲覧時に、Operaは自動で全画面表示に切り替わります。タップすると、アドレスバーとメニューバーを再表示します。

・Opera ブラウザを終了するには、→→「終了」→「OK」をタップします。

おしらせ

・本FOMA端末のOperaブラウザは、パソコン上のOperaブラウザとは表示が異なる場合があります。
・インターネット接続中に他のアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「回線を切断する」(P.89)を参照してください。
・QWERTYキーボード使用中にoperaブラウザを起動する場合は、FN を押したまま を押してください。

ホームページを表示する

1 **インターネットホームページを開く**

アドレスバーに、ホームページアドレス(URL)を入力し、をタップするとホームページが開きます。

複数のページを開き切り替えて表示する

新しいタブでインターネットホームページを表示すると、複数のページを同時に開くことができます。タブを選択して、表示画面を切り替えることができます。

1 →→「新しいタブ」

新しいタブが作成されます。

2 **インターネットホームページを開く**

アドレスバーに、ホームとしたいホームページアドレスを入力し、をタップする。

・アドレスバーをタップすると、検索フィールドも表示されます。検索項目を入力し、🔍をタップすると、すばやくウェブを検索できます。

3 タブを切り替える

▲→[2]をタップし、表示するタブをタップします。インターネットホームページの表示が切り替わります。

・表示中のタブを閉じる場合は、[×]をタップします。

おしらせ

・インターネットホームページのリンクがある項目を1秒以上タップし、「新しいタブで開く」をタップしても、新しいタブを作成して表示することができます。

ホームページ表示中の操作

■ 画面表示の拡大／縮小を変更するには

・ナビゲーションコントロールの周囲を時計回りになぞると拡大表示し、反時計回りになぞると縮小表示することができます。→(P.21)

・タッチパネルを２回タップすると拡大表示されます。もう一度２回タップすると、元の表示に戻ります。→(P.30)

■ ページをパンする

タッチパネルに触れたまま上下左右、斜めにドラッグすると、ページをパンすることができます。→(P.30)

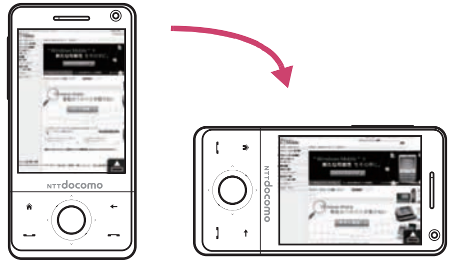
■ ページを保存する

表示中のホームページを保存して、後で表示することができます。

・ホームページ表示中にタッチスクリーンに触れたままにし、ポップアップメニューから「ページ保存」を選択する。

■ ページを回転する

FOMA端末を横（左右）に倒すと、画面も自動的に回転します。



おしらせ

・文章や画像が多く含まれる場合など、表示しているページによっては、画面が切り替わるまでに時間がかかることがあります。

ホームページの情報を表示する

1 ▲→[≡]→「ページ情報」

ページタイトル、ファイルサイズ、URLやセキュリティなどの情報が表示されます

履歴からホームページを表示する

1 ▲→[≡]→「履歴」

2 表示するページタイトルまたは、アドレスをタップする

おしらせ

・履歴は、「今日」、「昨日」、「今週」、「先週」、「古い履歴」と5段階に分けて保存されています。表示する履歴をこの中から選んでください。

履歴やキャッシュをクリアする

FOMA端末は、よく閲覧するホームページや最近アクセスしたホームページなどの情報を一時的に保存しています。メモリ容量を確保するために、これらのファイルを削除することができます。

1 →→「 履歴」→をタップする

ブックマークを登録してすばやく表示する

■ ブックマークに登録する

1 ブックマークに登録するページを開く

2 →→をタップする

名前、アドレス(URL)および保存先フォルダ名を確認してをタップしてください。

■ ブックマークからページを表示する

1 →をタップする

登録されているブックマークが表示されます。

2 表示したいブックマークをタップする

ホームページに表示されている画像を保存する

1 表示されている画像を1秒以上タップする

メニューが表示されます。

2「画像を保存」をタップする

3 次のいずれかの方法で画像を保存する

- 画像を端末の「マイ ピクチャ」に保存する場合は、「はい」をタップします。
- 画像を microSD カードなど、別の場所に保存する場合は、「名前を付けて保存」をタップ→ファイル名、保存場所などを設定して、「保存」をタップします。

ホームページ中の文字をコピーする/貼り付ける

ホームページ中の文字をコピーします。コピーした文字は、他のアプリケーションなどに貼り付けることができます。

1 表示されている画面の文字を指やスタイラスでなぞる

選択された文字が反転表示されます。

2 反転表示された文字を1秒以上タップする→「コピー」

ホームページからデータをダウンロードする

1 ホームページ表示中にダウンロードするファイル名、リンク先などをタップ→「はい」

ダウンロードを開始します。

ファイル名を変更する場合は「名前を付けて保存」をタップします。

「ダウンロード後にファイルを開く」にチェックを付けると、ダウンロード完了後にファイルを表示、再生します。

ブラウザの設定をする

ホームを設定する

1 インターネットホームページを開く

アドレスバーに、ホームに設定したいホームページのURLを入力し、をタップするとホームページが開きます。

2 →→「 設定」→「スタートページ」

3 次のいずれかの操作を行う

・デフォルトを使用　:お買い上げ時のホーム設定を使用します。

次ページにつづく

・現在のページに設定　：表示しているページをホームとして設定します。
・ユーザ定義　　　　　：ホームに設定したいホームページのURLを入力して設定します。

ホームを表示する

「ホームを設定する」で設定したインターネットホームページを開きます。

1 →をタップする

プライバシーの設定

Cookieや履歴を削除し、過去に閲覧したホームページやアクセス情報の漏洩を防ぎます。

1 →→「設定」

2 「プライバシー」→「Cookieを削除」／「履歴を削除」→「OK」

おしらせ

・Cookieとは、お客様のアクセス情報などを保存するしくみです。インターネットホームページのサーバから送信され、FOMA端末に保存されます。
・Cookieの有効／無効は、「設定」→「詳細設定」→「Cookieを有効にする」にチェックを付ける／外すことにより設定できます。

Internet Explorerを利用する

[Internet Explorer]

Internet Explorerを使って、インターネットホームページの閲覧ができます。

- インターネットホームページによっては、表示できない場合や、正しく表示できない場合があります。

Internet Explorerを起動する

1 「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」

Internet Explorerの初期画面（ホーム）が表示されます。



おしらせ

・Internet Explorer Mobileは、パソコン上のInternet Explorerとは表示が異なる場合があります。
・インターネット接続中に他のアプリケーションなどに切り替えても、パケット通信を切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「回線を切断する」(P.89)を参照してください。

ホームページの表示サイズを変更する

1 「メニュー」→「表示」→「ズームレベル」

最大、大、既定、小、最小が表示されます。

2 表示サイズを選択する

ホームページの表示方法を変更する

1「メニュー」→「表示」

2 次のいずれかをタップする

- 一列に表示する：画面の大きさに合わせて、コンテンツをすべて一列に表示します。
- 画面に合わせる：画面の大きさに合わせて、コンテンツをパソコンなどのWebブラウザで表示した場合のレイアウト方式で表示します。
- 表示調整しない：パソコンなどのWebブラウザで表示した場合のレイアウトの大きさでそのまま表示します。
- 全画面表示：全画面で表示します。全画面表示を解除するには、ディスプレイを1秒以上押して「全画面表示」をタップしてください。
- 画像を表示する：画像を表示します。

おしらせ

- 「戻る」をタップすると1つ前のページに戻ります。
- 「メニュー」→「次へ」をタップすると「戻る」の操作を行う前のページに移動します。
- 「メニュー」→「最新の情報に更新」で表示中のページを新しい情報に更新します。

ホームを設定する

1 ホームに設定したいインターネットホームページを表示する

Internet Explorer画面のアドレスバーにホームとしたいホームページアドレスを入力してください。をタップするとホームページが開きます。

2「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「全般」タブ

3 次のいずれかの操作を行う

- 現在のページを使用：表示しているページをホームとして設定します。
- 既定のページを使用：お買い上げ時のホーム設定を使用します。

文字コードを設定する

1「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「全般」タブ

2「エンコード」に設定する文字コードを選択してタップする

インターネットセキュリティの設定

1「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「セキュリティ」タブ

2 設定する項目にチェックを付ける

「Cookieを許可する」のチェックを外してCookieが受信されないようにすると、FOMA端末の安全性をより高めることができます。なお、「Cookieをクリア」をタップするとそれまでに受信したCookieを削除できます。

必要に応じてその他のセキュリティ設定を選択してください。



おしらせ

- Cookieとは、お客様のアクセス情報などを保存するしくみです。インターネットホームページのサーバから送信され、FOMA端末に保存されます。

URLを入力してホームページを表示する

1「メニュー」→「アドレスバー」

2 URLを入力する→をタップする

ホームページの情報を表示する

1「メニュー」→「ツール」→「プロパティ」

ページタイトルやファイルサイズ、URLなどの情報が表示されます。

次ページにつづく

履歴からホームページを表示する

1「メニュー」→「ツール」→「履歴」

2 表示したいページタイトルまたは、アドレスをタップする

選択したホームページが表示されます。

履歴やキャッシュをクリアする

FOMA端末は、よく閲覧するホームページや最近アクセスしたホームページなどの情報を一時的に保存しています。メモリ容量を確保するために、これらのファイルを削除することができます。

1「メニュー」→「ツール」→「オプション」→「メモリ」タブ

2「履歴のクリア」または「ファイルを削除」をタップする

お気に入りに登録してすばやく表示する

■ お気に入りに登録する

1 お気に入りに登録するページを開く

2「メニュー」→「お気に入りに追加」

お気に入りの追加画面が表示されます。
名前、アドレス(URL)およびフォルダ名を確認して「追加」をタップしてください。



■ お気に入りからホームページを表示する

mopera U ポータルサイトは、Internet Explorerのお気に入りからご利用いただくと便利です。

1「メニュー」→「お気に入り」

2 表示したい名前をタップする

お気に入りに新しいフォルダを作成する

1「メニュー」→「お気に入り」→「追加/削除」タブ→「新しいフォルダ」

2 フォルダ名を設定して「追加」をタップする

お気に入り画面に作成したフォルダが表示されます。

> おしらせ
> ・お気に入りに登録するときに、作成したフォルダに登録することができるようになります。

お気に入りを削除する

1「メニュー」→「お気に入り」→「追加/削除」タブ

2 削除するアイテムをタップ→「削除」→「はい」

> おしらせ
> ・お買い上げ時に設定されているお気に入りも削除することができます。

回線を切断する

Comm Manager（P.69）の「データ接続」がオンになっている場合は、手動で回線を切断します。

● 切断するまでインターネットに接続されています。



1 ステータスアイコンの3Gをタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面で3Gをタップする

切断画面が表示されます。

3 「切断」をタップする

MEMO

マルチメディア

著作権について

FOMA 端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

FOMA端末に内蔵されているカメラを使って、静止画や動画を撮影できます。

- FOMA 端末は、外側カメラと内側カメラの2つのカメラを搭載しています。カメラの切り替えは設定メニューで行います（P.93）。
- 撮影した静止画／動画は、マイ ピクチャフォルダ／マイ ビデオフォルダに保存され、「アルバム」で閲覧できます（P.97）。また、保存先をmicroSDカードに設定することもできます（P.94）。

カメラの利用にあたって

撮影するときのご注意

- 内蔵カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色あいが異なる場合があります。
- レンズが指紋や油脂などで汚れると、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、FOMA端末が動かないようにしっかり手に持って撮影してください。撮影時にFOMA端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画面が暗くなったり撮影画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、一部に暗く見える点や線、常に明るく見える点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり撮影画像が乱れることがありますので、ご注意ください。
- 撮影時は、オートフォーカス機能が作動するときの駆動音が鳴ります。

  オートフォーカス機能をオフにすることはできませんので、あらかじめご了承ください。

カメラ機能について

カメラの起動

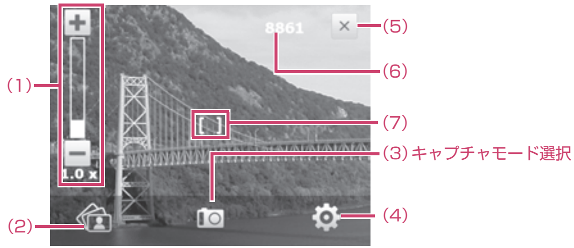
1 「スタート」→「プログラム」→「カメラ」

おしらせ

・TouchFLO 3Dのホーム画面（画像とビデオ）で［カメラ］または［ビデオ］をタップして起動することもできます（P.135）。

撮影画面の見かた

撮影画面をタップするとアイコンが表示されます。



撮影画面（撮影モード：フォト、アイコン表示時）

アイコン	名称	説明
(1) ＋／－	ズーム	＋や－をタップして倍率を切り替えます。撮影モードや解像度によって選択できるズーム倍率が異なったり、ズームが行えない場合があります。※
(2)	アルバム	「カメラアルバム」を呼び出します（P.97）。
(3)	キャプチャモード	現在のキャプチャモードを示します。タップするとキャプチャモードを選択する画面が開きます（P.93）。
(4)	設定メニュー	設定メニューを開きます（P.93）。

アイコン	名称	説明
(5) ×	終了	カメラを終了します。
(6) 12954	残量表示	現在の解像度／画質／保存先での撮影可能枚数(静止画時)または撮影可能時間の目安の時間(動画時)を表示します。
(7) ／	オートフォーカスインジケータ	ピント調整中は が点滅し、焦点が合うと (緑色)に変化します。

※：動画の場合は最大約2.0倍(2段階)のデジタルズームとなります。

キャプチャモード

撮影する目的に応じて、撮影するモード（キャプチャモード）を切り替えることができます。

撮影画面または設定メニュー画面で をタップすると、キャプチャモード画面が開きます。



キャプチャモード画面

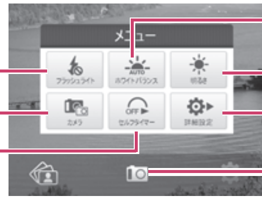
アイコン	キャプチャモード	説明
(1)	フォト	標準の静止画を撮影します。
(2)	ビデオ	動画(音声有り／なし)を撮影します。
(3)	パノラマ	複数枚の静止画をつなげて1枚のパノラマ写真を作成します(内側カメラでは使用できません)。
(4)	連絡先ピクチャ	連絡先に設定する静止画を撮影します。
(5)	ピクチャのテーマ	フレーム付きの静止画を撮影します。
(6)	－	設定メニュー画面が開きます(P.93)。

設定メニュー

設定メニューを表示して、すばやくカメラの設定を変えることができます。

お買い上げ時	解像度：中(320X240) ホワイトバランス：Auto 明るさ：0.0 カメラ：外側 セルフタイマー：OFF

撮影画面またはキャプチャモード画面で をタップすると、設定メニュー画面が開きます。撮影解像度や明るさなどの撮影中の設定を行えます。表示されるアイコンや選択できる設定は撮影モードによって異なります。



設定メニュー画面

アイコン	メニュー	説明
(1)	フラッシュライト	タップすると、撮影時のフラッシュライトのオン／オフを変更できます。オンの場合は、フラッシュライトが点灯します。
(2)	ホワイトバランス	タップすると、ホワイトバランスの設定が、オート( )→太陽光( )→夜景( )→電球( )→蛍光灯( )の順に切り替わります。

アイコン	メニュー	説明
(3)	明るさ	＋や－をタップして明るさのレベルを調整します。
(4)	カメラ	外側カメラ( )、または内側カメラ(:鏡像撮影／ :正像撮影)に切り替えます。
(5)	セルフタイマー	タップすると、セルフタイマーの設定が、2秒→10秒→OFFの順に切り替わります(「フォト」と「連絡先」のときのみ有効)。
(6)	詳細設定	詳細を設定します(P.94)。
(7)	－	現在のキャプチャモードを示します。タップするとキャプチャモードを選択する画面が開きます(P.93)。

詳細設定

設定メニューで をタップして、詳細な設定ができます。

おしらせ

・詳細設定画面では、 で設定項目を選択することもできます。



項目	説明
レビュー時間	撮影後に、保存／利用メニューを表示する時間を設定します(何も操作せず設定した時間が経過すると、自動的に撮影画面に戻ります)。

項目	説明
解像度	静止画／動画のサイズを設定します。
テンプレート※1	フレームを付けて撮影する際のテンプレートをデフォルト／Cook／clothes-Line／Cat-Bubbleから設定します。
画質※2	静止画の画質をベーシック／ノーマル／ファイン／スーパーファインから設定します。
キャプチャフォーマット	静止画／動画を保存するときのデータ形式を設定します。 ・静止画撮影時：JPEG ・動画撮影時：MPEG4／H.263
タイムスタンプ※3	静止画に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
記録制限※4	動画の録画制限サイズを500KB／1MB／2MB／10秒／30秒／1分／3分／制限なしから設定します。
ストレージ	静止画／動画の保存先をメインメモリ／ストレージカードから設定します。
バックライトを維持	バックライトの動作をオン／オフから設定します。
音声録音※4	動画撮影時に音声も録音するかどうかを設定します。
撮影オプション	◯(決定)でシャッターを切る操作を設定します。 ・タッチアンドプレス：◯(決定)に軽く触れるとオートフォーカスが作動し、焦点が合ったら(オートフォーカスインジケータが緑色になる)◯(決定)を押してシャッターを切る。 ・タッチ：◯(決定)に軽く触れるとオートフォーカスが作動し、焦点が合ったら自動的にシャッターが切られる。 ・全押し：◯(決定)を押すとオートフォーカスが作動し、焦点が合ったら自動的にシャッターが切られる。
イメージプロパティ	画面の表示画質(コントラスト／色の濃さ／シャープネス)を設定します。
効果	静止画／動画の特殊効果をなし／グレースケール／セピア／ネガから設定します。
測定モード	明るさの測定を中心エリア／平均から設定します。
保存ファイル名	静止画／動画を保存するときのファイル名の規則をデフォルト／日付／日付/時刻から設定します。
カウンター	カウンターをリセットします。

項目	説明
ちらつき調整	蛍光灯による画面のちらつきの補正について自動／50Hz／60Hzから設定します。
グリッド※3	撮影画面にグリッドを表示するかどうかを設定します。
方向※5	パノラマの方向(静止画をつなげる方向)を設定します。
スティッチ数※5	パノラマの撮影枚数(静止画をつなげる枚数)を設定します。
通知を表示※6	連絡先ピクチャの撮影後に、連絡先設定の確認メッセージを表示するかどうかを設定します。
テーマフォルダ※1	フレームのテンプレートのフォルダをメインメモリ／メイン＋カードから設定します。
ヘルプ	カメラのヘルプを表示します。
バージョン情報	カメラのソフトウェアのバージョン情報を表示します。

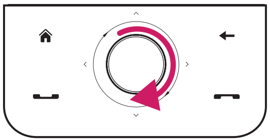
※1：キャプチャモードが「ピクチャのテーマ」の場合のみ。
※2：静止画撮影の場合のみ。
※3：キャプチャモードが「フォト」の場合のみ。
※4：キャプチャモードが「ビデオ」の場合のみ。
※5：キャプチャモードが「パノラマ」の場合のみ。
※6：キャプチャモードが「連絡先のピクチャ」の場合のみ。

ズーム

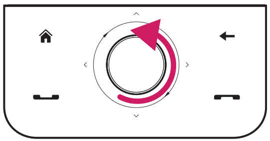
ズーム機能を使って、被写体の大きさを調節することができます。

1 撮影画面で＋／－をタップする

・ナビゲーションコントロールの周囲をなぞってズーム調整することもできます。



ズームイン



ズームアウト

・キャプチャモードが「ビデオ」の場合は、撮影開始前にズーム操作を行ってください。

倍率について

ズームは最大4倍まで調節できますが、撮影モードや解像度などによって利用できる倍率は異なります。

キャプチャモード	カメラ	解像度	最大ズーム倍率
フォト	外側カメラ	中(320×240)	約4.0倍(6段階)
		大(640×480)	約2.0倍(6段階)
		1M(1280×960)	約2.0倍(6段階)
		2M(1600×1200)	約2.0倍(6段階)
		3M(2048×1536)	約2.0倍(6段階)
	内側カメラ	中(320×240)	約2.0倍(6段階)
		大(640×480)	ズームなし
ビデオ	外側カメラ	小(128×96)(4:3)	約1.5倍(2段階)
		中(176×144)(11:9)	約1.5倍(2段階)
		大(320×240)(4:3)	約1.5倍(2段階)
		CIF(352×288)(11:9)	約1.5倍(2段階)
	内側カメラ	ー	ズームなし
パノラマ	外側カメラ	中(320×240)	約4.0倍(3段階)
		大(640×480)	約2.0倍(2段階)
連絡先ピクチャ	外側カメラ	中(240×320)	約4.0倍(6段階)
	内側カメラ	中(240×320)	約2.0倍(6段階)
ピクチャのテーマ	外側カメラ	テンプレートの解像度による	テンプレートの解像度に応じた倍率
	内側カメラ		

静止画を撮影する

［静止画撮影］

1 カメラを起動し、ディスプレイをタップする

撮影画面にアイコンが表示されます。
カメラ起動時は前回撮影時のキャプチャモードで起動します。

2 キャプチャモードを（フォト）に切り替える

（キャプチャモードの切り替え→P.93）



3 カメラを被写体に向ける→◯（決定）

◯（決定）に触れると、オートフォーカスが作動します。ピントが合うと「ピピッ」と音が鳴り、オートフォーカスインジケータが緑色になります。そのまま◯（決定）を押すと、シャッター音が鳴り、撮影した静止画がレビュー表示されます。

おしらせ

- 「連絡先ピクチャ」モードで撮影後は、連絡先へ設定するかどうかのメッセージが表示され、「はい」をタップすると設定する連絡先の選択画面になります。また、レビュー表示中のアイコンは、の代わりに（連絡先を呼び出す）が表示されます。
- シャッターを切る動作は、詳細設定の「撮影オプション」（P.94）で設定を変更できます。
- カメラを起動した状態で、何も操作しないで2分経過すると画面に、「スクリーンをタップするか、[ENTER]ボタンを押してカメラを有効にしてください。」とメッセージが表示されます。

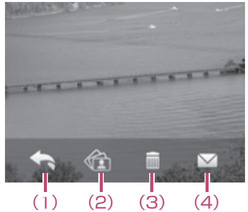
シャッターについて

シャッターを切るときは◯（決定）を押します。撮影モードによってボタンの押しかたが異なります。

撮影モード	シャッターボタンの押しかた
「フォト」または「連絡先ピクチャ」	詳細設定の「撮影オプション」（P.94）の設定に従います。
「ビデオ」	一度押すと撮影を開始し、もう一度押すと終了します。
「パノラマ」	画面のガイドに従って、毎回ボタンを押します。「設定メニュー」→「スティッチ数」で指定した枚数を撮影すると終了します。
「ピクチャのテーマ」	画面のガイドに従って、毎回ボタンを押します。テンプレートごとに規定の枚数を撮影すると終了します。

レビュー表示について

静止画または動画を撮影すると、レビュー画面が表示されます。このとき表示されるアイコンで画像を削除したり、メールで送信したりできます。



アイコン	名称	説明
(1)	戻る	カメラ画面に戻ります。
(2)	表示	アルバムで画像を表示したり、ビデオを再生したりします。
(3)	削除	保存した静止画／動画を削除します。
(4)	メール送信※	静止画／動画をメールに添付して送信します。
	連絡先に割り当てる※	撮影した静止画を連絡先の画像として表示します。

※：キャプチャモードが「連絡先ピクチャ」の場合は、「メール送信」は表示されず「連絡先に割り当てる」が表示されます。

動画を撮影する

[動画撮影]

撮影中の設定の変更方法は、「静止画を撮影する」（P.96）を参照してください。

1 カメラを起動し、ディスプレイをタップする

撮影画面にアイコンが表示されます。
カメラ起動時は前回撮影時のキャプチャモードで起動します。

2 キャプチャモードを（ビデオ）に切り替える

（キャプチャモードの切り替え→P.93）

3 カメラを被写体に向ける→◯（決定）

シャッター音が鳴り、動画撮影（録画）がはじまります。録画中は●が表示されます。

4 撮影が終了したら、もう一度◯（決定）を押す

撮影した動画は自動的に保存され、約2秒間撮影イメージ（静止画）がプレビュー表示されます（P.96）。

おしらせ

- HT-01A以外のFOMA端末に動画を添付してメールを送信する場合、送信相手の機種によっては正しく受信や表示・再生ができない場合があります。
- カメラを起動した状態で、何も操作しないで2分経過すると画面に、「スクリーンをタップするか、[ENTER]ボタンを押してカメラを有効にしてください。」とメッセージが表示されます。

アルバムを見る

[アルバム]

カメラで撮影した静止画や動画は、「アルバム」で見ることができます。

1 「スタート」→「プログラム」→「アルバム」

アルバムが起動します。

おしらせ

- TouchFLO 3Dのホーム画面（画像とビデオ）で「アルバム」をタップして起動することもできます（P.135）。



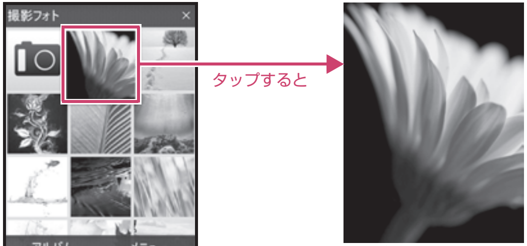
カメラアルバム画面

項目			説明
(1)	撮影画面へ		タップすると、カメラ撮影画面に切り替わります。
(2)	サムネール表示		タップするとその静止画を表示（動画の場合は再生）します。
(3)	アルバム		フォルダを選択する画面が表示されます。
(4)	終了		カメラアルバムを終了します。
(5)	メニュー		タップするとサブメニューを表示します。
		スライドショー	静止画をスライドショーで表示します。※
		アルバムをお気に入りに設定	選択中のフォルダをアルバムのお気に入りに設定します（P.136）。
		アイテムを削除	選択中の静止画／動画を削除します。
		送信	選択中の静止画／動画が添付された新規メールを作成します。
		連絡先に保存	選択中の静止画を連絡先に登録します。※
		プロパティ	選択中の静止画／動画のプロパティを表示します。
		オプション	スライドショーの設定画面を表示します。※
		ヘルプ	ヘルプを表示します。

※：静止画を選択しているときのみ利用できます。

静止画の見かた

静止画のサムネール画像をタップすると、その静止画を全画面表示します。



その静止画を全画面表示

おしらせ
・全画面表示からアルバムに戻るには、[←]を押すか、または全画面表示の画面をタップして表示される[戻る]をタップします。

動画の見かた

ビデオのサムネール画像（左下に[ビデオ]を表示）をタップすると、その動画を再生します。再生が終了したら[戻る]をタップしてください。

静止画表示中の操作

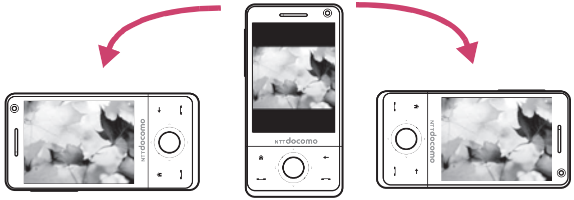
■ 利用できるメニュー

静止画表示中に画面をタップすると、表示されたアイコンで操作ができます。

アイコン	説明
[戻る]	**戻る** 静止画を表示する前の画面に戻ります。
[スライドショー]	**スライドショー** 静止画をスライドショーで再生します。
[メール送信]	**メール送信** 静止画をメールに添付して送信します。
[詳細メニュー]	**詳細メニュー** 静止画を連絡先に保存、別名で保存、削除、情報表示をします。

■ 静止画の回転

静止画を再生中にFOMA端末の縦／横の向きを変えると、静止画が自動的に回転します。



おしらせ
・画像ファイルのサイズが大きい場合は、画面が切り替わるまでに時間がかかることがあります。

■ 静止画の拡大

拡大したい部分を時計回りになぞると、なぞった部分が拡大されます。反時計回りになぞると、元のサイズに戻ります。



拡大表示（ズームイン）

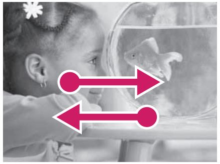


縮小表示（ズームアウト）

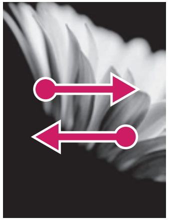
おしらせ
・ナビゲーションコントロールの周囲を時計回り（拡大）または反時計回り（縮小）になぞって操作することもできます。 ・拡大表示しているときに ◯（決定）を押すと、元の表示サイズに戻ります。

■ 静止画の切り替え

静止画を表示中に左右になぞると、前後の静止画に切り替わります。

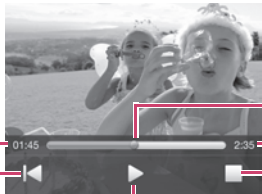


右へなぞる:次の画像を表示
左へなぞる:前の画像を表示



動画再生中の操作

動画再生中に画面をタップすると、再生時間や操作ボタンが表示され、再生、巻き戻し、一時停止、停止などの操作ができます。



■ 動画再生後に使用できるメニュー

動画の再生が終了すると、表示されたアイコンで操作ができます。

アイコン	説明
	再生 動画を再生します。
	戻る 動画を再生する前の画面に戻ります。
	メール送信 動画をメールに添付して送信します。
	詳細メニュー 動画の削除、情報表示をします。

アルバムを終了してカメラに戻る

アルバム画面で をタップするとカメラ撮影画面に戻ります。

アルバムを終了する

アルバム画面で をタップします。

スライドショーを再生する

お気に入りに設定しているフォルダの静止画をスライドショーで再生します。

1 「スタート」→「プログラム」→「アルバム」

2 「メニュー」→「スライドショー」をタップする

スライドショーが開始されます。

おしらせ

・TouchFLO 3Dのホーム画面(画像とビデオ)で「スライドショー」をタップして再生することもできます(P.135)。

スライドショー再生中の操作

スライドショー再生中に画面をタップすると、表示されたアイコンで操作ができます。

アイコン	説明
	**戻る** スライドショーを開始する前の画面に戻ります。
	**一時停止／再開** スライドショーを一時停止／再開します。
	**前の静止画** 前の静止画に戻ります。
	**次の静止画** 次の静止画を表示します。
	**スライドショーの設定** スライドショーの繰り返し、切り替え方法、表示時間、表示する方向を設定します。

静止画や動画を整理する

［画像とビデオ］

「画像とビデオ」を利用すると、FOMA端末本体やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を表示／再生したり、コピーや削除をして整理できます。

ファイルの種類	拡張子
画像	bmp、JPG、gif、png
GIFアニメーション	gif
ビデオ	avi、wmv、mp4、3gp、3g2
オーディオ	wma

1 「スタート」→「プログラム」→「画像とビデオ」

「マイ ピクチャ」フォルダに保存されている静止画が一覧表示されます。



画像とビデオのメニュー

■ 静止画／動画の一覧を表示しているとき

項目		説明
カメラ		カメラを起動します。
送信		選択中の静止画／動画が添付された新規メールを作成します。
ビーム		選択中の静止画／動画を、Bluetooth通信で送信します。
連絡先に保存※		選択中の静止画を連絡先に登録します。
削除		選択中の静止画／動画を削除します。
編集	切り取り	選択中の静止画／動画を切り取ります。
	コピー	選択中の静止画／動画をコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取った静止画／動画を貼り付けます。
	新しいフォルダ	新規フォルダを作成します。
スライドショーの再生※		フォルダ内の静止画をスライドショーで表示します。
[Today]の背景に設定する※		選択中の静止画をホーム画面の背景イメージに設定します。
移動	マイピクチャ	マイピクチャフォルダが表示されます。
	マイデバイス	マイデバイスフォルダが表示されます。
	フォルダ	閲覧するフォルダを選択します。

項目		説明
ツール	プロパティ	選択中のフォルダの情報を表示します。
	並べ替え	名前／日付／サイズ順に並べ替えます。
	オプションの表示	静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。
スペースに送信		静止画をWindows Liveの自分のフォトスペースにアップロードします。

※:静止画の一覧を表示しているときのみ利用できます。

■ 静止画を表示しているとき

項目		説明
ズーム		選択中の静止画をズーム表示して見ることができます。
スライドショーの再生		フォルダの中の静止画をスライドショーで再生します。
[Today]の背景に設定する		選択中の静止画をホーム画面の背景イメージに設定します。
画像のビーム		選択中の静止画をBluetooth通信で送信します。
保存	連絡先に保存	選択中の静止画を連絡先に登録します。
	名前をつけて保存	選択中の静止画を別の名前を付けて保存します。
編集		静止画を編集します。
プロパティ		静止画のプロパティを表示します。
オプション		静止画をメールに添付するときの画像サイズや回転するときの方向の設定、スライドショー再生時の設定をします。
スペースに送信		静止画をWindows Liveの自分のフォトスペースにアップロードします。

音楽や映像を再生する

Windows Media Playerを使って音楽や動画を再生することができます。

Windows Media Playerを利用する

[Windows Media Player]

再生できるファイル形式

Windows Media Playerで再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲／動画によっては再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

● 音楽ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Audio	wma
WAVE	wav
MP3	mp3
MIDI、SP MIDI	mid、midi、rmi
AMR Narrow Band	amr、3gp
AMR Wide Band	awb、3gp
AAC、AAC+、eAAC+	aac、mp4、m4a、3gp
MPEG4 audio	m4a
QCELP	qcp、3g2
EVRC	qcp

● 動画ファイル

ファイル形式／コーデック	拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
H.263	3gp、3g2
H.264	mp4、3gp、3g2、m4v
Motion JPEG	avi

著作権保護について

本FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWindows Media Audioファイル（楽曲）／Windows Media Videoファイル（動画）を再生できます。

・著作権保護された楽曲／動画は、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存の楽曲／動画が再生できなくなることがあります。

Windows Media Playerを開く

1 「スタート」→「プログラム」→「Windows Media」

ライブラリ画面が表示されます。

2 ライブラリから楽曲を選んで、「再生」をタップする

再生画面が表示されて楽曲の再生がはじまります。

画面とメニュー


ライブラリ画面


再生画面

● ライブラリ画面

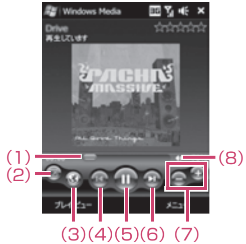
この画面で楽曲や動画を選択して、再生します。楽曲／動画は、マイ ミュージック、マイ ビデオなどのカテゴリに分類されています。

● 再生画面

再生コントロール（再生／一時停止、早送り、巻き戻し、音量など）とビデオウィンドウが表示される最初の画面です。

再生画面の操作

再生画面では、次の操作が行えます。



(1)再生位置	再生の進行時間を表示します。スライダーを動かして目的の位置で再生できます。
(2)全画面表示	動画を全画面に表示します。
(3)インターネットホームページ	Windows Media.comへ接続されます。
(4)巻き戻し	再生中のファイルの先頭または前のファイルを再生します。
(5)再生／一時停止	ファイルを再生、また再生中は一時停止します。
(6)早送り	次のファイルを再生します。
(7)ボリューム	音量の調節を行います。
(8)ミュート	音を消します。

パソコンのライブラリと同期する

Windows Media Playerのライブラリと楽曲／動画を同期することができます。

● 著作権保護された楽曲／動画は、著作権情報とともにFOMA端末に転送されます。

● あらかじめ、ActiveSync（P.114）でFOMA端末とパソコンの同期の設定を行っておく必要があります。

FOMA端末と同期を行うには、パソコンのWindows Media Playerのバージョンは10以降が必要です。

■ 同期の準備／ライブラリの同期（例：パソコン側がWindows Media Player11の場合）

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使用して、パソコンとFOMA端末を接続する

2 パソコンのWindows Media Playerを起動する

はじめてFOMA端末と同期するときは、デバイスの設定画面が表示されます。

3 パソコンのWindows Media Player同期タブをクリックする

4 同期する楽曲をライブラリからデバイス側にドラッグアンドドロップする



5「同期の開始」をクリックする

ライブラリの同期がはじまります。

■ FOMA端末のmicroSDカードとの同期（例：パソコン側がWindows Media Player11の場合）

1 パソコンのWindows Media Playerで、「次のデバイス」をクリックする



2 以降の操作は、「同期の準備／ライブラリの同期」（P.102）の手順4以降を参照してください

おしらせ

・パソコン側のWindows Media Playerの使用方法については、Windows Media Playerのヘルプを参照してください。

プレイビューを使って再生する

再生したい順番に楽曲／動画をプレイビュー（再生待ちリスト）に登録することができます。

- プレイビューは一時的なリストのため、Windows Media Playerを終了すると、内容は消去されます。必要に応じて再生リストに登録することをおすすめします。

次ページにつづく

■ プレイビューに登録する

1 ライブラリから楽曲／動画を選択する

2 「メニュー」→「再生待ちに追加」

プレイビューに登録されます。
登録したい楽曲／動画の数だけ操作を繰り返します。

■ プレイビューから再生する

1 「ライブラリ」→「プレイビュー」→「再生」

楽曲／動画の再生がはじまります。

再生リストを使って再生する

■ 再生リストを作成する

ここでは、プレイビューから再生リストを作成する手順を説明します。

1 プレイビューに楽曲／動画を登録する

詳細は、「プレイビューに登録する」を参照してください。

2 「プレイビュー」→「メニュー」→「再生リストの保存」

3 再生リスト名を入力し、「終了」をタップする

■ 再生リストを使って楽曲／動画を再生する

1 「ライブラリ」→「再生リスト」

2 再生リストを選択し、「再生」をタップする

再生リストの再生がはじまります。

ストリーミングメディアを利用する

［ストリーミングメディア］

「ストリーミングメディア」を使ってインターネットホームページでストリーミング配信されている動画コンテンツを再生できます。

● 対応している動画ファイル形式は、3GPとMPEG-4です。また、SDPファイルの再生にも対応しています。

ストリーミングメディアを開く

1 「スタート」→「プログラム」→「ストリーミングメディア」

2 「接続」をタップする

3 再生しようとする動画コンテンツのURLを入力する→「接続」

動画コンテンツの再生がはじまります。再生中は、コントロールボタンを使って、再生、一時停止、音量調節などを行えます。



(1) (2) (3) (4)

(1)全画面表示	動画を全画面に表示します。
(2)巻き戻し	再生中のファイルの先頭または前のファイルを再生します。
(3)再生／一時停止	ファイルを再生、また再生中は一時停止します。
(4)早送り	次のファイルを再生します。

Internet Explorerからストリーミングコンテンツにアクセスする

インターネットホームページ上に動画コンテンツへのリンクが含まれている場合は、以下の操作でコンテンツの再生が行えます。

1 「スタート」→「プログラム」→「Internet Explorer」

2 目的のインターネットホームページを表示する

3 動画コンテンツへのリンクをタップする

ストリーミングメディアが自動的に起動し、ファイルの再生がはじまります。再生中は、コントロールボタンを使って再生、一時停止、音量調節などが行えます。

ストリーミングビデオの接続を設定する

1 「メニュー」→「オプション」

動画コンテンツの再生やインターネットへの接続に関する設定を行います。

YouTubeを見る

[YouTube]

YouTubeは、動画コンテンツの視聴や配信ができる動画共有サイトです。本FOMA端末では動画コンテンツの視聴のみ行えます。

おしらせ

- 動画コンテンツのダウンロードの際に、パケット通信料が発生する場合があります。
- YouTubeの混み具合により、つながりにくかったりダウンロードに時間がかかる場合があります。

1 「スタート」→「プログラム」→「YouTube」

動画コンテンツ画面が表示されます。

2 視聴したい動画コンテンツを検索する

をタップしキーワードを入力しをタップすると、一覧が表示されます。

3 一覧から動画コンテンツをタップする

再生がはじまります。

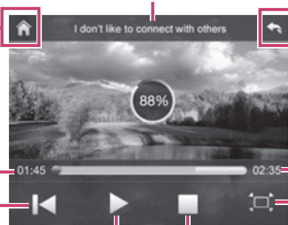


おしらせ

- 動画コンテンツを検索後にをタップすると、入力したキーワードをプログラムガイドに登録できます。動画コンテンツ一覧画面で、「プログラムガイド」の下にあるをタップしてキーワードをタップすると、関連した動画コンテンツ一覧を呼び出せます。

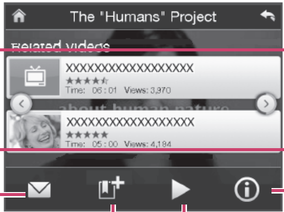
動画コンテンツ再生画面

通常は動画のみ再生されます。画面をタップするとタイトルや再生時間、コントロールボタンが表示され、動画の操作ができます。



動画コンテンツ再生後の操作

動画の再生が終了すると、関連する動画やコントロールボタンが表示されます。



YouTubeのメニュー

動画コンテンツ一覧画面では、アイコンをタップして以下の機能を利用できます。

アイコン	説明
	動画コンテンツ一覧画面を表示します。
	ブックマークを表示します。対象のブックマークをタップすると、動画コンテンツが再生されます。
	再生履歴を表示します。対象の再生履歴をタップすると、動画コンテンツが再生されます。
	動画コンテンツを検索します。
	動画の再生品質を設定します。

音質を調節する

［オーディオブースター］

お買い上げ時	標準

オーディオブースターは音楽を聴くときの音質を調節するためのプログラムです。

オーディオブースターを開く

1 「スタート」→「プログラム」→「オーディオブースター」



おしらせ

・オーディオブースターを起動するときは、miniUSBステレオヘッドセット HT02をFOMA端末に接続する必要があります。
・オーディオブースターは以下の組み合わせでは機能しません。
- FMラジオ ＋ miniUSBステレオヘッドセット HT02
- Windows Media Player ＋ ワイヤレスイヤホンセット P01
- TouchFLO 3Dのミュージック ＋ ワイヤレスイヤホンセット P01

使用するイコライザを選択する

1 「スタート」→「プログラム」→「オーディオブースター」

2 イコライザのプリセットを選択し、「オン」にチェックを付ける

ドロップダウンメニューをタップして、リストからプリセットするイコライザを選択します。

3 「完了」をタップする



イコライザのプリセットをカスタマイズする

1 「スタート」→「プログラム」→「オーディオブースター」

2 イコライザのプリセットを選択する

ドロップダウンメニューをタップして、リストからカスタマイズするイコライザのプリセットを選択します。

3 周波数コントロールを調節する

イコライザの周波数コントロールをドラッグして、イコライザの設定を調節してください。

4 「メニュー」→「プリセットとして保存」



5 プリセット名を入力して、「完了」→「ok」

イコライザのプリセットを削除する

1 「スタート」→「プログラム」→「オーディオブースター」

2 削除するイコライザのプリセットを選択する

ドロップダウンメニューをタップして、リストから削除するイコライザのプリセットを選択します。

3 「メニュー」→「プリセットを削除」→「はい」

おしらせ

・カスタムプリセットのみ削除できます。あらかじめインストールされているイコライザプリセットは削除することはできません。

MEMO

ファイルの管理／パソコンとのデータ同期

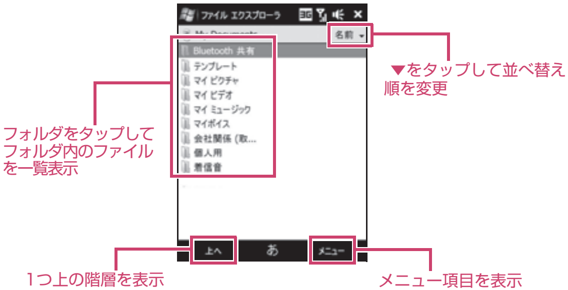
フォルダの構成について

［ファイル エクスプローラ］

ファイル エクスプローラを利用すると、FOMA端末またはmicroSDカード内に保存したデータやファイルを管理することができます。

1 「スタート」→「プログラム」→「ファイル エクスプローラ」

ファイル エクスプローラが起動し、フォルダとファイルの一覧が表示されます。



My Documentsのフォルダの構成

項目	説明
Bluetooth共有	Bluetooth機器とのデータ共有に使用します。
テンプレート	静止画を撮影するときに使用するフレームが保存されています。
マイ ピクチャ	カメラで撮影した画像などが保存されます。
マイ ビデオ	ビデオで撮影した動画が保存されます。
マイ ミュージック	ダウンロードした楽曲などを保存します。
マイボイス	ボイス レコーダーで録音した音声などが保存されます。
会社関係（取引先）	会社関係のデータなどを保存します。
個人用	個人用のデータを保存します。
着信音	ダウンロードした着信音など、着信音に使用するファイルを保存します。

おしらせ

・「Bluetooth共有」フォルダは、「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「FTP」タブで、Bluetoothエクスプローラとファイルの共有を有効にしたときに表示されます。

フォルダ構成上の注意

マイ デバイスフォルダには、アプリケーションをインストールすると新しくフォルダが追加されます。またアプリケーションによっては、その使用状況によりフォルダを追加したり、構成を変更する場合があります。マイ デバイスのフォルダ構成は次のとおりです。

「◆」の付いているフォルダは、システムやアプリケーションが使用するフォルダですので、絶対に移動や削除を行わないでください。システムやアプリケーションが動作しなくなることがあります。

マイ デバイス
- Application Data ◆
- ConnMgr ◆
- Bluetooth※1
- Documents and settings ◆
- Music
- My Documents ◆
- Program Files ◆
- Temp ◆
- Windows ◆
- ストレージカード※2

※1:Bluetooth Explorerが有効になっているときのみ表示されます。

※2:microSDカードを取り付けているときのみ表示されます。

おしらせ

・ファイル エクスプローラを使って、「My Documents」以外のフォルダにもアクセスできますが、システムファイルなどを誤って削除するとWindowsが起動しなくなりますのでご注意ください。
Windowsが起動しなくなった場合は、ハードリセット(P.169)を行ってください。

ファイル／フォルダを操作する

新規フォルダの作成

1 「メニュー」→「新しいフォルダ」

「新しいフォルダ」が作成されます。

2 フォルダ名を入力する

フォルダ名やファイル名の変更

1 変更するフォルダまたはファイルを◎で反転表示させる

2 「メニュー」→「名前の変更」

3 新しい名前を入力する

フォルダやファイルを削除する

1 削除するフォルダまたはファイルを◎で反転表示させる

2 「メニュー」→「削除」

確認画面が表示されます。

3 「はい」をタップする

フォルダやファイルをコピー／移動する

1 コピー／移動するフォルダまたはファイルを◎で反転表示させる

2 「メニュー」→「編集」→「コピー」または「切り取り」

3 コピーまたは移動先のフォルダを開く

4 「メニュー」→「編集」→「貼り付け」

おしらせ

・フォルダ名／ファイル名の変更や移動、削除ができない場合は、ほかのプログラムが使用していることが考えられます。その場合は、そのプログラムを終了してから、移動してください。

ファイル エクスプローラのメニュー

項目		説明
移動	My Documents	ファイル エクスプローラで操作する対象を切り替えます。
	マイデバイス	
	フォルダ	
	パスを開く→新しいパス	
最新の情報に更新		最新の状態に更新します。
すべてのファイルを表示		隠しファイルなど、すべてのファイルを表示します。
並べ替え	名前	指定した条件でファイルを並べ替えます。
	日付	
	サイズ	
	種類	
送信		選択したファイルをメールに添付して送信します。ファイルを選択してから、この項目をタップしてメールを作成します。
ファイルをビームする		Bluetooth通信で、選択したファイルを送信します。
新しいフォルダ		新規フォルダを作成します。

次ページにつづく

項目		説明
名前の変更		フォルダ名やファイル名を変更します。
削除		フォルダやファイルを削除します。
編集	元に戻す	直前に行った操作を元に戻します。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取ります。
	コピー	フォルダやファイルをコピーします。
	貼り付け	コピーまたは切り取ったフォルダやファイルを貼り付けます。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付けます。
	すべて選択	フォルダやファイルをすべて選択します。

注意
・アプリケーションやシステムが使用しているフォルダやファイルなどは、削除できません。
・一度削除したファイルは、元に戻せません。

microSDカードを使う

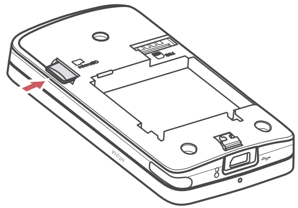
microSDカードの取り付け／取り外しを行うときは、本FOMA端末の電源を切ってから行ってください。
FOMA端末では、microSDカードを外部メモリとして利用できます。microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。microSDカードをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

● HT-01Aは、2GバイトまでのmicroSDカードと8GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2008年10月現在)
● あらかじめフォーマット済みのmicroSDカードをご利用ください。FOMA端末でmicroSDカードのフォーマットは行えません。
● microSDカードを挿入しても、本FOMA端末ではmicroSDカード使用中などのアイコンは表示されません。

microSDカードを取り付ける

● microSDカードを取り付けるときは、FOMA端末の電源を切った状態で、電池パックを外してから行ってください(P.35)。

1 端子面を上にしてmicroSDカードをカードスロットにロックするまで差し込む



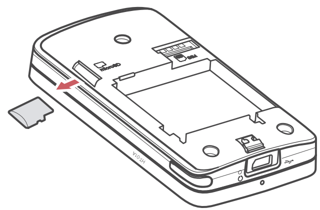
microSDカードを取り外す

● microSDカードを取り外すときは、FOMA端末の電源を切った状態で、電池パックを外してから行ってください(P.35)。

1 microSDカードを軽く押し込む

microSDカードが少し出てきます。

2 microSDカードを取り出す



microSDカード内のファイルを暗号化する

お買い上げ時	オフ

microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。

- 本機能により暗号化されたファイルは、本FOMA端末のみで開くことができます。

注意

・「ストレージをクリア」(P.168)を実行すると、暗号化されたファイルは一切読み出すことができなくなります。「ストレージをクリア」を実行する前に、暗号化されたファイルをActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンに保存してください。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「暗号化」

2 「メモリ カード内のファイルを暗号化する」にチェックを付ける

3 「ok」をタップする

データを検索する

[検索]

My Documentsフォルダやmicro SDカード内に保存されているファイルやデータを検索できます。

1 「スタート」→「プログラム」→「検索」

検索画面が表示されます。

2 「検索」フィールドに検索する文字列を入力する

ファイル名や、電子メール、予定表などのデータに含まれる文字列を入力します。

3 「種類」フィールドの右にある▼をタップして、検索するデータの種類を選択する

4 「検索」をタップする

検索が開始し、「結果」フィールドに検索結果が表示されます。

5 参照したいファイルやデータをタップする

ファイルやデータの内容が表示されます。

おしらせ

・「検索」フィールドの右にある▼をタップすると、以前入力した文字列の履歴が表示されます。再検索する場合や、文字列を一部変更して再検索する場合に利用できます。

ZIPフォーマットの書庫ファイルを利用する

[ZIP]

ZIPフォーマットの書庫ファイル(以下ZIPファイル)を解凍してFOMA端末で利用できるようにしたり、新規にZIPファイルを作成します。

ZIPを起動し、ZIPファイルを開く

1 「スタート」→「プログラム」→「Zip」

FOMA端末内にあるZIPファイルが検索され、検索結果が画面に表示されます。

2 対象のZIPファイルをタップする

圧縮されているファイルが一覧表示されます。

3 対象のファイルをタップする

ファイルの種類に応じたプログラムが起動します。

■ **手動でZIPファイルを検索する場合**

「検索」をタップします。

新規にZIPファイルを作成する

1 「スタート」→「プログラム」→「Zip」

2 「新規作成」をタップする

3 ZIPファイルの「名前」を入力する

4 保存先の「フォルダ」、「種類」、「場所」(メインメモリまたはストレージカード)を選択する

次ページにつづく

5「保存」をタップする

圧縮ファイルを追加する

1「スタート」→「プログラム」→「Zip」

2 対象のZIPファイルをタップする

3「メニュー」→「アクション」→「追加」

4 圧縮するファイルをタップし、「追加」をタップする

■ 圧縮した元ファイルを削除する場合

圧縮するファイルをタップし､｢追加して削除｣をタップします。

ZIPファイルを解凍する

1「スタート」→「プログラム」→「Zip」

2 対象のZIPファイルをタップする

3「メニュー」→「アクション」→「解凍」

■ 圧縮された特定のファイルを解凍する場合

対象のファイルを反転表示し､｢メニュー｣→｢アクション｣→｢解凍｣をタップします。

4 次の項目を設定する

項目	説明
解凍先	解凍先のフォルダを指定します。
ファイルを解凍	解凍の対象を指定します。
既存のファイルに上書き	チェックを付けると､解凍先のフォルダに同じファイルが保存されている場合､上書きされます。
パスも含む	チェックを付けると､解凍したファイルがパスを保持します。

5「解凍」をタップする

おしらせ

・ZIPファイルの表示／作成／解凍後にほかのファイルを操作するには､｢メニュー｣→｢ファイル｣→｢アーカイブを閉じる｣をタップしてファイルを閉じてください。

ActiveSyncについて

[ActiveSync]

FOMA端末に付属の「お使いになる前にディスク」には、ActiveSync 4.5が含まれています。

ActiveSyncは、Windows XPがインストールされたパソコンと同期を取るためのツールです。お使いのパソコンにActiveSyncをインストールすることで、パソコンに保存されたデータとFOMA端末内のデータを同期させたり、ファイルやデータを相互にコピーすることができます。

Windows Vistaがインストールされたパソコンをお使いの方は、「Windows Mobileデバイスセンターについて」（P.120）を参照してください。

おしらせ

・インストール手順について､詳しくは｢お使いになる前にディスク｣内の｢OFFICE10¥ACTIVESYNC｣内の｢readme.doc｣をご覧ください。

パソコンの動作環境

ActiveSyncをパソコンで利用する場合の動作環境は次のとおりです。

オペレーティングシステム

・Windows XP Service Pack 2以降
・Windows 2000 Service Pack 4以降

Microsoft Outlook

・Microsoft Outlook Version 2002
・Microsoft Office Outlook 2003
・Microsoft Office Outlook 2007

お気に入りの同期

・Internet Explorer 6.0以上

パソコンとの通信環境

・USB接続ケーブル(試供品)
・Bluetooth

ActiveSyncで同期できる情報

Microsoft Outlook

・メール
・連絡先
・予定表
・仕事

Internet Explorer

・お気に入り

ファイル

・パソコン側の同期用フォルダ

Windows Media Player

・楽曲(著作権情報を含む)／動画(著作権情報を含む)／静止画

> **おしらせ**
>
> ・Microsoft Outlook Expressのデータは同期できません。
> ・Microsoft Outlookをあらかじめ使用できるように設定しておく必要があります。
> ・Windows Media Player 9以前のバージョンのデータは同期できません。
> ・ActiveSyncを使って、Microsoft Exchange Server上の予定表、連絡先、メールなどと同期を取ることができます。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。
> ・ActiveSyncの通信中は、メールの自動受信ができません。

ActiveSyncを設定する

ActiveSyncをインストールする

「お使いになる前にディスク」を使ってインストールするには、Adobe Flash Player 8.0以降が必要です。

1 「お使いになる前にディスク」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

2 「次へ」をクリックする

3 「セットアップとインストール」をクリックする

4 ActiveSyncにチェックを付け、「インストール」をクリックする



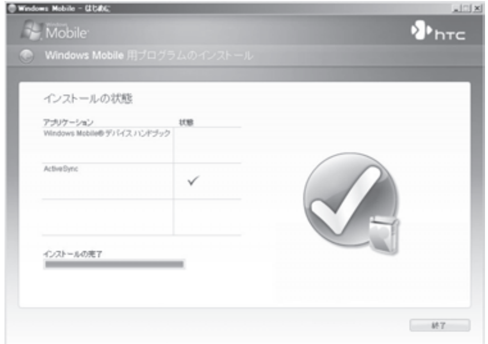
次ページにつづく

5 マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項の内容を確認し、「同意する」をクリックする



6 インストール完了画面が表示されたら、「終了」をクリック→「閉じる」をクリックする

「閉じる」をクリックした後、パソコンの再起動を促すメッセージが表示された場合は、指示に従って再起動してください。



おしらせ

OSがWindows 2000の場合は、次のいずれかの方法でActiveSync 4.5をインストールしてください。

・ActiveSync 4.2をインストールした後、ActiveSync 4.5をインストールする。

・Microsoft Windows Installer 3.1をインストールした後、ActiveSync 4.5をインストールする。

ActiveSyncを設定する

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使って、FOMA端末をパソコンに接続する

FOMA端末をはじめてパソコンに接続した場合は、自動的に同期セットアップウィザードがパソコン上に表示されます。

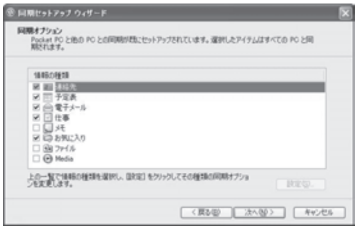


2「次へ」をクリックする

3 PC名の確認画面が表示された場合は、表示されている内容を確認して「次へ」をクリックする

4 同期を行う対象を選択し、「次へ」をクリックする

ここでチェックを付けた項目が同期の対象となります。同期を行いたくない項目はチェックを外してください。



5 画面の指示に従って設定する

6 セットアップ完了画面が表示されたら、「完了」をクリックする

「完了」をクリックすると、手順4でチェックを付けた各項目が自動的に同期されます。



同期の設定を変更する

パソコン側のActiveSyncを使用して、同期の設定を変更します。

1 ActiveSyncを起動する

2「ツール」→「オプション」

設定画面が表示されます。



3 設定を変更し、「OK」をクリックする

次ページにつづく

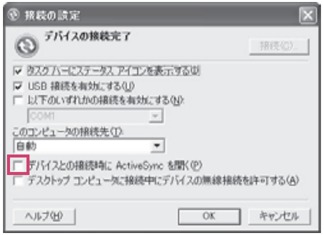
自動的に同期を開始しないようにする

付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使用して、FOMA端末をパソコンに接続したときに、自動的に同期しないようにすることができます。

1 ActiveSyncを起動する

2「ファイル」→「接続の設定」

3「デバイスとの接続時にActiveSyncを開く」のチェックを外し、「OK」をクリックする



パソコンと接続する／同期する／情報を設定する

ActiveSyncでパソコンとデータの同期を行います。

● パソコン側の操作については、AcriveSyncのヘルプを参照してください。

USB接続ケーブルを接続して同期する

付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使用して、FOMA端末をパソコンに接続すると自動的に設定した情報が同期されます。

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使用して、FOMA端末をパソコンに接続する

自動的に同期が開始します。

Bluetooth通信で同期する

FOMA端末は、Bluetooth通信を使って、情報やデータを同期することができます。

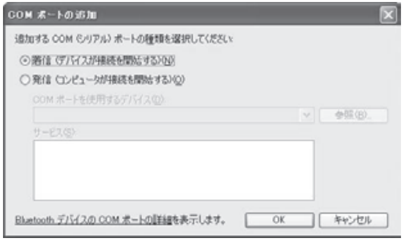
■ パソコン側のBluetooth通信を設定する

1「スタート」→「コントロールパネル」→「Bluetoothデバイス」

2「COMポート」タブを選択し、「追加」をクリックする



3 「着信（デバイスが接続を開始する）」を選択し、「OK」をクリックする



4 追加されたCOMポートを確認する

■ ActiveSyncのBluetooth通信を設定する

1 ActiveSyncを起動する

2 「ファイル」→「接続の設定」

3 「以下のいずれかの接続を有効にする」にチェックを付け、プルダウンメニューから「パソコンのBluetooth通信を設定する」で追加したCOMポートを選択する

4 「OK」をクリックする

■ FOMA端末でパソコン側のサービスを指定する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「デバイス」タブ

Bluetoothデバイスの選択画面が表示されます。



2 接続するパソコンのBluetoothデバイスをタップする

3 「次へ」をタップする

パートナーシップの設定画面が表示されます。

4 サービスの一覧から「ActiveSync」にチェックを付ける

5 「保存」をタップする



■ Bluetooth通信で同期する

1 「スタート」→「プログラム」→「ActiveSync」

2 「メニュー」→「Bluetoothから接続」

パソコン側のActiveSyncが自動的に起動し、同期が開始します。

次ページにつづく

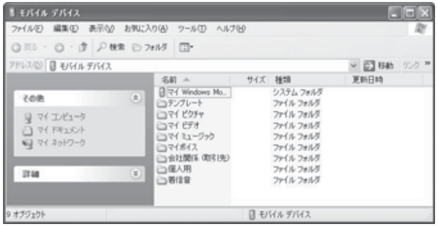
パソコン上でファイルを操作する

ActiveSyncを設定すると、パソコン上でFOMA端末の内容を操作することができるようになります。

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）またはBluetooth通信で、FOMA端末をパソコンに接続する

2 パソコン上で「マイ コンピュータ」を開き、「モバイルデバイス」をクリックする

FOMA端末内の「My Documents」の内容が表示されます。



3 ファイルの操作を行う

Windows Mobileデバイスセンターについて

[Windows Mobileデバイスセンター]

Microsoft Windows Mobileデバイスセンターは、Windows Vistaがインストールされたパソコンと同期を取るためのツールです。
お使いのパソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストールすることで、パソコンに保存されたデータとFOMA端末内のデータを同期させたり、ファイルやデータを相互にコピーすることができます。
Windows XPがインストールされたパソコンをお使いの方は、「ActiveSyncについて」（P.114）を参照してください。

おしらせ

・インストール手順について、詳しくは「お使いになる前にディスク」内の「OFFICE10¥WMDC¥WMDC_SR1_README_ALL_LOCALES.zip」内の「WMDC_SR1_README_jpn.doc」をご覧ください。

パソコンの動作環境

Windows Mobileデバイスセンターをパソコンで利用する場合の動作環境は次のとおりです。

オペレーティングシステム

- Windows Vista Ultimate
- Windows Vista Enterprise
- Windows Vista Business
- Windows Vista Home Premium
- Windows Vista Home Basic

Microsoft Outlook

- Microsoft Outlook Version 2002
- Microsoft Office Outlook 2003
- Microsoft Office Outlook 2007

お気に入りの同期

- 電子メール、連絡先、仕事、予定表、お気に入り
- Internet Explorer 7.0以上

パソコンとの通信環境

- USB接続ケーブル（試供品）
- Bluetooth

Windows Mobileデバイスセンターを設定する

Windows Mobileデバイスセンターをインストールする

- Windows Vistaを搭載したパソコンには、あらかじめWindows Mobileデバイスセンターがインストールされているものもあります。Windows Mobileデバイスセンターがインストールされていない場合は、「お使いになる前にディスク」からインストールすることができます。
- 「お使いになる前にディスク」を使ってインストールするには、Adobe Flash Player 8.0以降が必要です。

1 「お使いになる前にディスク」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

2 「次へ」をクリックする

3 「セットアップとインストール」をクリックする

4 Windows Mobileデバイスセンターにチェックを付け、「インストール」をクリックする

5 インストール完了画面が表示されたら、「終了」→「閉じる」をクリックする

Windows Mobileデバイスセンターを設定する

Windows Mobileデバイスセンターを利用して同期を行うには、FOMA端末とWindows Mobileパートナーシップを作成する必要があります。

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使って、FOMA端末をパソコンに接続する

2 「デバイスのセットアップ」をクリックする

3 同期させる項目を選択し、「次へ」をクリックする

4 デバイス名を入力し、「セットアップ」をクリックする

セットアップウィザードが終了すると、自動的に同期が開始されます。

おしらせ

・データの転送、更新のチェック、Outlookの情報を同期させずにデバイスの閲覧のみをしたい場合は、「デバイスをセットアップしないで接続」を選択してください。

パソコンと接続する／同期する／情報設定する

1 パソコンで、「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Mobileデバイスセンター」をクリックする

2 同期やファイル操作、設定を行う



・プログラムとサービス：インターネットに接続し、プログラムのダウンロードやサポート情報などを見ることができます。
・画像、音楽、およびビデオ：FOMA端末内の画像や動画をパソコンに取り込みます。
・ファイル管理：FOMA端末内のフォルダ、ファイル操作を行います。
・モバイルデバイスの設定：同期やパートナーシップの設定を行います。

MEMO

アプリケーション

Word Mobileを利用する

[Word Mobile]

Word Mobileは、パソコンで作成したWordファイルを閲覧したり、編集することができます。
またWord Mobileで作成、編集した文書やテンプレートをdoc、rtf、txt、dot形式で保存することもできます。

■ 読み込み／保存可能なファイル形式

読み込み	保存
docx※、dotx※、doc、dot、rtf、txt	docx※、dotx※、rtf、txt

※：Office 2007形式

使用上のご注意

Word Mobileは、変更履歴やパスワードなど、Microsoft Wordの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Wordで作成した文書ファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Word Mobile」

新規入力画面が表示されます。

■ テンプレートを変更する場合

「メニュー」→「ツール」→「オプション」をタップし、「既定のテンプレート」でテンプレートを選択

・すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されるので、画面左下の「新規」をタップします。

・ファイル一覧画面では、「メニュー」→「オプション」をタップすると、テンプレートを選択することができます。

2 テキストを入力する

「メニュー」をタップすると、書式を設定したり、日付を挿入することができます。

3 入力が終了したら、「ok」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。
「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Word Mobile」

ファイル一覧画面が表示されます。

・目的のファイルがない場合は、画面左上の「すべてのフォルダ ▼ 」をタップし、フォルダを選択します。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「ok」をタップする

ファイルが閉じます。

■ ファイル名を変更して保存する場合

「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」をタップする

Word Mobileのメニュー

編集画面のメニュー

項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。

項目		説明
編集	検索/置換	文字列を検索／置換します。
	クリア	選択した文字列を削除します。
	すべて選択	文書全体を選択します。
書式設定	フォント	文字書式を設定します。
	段落	段落書式を設定します。
ツール	スペルチェック	スペルチェックを行います。
	日付の挿入	カーソル位置に今日の日付を挿入します。
	オプション	テンプレート、保存場所、ファイル一覧画面で表示するファイル形式を設定します。
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いている文書を別名で保存します。
	名前の変更/移動	作成済み文書の文書名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをビームで送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

編集画面の表示メニュー

項目	説明
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を選択します。
ウィンドウに合わせる	スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
ズーム	表示の大きさを選択します(50%～200%)。

ファイル一覧画面のメニュー

項目	説明
名前の変更/移動	選択しているファイル名と保存先を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetoothで送信します。
オプション	テンプレートや保存先を設定します。

Excel Mobileを利用する

[Excel Mobile]

Excel Mobileは、パソコンで作成したExcelファイルを閲覧したり、編集することができます。

■ 読み込み／保存可能なファイル形式

読み込み	保存
xlsx※、xltx※、xls、xlt	xlsx※、xltx※

※：Office 2007形式

使用上のご注意

Excel Mobileは、数式やセルコマンドなど、Microsoft Excelの機能を一部サポートしていません。パソコン用のMicrosoft Excelで作成したファイルを保存すると、一部のデータや書式が失われる場合があります。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」

新規ファイルが表示されます。

・すでにファイルがある場合は、ファイル一覧が表示されるので、画面左下の「新規」をタップします。

2 セルをタップし、データを入力する

「メニュー」をタップすると、セル・グラフ・記号・関数の挿入や、書式の設定などを行うことができます。

3 入力が終了したら、「ok」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。
「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」で任意のファイル名を付けることもできます。

ファイルを開く／閉じる

ファイルを開く

1 「スタート」→「Office Mobile」→「Excel Mobile」

新規ファイルが表示されます。

・目的のファイルがない場合は、画面上の「すべてのフォルダ▼」をタップし、フォルダを選択します。

2 開きたいファイルをタップする

ファイルが開きます。

ファイルを閉じる

1 「ok」をタップする

ファイルが閉じます。

■ ファイル名を変更して保存する場合

「メニュー」→「ファイル」→「名前を付けて保存」をタップする

Excel Mobileのメニュー

シートのメニュー

項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します。
やり直す	「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。

項目			説明
編集	形式を選択して貼り付け		切り取ったデータやコピーしたデータを形式を指定して貼り付けます。
	フィル		セルにデータを一括してコピーしたり、連続したデータを入力します。
	クリア	すべて	選択したセルのデータを削除します。
		書式	選択したセルの書式を削除します。
		数式と値	選択したセルの数式と値を削除します。
	セルの削除		選択したセルを削除します。
	検索/置換		文字列を検索／置換します。
	ジャンプ		指定したセルまたはアクティブセル領域を表示します。
	すべて選択		シート全体を選択します。
挿入	セル		セルを挿入します。
	グラフ		グラフを作成、挿入します。
	記号		記号を挿入します。
	関数		指定した関数を挿入します。
	名前の定義		セルやセル範囲、数式や定数に名前を付けます。
書式設定	セル		セルの書式を設定します。
	グラフ		選択したグラフのタイトルや表示形式を設定します。
	行		自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	列		自動調整、表示しない、再表示を指定します。
	シートの変更		シートの表示切り替え、シート名の変更、シートの追加／削除、位置の変更を行います。
ツール	並べ替え		並べ替えで優先させるセルを指定し、昇順／降順でセルを並べ替えます。
	オートフィルタ		フィルタを使用して、必要なデータだけを抽出し、表示します。

項目		説明
ファイル	新規作成	新規作成画面を開きます。
	名前を付けて保存	開いているファイルを別名で保存します。
	名前の変更/移動	作成済みファイルのファイル名と保存場所を変更して保存します。
	前回保存したときの状態に戻す	ファイルを開いてから行った変更をすべて取り消して、開く前の状態に戻します。
	削除	開いているファイルを削除します。
	電子メールで送信	開いているファイルをメールに添付して送信します。
	ビーム	開いているファイルをBluetoothで送信します。
バージョン情報		バージョン情報を表示します。

シートの表示メニュー

項目		説明
全画面表示		行列番号やスクロールバーを非表示にして、表示領域を大きくします。
ズーム		表示の大きさを選択します(50% ～150%、および任意)。
シート		シートの表示を切り替えます。
分割(分割の解除)		ウィンドウを分割して表示します。
ウィンドウ枠の固定(ウィンドウ枠固定の解除)		列や行を固定し、表の見出しや項目名がスクロールしても常時見えるようにします(または、設定を解除する)。
ツールバー		ツールバーの表示／非表示を選択します。
ステータスバー		ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
表示	行列番号	行番号と列番号の表示／非表示を切り替えます。
	水平スクロールバー	水平スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。
	垂直スクロールバー	垂直スクロールバーの表示／非表示を切り替えます。

ファイル一覧画面のメニュー

項目	説明
名前の変更/移動	選択しているファイル名と保存先を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetoothで送信します。
オプション	テンプレートや保存先を設定します。

PowerPoint Mobileを利用する

[PowerPoint Mobile]

PowerPoint Mobileは、パソコン用のMicrosoft PowerPointで作成したファイルを閲覧することができます。PowerPoint Mobileは、ppt形式のファイルのみに対応しています。

スライドショーを見る

1 「スタート」→「Office Mobile」→「PowerPoint Mobile」

フォルダやファイルの一覧が表示されます。

2 PowerPointのファイルをタップする

スライドショーが表示されます。

3 表示されたスライドをタップする

次のスライドが表示されます。

4 画面左下の▲をタップしたままにし、「スライドショーの終了」をタップする

ファイルが閉じます。

PowerPoint Mobileのメニュー

スライドショーのメニュー

スライドショーのメニューは、画面左下の▲をタップしたままにすると表示されます。

項目	説明
次へ	次のスライドを表示します。
前へ	前のスライドを表示します。
スライドへジャンプ	選択したスライドを表示します。
目的別スライドショー	パソコンで作成した目的別スライドショーの一覧を表示します。
拡大	表示しているスライドを拡大して表示します。
縮小	表示しているスライドを縮小して表示します。
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
リンクの表示	リンク先にジャンプします。
名前を付けて保存	名前を付けてファイルを保存します。
スライドショーの終了	スライドショーを終了します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

ファイル一覧画面のメニュー

項目	説明
スライドショーの設定	スライドの表示方向や、再生方法を設定します。
名前の変更/移動	選択しているファイル名と保存先を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
電子メールで送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetoothで送信します。

OneNote Mobileを利用する

[OneNote Mobile]

OneNote Mobileは、簡単なメモを作成することができます。画像や音声を含んだメモを作成することもできます。

ファイルを新規作成する

1 「スタート」→「Office Mobile」→「OneNote Mobile」→「新規作成」

作成画面が表示されます。

- すでにファイルがある場合は、「OneNote Mobile」をタップすると、ファイル一覧が表示されます。左下の「新規作成」をタップしてください。

2 データを入力する

「メニュー」をタップすると、書式の設定、画像の撮影、画像やサウンドの挿入などができます。

挿入した画像やサウンドは入力キーパッドの / またはキーボードの で削除できます。

3 入力が終了したら、「ok」をタップする

自動的にファイル名が付けられ、ファイルが保存されます。

- 左下の「完了」をタップしてもファイルを保存できます。

OneNote Mobileのメニュー

編集画面のメニュー

項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します。
やり直し	「元に戻す」で取り消した操作を再度実行します。
切り取り	選択した文字列を切り取ります。
コピー	選択した文字列をコピーします。
貼り付け	切り取った文字列やコピーした文字列を貼り付けます。

項目		説明
書式	太字	太字にします。
	斜体	斜体にします。
	下線	アンダーラインを付けます。
	取り消し線	取り消し線を付けます。
	すべてクリア	書式をクリアします。
リスト	段落番号	段落番号を自動的に付けます。
	箇条書き	箇条書きになります。
	クリア	リストの形式をクリアします。
画像撮影		カメラが起動し、画像を撮影します。
画像の挿入		画像を挿入します。
サウンドの挿入		音声を録音し挿入します。

ファイル一覧画面のメニュー

項目	説明
削除	選択しているファイルを削除します。
名前の変更	選択しているファイル名を変更します。
オプション	名前順または更新日順に並べ替えます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

Adobe Reader LEを利用する

[Adobe Reader LE]

Adobe Reader LEは、パソコン上で作成したPDFファイル（pdfファイル形式のみ）を閲覧することができます。

おしらせ

- Adobe Reader LEでは、しおりを表示することができます。しおりをタップすると、リンクされたページにジャンプすることができます。
- Adobe Reader LEは、128ビットで暗号化されたパスワード保護のPDFファイルに対応しています。パスワードで保護されたPDFファイルを開くと、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。

PDFファイルを閲覧する

1 「スタート」→「プログラム」→「Adobe Reader LE」

マイデバイス内のフォルダとファイルが一覧表示されます。

2 閲覧するPDFファイルをタップする

ファイルが開きます。

■ 最近開いたファイルの一覧に目的のファイルがない場合

右下にある「参照」をタップします。マイデバイス内のフォルダとファイルが一覧表示されるので、目的のファイルをタップします。

3 「メニュー」→「終了」

ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

Adobe Reader LEのメニュー

閲覧画面のメニュー

項目	説明
開く	別のPDFファイルを開きます。
詳細	PDFファイルの詳細情報を表示します。
Adobe Readerについて	Adobe Reader LEの著作権情報とバージョン情報を表示します。
終了	ファイルを閉じて、Adobe Reader LEを終了します。

閲覧画面のツールメニュー

項目		説明
ズーム		表示の拡大／縮小方法を設定します。
検索		ファイル内の文字列を検索します。
表示	右回転	ページを右に回転して表示します。
	左回転	ページを左に回転して表示します。
	単一ページ	1ページずつ表示します。
	連続ページ	ページを連続して表示します。
移動		指定したページを表示します。

TouchFLO 3Dの使いかた

ホーム画面を利用する（ホーム）

ホーム画面（ホーム）では日時やアラームの設定、通話履歴と予定表の確認ができます。

● 他のアプリケーションや設定画面を開いているときでも、[ホーム]を押すとホーム画面（ホーム）が表示されます。



項目	説明
(1)日時	日時を表示します。タップすると、時計とアラームを設定できます（P.149）。 上下になぞると、フリップクロック表示とデジタルクロック表示を切り替えることができます。 ※：フリップクロック表示では、アラーム設定も表示されます。
(2)通話履歴	タップすると通話履歴が表示されます（P.45）。
(3)予定表	今日の予定が1件表示されます。タップすると予定を編集できます（P.62）。 ※：デジタルクロック表示では今日の予定と終日の予定が1件ずつ表示されます。

お気に入りの連絡先を利用する（連絡先）

ホーム画面（連絡先）では、よく使う連絡先を最大15件登録できます。お気に入りに登録されている相手に対して、電話やメール、SMSを発信できます。



項目	説明
(1)連絡先	選択されている連絡先の画像と、直近の発信履歴が表示されます。 ・画像をタップ：連絡先詳細画面を表示 ・画像を上下になぞる：前後の連絡先を表示 ・画像の下のアイコンをタップ：表示中の発信履歴と同じ操作を実行
(2)お気に入り一覧	お気に入り画面に登録されている連絡先が表示されます。 ・画像をタップ　：タップした連絡先を表示 ・画像をドラッグ：表示を切り替え

おしらせ

・「全ての連絡先」をタップすると、連絡先一覧画面が表示されます。

お気に入りに連絡先を登録する

1 画面中央の「+」をタップする



■ お気に入りを追加する場合

「お気に入り一覧」の をタップし、画面中央の「+」をタップします。

2 対象の連絡先をタップする

■ 連絡先に複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合

お気に入りに登録する電話番号やメールアドレスをタップします。

お気に入りに登録されます。連絡先は50音順に並べ替えられます。

おしらせ

・「メニュー」→「お気に入りを登録」をタップして登録することもできます。
・連絡先に画像が登録されていない場合は、画像を選択します。
（カメラ）をタップすると画像を撮影できます。

お気に入りの連絡先から電話をかける

相手の連絡先がホーム画面（連絡先）に登録されている場合、以下の操作で電話をかけることができます。

1 ホーム画面（連絡先）を表示する

（ホーム画面（連絡先）→P.132）

2 電話をかける相手の写真または名前をタップする

3 通話が終了したら[—]を押す

・「通話を終了」をタップしても通話を終了できます。

お気に入りから連絡先を削除する

1 お気に入り一覧で削除する連絡先をタップする

2 「メニュー」→「お気に入りを解除」→「はい」

お気に入りの画像を変更する

1 変更する連絡先を表示する

2 「メニュー」→「画像の変更」→画像を選択

（カメラ）をタップしてお気に入りに表示する画像を新たに撮影することもできます（P.96）。

おしらせ

・画像を変更すると、元の連絡先の画像も変更されます。

SMSを利用する（SMSメッセージ）

ホーム画面（SMSメッセージ）では、ドコモの携帯電話に最長70文字（日本語）または160文字（英数字のみ）のSMSを送信できます。
SMSの操作について詳しくは、「SMSについて」（P.76）を参照してください。



項目	説明
(1)送信元および本文	送信元と受信したSMSの本文が表示されます。 ・タップする：返信画面が表示されます。 ・上下になぞる：前後のSMS画面に切り替わります。
(2)SMS作成	選択中のメールアカウントから、SMSを作成して送信できます(P.76)。
(3)続き	表示しきれない本文がある場合はタップすると、続きが表示されます。

おしらせ

・「全てのメッセージ」をタップすると、受信トレイが表示されます。

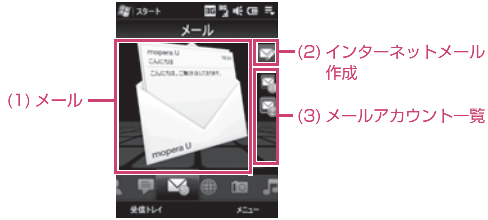
ホーム画面（SMSメッセージ）のメニューから実行できる機能

ホーム画面（SMSメッセージ）の「メニュー」をタップすると、次の機能を実行することができます。

項目	説明
新規	新規SMSメッセージを作成します。
返信	受信したSMSメッセージに返信します。
転送	受信したSMSメッセージを転送します。
削除	SMSメッセージを削除します。

メールを利用する（メール）

ホーム画面（メール）では、受信したインターネットメールの確認やインターネットメールの作成ができます。また、新しいメールアカウントを設定することもできます。なお、メールアカウントは4件まで登録できます。メールの操作について詳しくは、「メールについて」（P.72）を参照してください。



項目	説明
(1)メール	選択中のメールアカウントで受信した最新のインターネットメールの内容(発信者、タイトル、本分の先頭数行)が表示されます。 ・封筒をタップ：インターネットメール詳細画面を表示 ・封筒を上下になぞる：前後のインターネットメール詳細画面に切り替え
(2)インターネットメール作成	選択中のメールアカウントから、インターネットメールを作成して送信できます。
(3)メールアカウント一覧	設定されているすべてのメールアカウントが表示されます。 ・封筒をタップ：メールアカウントを切り替える ・数字：新着のインターネットメールがあれば、件数を数字で表示

おしらせ

・「受信トレイ」をタップすると、選択中のメールアカウントのインターネットメール一覧が表示されます。

ホーム画面（メール）のメニューから実行できる機能

ホーム画面（メール）の「メニュー」をタップすると、次の機能を実行することができます。

項目		説明
新規メール		選択中のメールアカウントから、インターネットメールを作成して送信します(P.74)。
アカウント	新しいアカウント	新しいメールアカウントを設定します(P.73)。
	アカウント	メールアカウントを切り替えます。
送受信		選択中のメールアカウントで、インターネットメールの送受信をします。

Operaブラウザを利用する（インターネット）

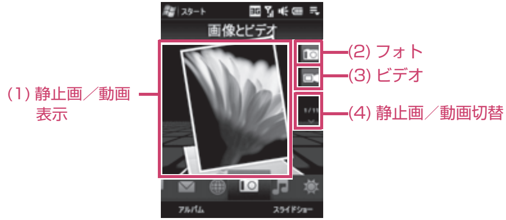
ホーム画面（インターネット）では、Operaブラウザからインターネットに接続できます。Operaブラウザの操作について詳しくは、「Operaブラウザを利用する」（P.83）を参照してください。



項目	説明
(1)ブックマーク	ブックマークが表示されます。 ・ブックマークをタップ:登録されたページを表示 ・ブックマークを上下になぞる:ブックマークをスクロール表示
(2)全てのブックマーク	Operaブラウザに登録されているすべてのブックマークが表示されます。
(3)ブラウザ	Operaブラウザが起動します。

静止画／動画を見る（画像とビデオ）

ホーム画面（画像とビデオ）では、お気に入りに設定されたフォルダ内の静止画／動画の表示や、静止画をスライドショーで再生することができます。カメラを起動することもできます。



項目	説明
(1)静止画／動画表示	お気に入りに設定されているフォルダの静止画／動画がサムネール表示されます。 ・白枠(静止画)／フィルム枠(動画)をタップ:全画面で再生 ・静止画／動画を上下になぞる:前後の静止画／動画に切り替え
(2)フォト	フォトモードでカメラが起動します(P.96)。
(3)ビデオ	ビデオモードでカメラが起動します(P.97)。
(4)静止画／動画切替	をタップ:前の静止画／動画に切り替え をタップ:次の静止画／動画に切り替え

次ページにつづく

再生できるファイル形式

ホーム画面（画像とビデオ）で再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

● 静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
BMP	bmp
GIF	gif
JPG	jpg、jpeg
PNG	png
アニメーションGIF	gif

● 動画ファイル

ファイル形式	拡張子
Windows Media Video	wmv、asf
MPEG-4 Simple Profile	mp4
3GP	3gp

アルバムで表示する

お気に入りに設定されているフォルダの静止画／動画をアルバムで表示します。アルバムの使用方法は、「マルチメディア」の「アルバムを見る」（P.97）を参照してください。

1 ホーム画面（画像とビデオ）の「アルバム」をタップする

お気に入りに設定されているフォルダの静止画／動画がサムネールに表示されます。動画の場合は🎞が表示されます。

2 表示したい静止画／動画をタップする

静止画／動画が全画面で表示／再生されます。

お気に入りのアルバムを変更する

1 ホーム画面（画像とビデオ）の「アルバム」をタップする

2 「アルバム」をタップする

フォルダの一覧が表示されます。

3 お気に入りに設定したいフォルダをタップする

選択したフォルダがサムネールに表示されます。

4 「メニュー」→「アルバムをお気に入りに設定」→「OK」→「×」

設定したフォルダの画像が、ホーム画面（画像＆ビデオ）画面表示時に表示されます。

スライドショーを再生する

お気に入りに設定しているフォルダの静止画をスライドショーで再生します。アルバムの使用方法は、「マルチメディア」の「スライドショーを再生する」（P.99）を参照してください。

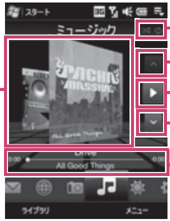
1 ホーム画面（画像とビデオ）で静止画を表示する

2 「スライドショー」をタップする

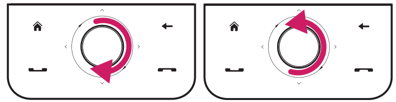
スライドショーが開始されます。

音楽を聴く（ミュージック）

ホーム画面（ミュージック）では、マイデバイスの「MUSIC」、「My Documents」フォルダ、およびストレージカードに保存されている音楽や動画を再生できます。



項目	説明
(1)ジャケット表示	アルバムまたは楽曲のジャケットが表示されます。上下になぞると、前後のアルバム／楽曲に切り替わります。
(2)連続／ランダム再生の設定	連続再生／ランダム再生が設定されている場合に設定内容が表示されます。 :連続再生（1回のみ） :連続再生（すべて繰り返し） :ランダム再生（オン）
(3)前のアルバム／楽曲	タップすると前のアルバム／楽曲に切り替わります。
(4)再生／一時停止	をタップ：画像表示中のアルバム／楽曲を再生 をタップ：再生を一時停止
(5)次のアルバム／楽曲	タップすると次のアルバム／楽曲に切り替わります。

項目	説明
(6)再生状況	再生経過時間、総時間、再生位置が表示されます。 再生位置をドラッグ：再生する位置を変更 ナビゲーションコントロールの周囲をなぞる：再生位置を変更  再生位置が進む　再生位置が戻る

再生できるファイル形式

ミュージック画面で再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、再生できるファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式	拡張子
MP3	mp3
WMA	wma
AAC+、AAC	aac
MPEG-4	m4a

楽曲を再生する

1 ホーム画面（ミュージック）で再生するアルバム／楽曲を表示する

2 をタップする

再生が開始されます。

次ページにつづく

ミュージック画面のメニュー

項目	説明
リピート再生	再生の繰り返し方法を設定します。 ・リピート再生(1曲) ・リピート再生(全曲) ・リピート再生(オフ)
ランダム再生	ランダム再生のオン／オフを設定します。
楽曲情報	アルバム／楽曲の情報を表示します。
プレイリストに追加	選択しているアルバム／楽曲を再生リストに追加します。新しいプレイリストの作成もできます。
オーディオブースター	オーディオブースターが起動します(P.106)。

リピート再生／ランダム再生を設定する

■ リピート再生を設定する場合

1 ホーム画面（ミュージック）で「メニュー」→「リピート再生」をタップする

2 「リピート再生（1曲)」／「リピート再生（全曲)」／「リピート再生(オフ)」をタップする

■ ランダム再生を設定する場合

1 ホーム画面（ミュージック）で「メニュー」→「ランダム再生」をタップする

2 「ランダム再生（オン)」／「ランダム再生（オフ)」をタップする

ライブラリから楽曲を再生する

ライブラリを表示して、再生したい楽曲を選ぶことができます。

1 ホーム画面（ミュージック）で「ライブラリ」をタップする

2 ライブラリを選んでタップし、再生する楽曲をタップする

楽曲の再生がはじまります。



ライブラリタブ

ライブラリタブには、以下の8つのライブラリが登録されています。
見えないタブは左右にドラッグすると表示できます。

アイコン	説明
	プレイリスト 現在再生中のプレイリストに登録されている楽曲が表示されます。
	アーティスト 録音されている楽曲を、アーティスト別にグループ化したプレイリストが表示されます。
	アルバム 録音されている楽曲を、アルバム別にグループ化したプレイリストが表示されます。
	プレイリスト お気に入りの楽曲をグループ化したプレイリストが表示されます。
	全ての曲 録音されているすべての楽曲が表示されます。
	ジャンル 録音されている楽曲を、クラシックやジャズといったジャンルで分類したプレイリストが表示されます。
	作曲家 録音されている楽曲を、作曲家別に分類したプレイリストが表示されます（作曲家情報が無い楽曲の作曲家名は表示されません）。

アイコン	説明
	購入済み 購入した楽曲が表示されます。

再生リスト（プレイリスト）で再生する

再生リスト（プレイリスト）に楽曲を登録すると、登録した曲を好きな順番で再生できます。

再生リストを作成する

1 ホーム画面（ミュージック）またはライブラリ画面でリストに登録する曲を表示→「メニュー」→「プレイリストに追加」

2 「＜新規プレイリスト＞」→プレイリスト名を入力する→「OK」→「ok」

再生リストに楽曲を追加する

1 ライブラリ画面で（プレイリスト）タブをタップする

2 追加する再生リストをタップ→「メニュー」→「編集」

3 「メニュー」→「追加」

4 追加する楽曲にチェックを付ける→「OK」→「OK」→「ok」

再生リストを再生する

1 ライブラリ画面で（プレイリスト）タブをタップする

2 再生するプレイリストをタップ→再生する楽曲をタップする

再生リストを編集する

1 ライブラリ画面で（プレイリスト）タブをタップする

2 編集する楽曲を選択

選択した楽曲には枠が表示されます。複数の楽曲を選択できます。

3 「メニュー」→編集項目を選択して編集する

再生の順番を変更する場合は、「切り取り」→貼り付け位置で「貼り付け」を行ってください。

4 「OK」→「ok」

Windows Media Player Mobileの再生リスト

Windows Media Player Mobileの再生リスト（P.104）は、ミュージック画面のプレイリストに表示され、ミュージック画面のプレイリストとして利用できます。

おしらせ

- Windows Media Player Mobileの再生リストを、ミュージック画面で編集することはできません。

天気を見る（天気）

ホーム画面（天気）では、登録した都市の天気情報を表示できます。

都市を登録する

天気情報を表示する都市を登録します。最大10都市まで登録できます。

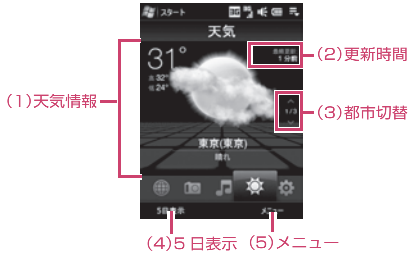
1 ホーム画面（天気）の「都市を追加」→「国を選択」→「都市を選択」→登録する都市をタップする

登録した都市が表示されます。



2「メニュー」→「今すぐアップデート」

天気情報が表示されます。



項目	説明
(1)天気情報	天気、気温、都市名が表示されます。 上下になぞると前後の都市の天気情報に切り替わります。
(2)更新時間	最後に天気情報を更新した時間が表示されます。
(3)都市切替	複数の都市を登録している場合は、表示する都市を切り替えます。 をタップ:前の都市に切り替え をタップ:次の都市に切り替え
(4)5日表示	当日を含む5日間の天気予報が表示されます。
(5)メニュー	都市を登録すると表示されます。

おしらせ

・「5日」をタップして天気予報を表示中に「その他」をタップするとOperaブラウザが起動して、Accuweather.comに接続します。

ホーム画面（天気）のメニュー

項目		説明
都市を追加		天気予報を表示する都市を登録します。
都市を削除		都市を削除します。
今すぐアップデート		最新の天気情報を取得します。
華氏(F)／摂氏(℃)		温度の単位を切り替えます。
設定	天気を自動ダウンロード	天気画面を表示するたびに、天気情報を自動的に更新します（パケット通信が発生します）。
	ローミング中に天気をダウンロード	ローミング時に天気情報を更新します（パケット通信が発生します）。
天気について		天気情報入手元のホームページを表示します。

各種設定を行う（設定）

ホーム画面（設定）では、データの同期、サウンド、壁紙などのFOMA端末の基本設定ができます。





項目	説明
(1)データを同期	ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使用して、FOMA端末とパソコン間の情報やデータを同期させます。
(2)サウンド	・着信音とアラーム音の通知方法、音量の設定をプロファイル単位で切り替えます。「詳細設定」をタップすると、各プロファイルの設定を変更できます。 ・公共モード（P.50／P.51）、マナーモード（P.53）を設定します。
(3)壁紙	ホーム画面（ホーム）の背景イメージを設定します（P.151）。
(4)通信	Comm Manager（P.69）が起動します。
(5)データ	天気情報の自動ダウンロードを設定します（P.140）。
(6)バージョン情報	バージョン情報に関する説明が表示されます。
(7)全ての設定	「スタート」→「設定」をタップした場合と同じ画面が表示されます。
(8)メニュー	・「メニュー」→「ワイヤレスネットワーク」で、ワイヤレスLANの接続状態を確認できます（P.174）。 ・「メニュー」→「Bluetoothデバイス」で、Bluetooth機器とのペアリングを設定できます（P.177）。

アプリケーションを起動する（プログラム）

ホーム画面（プログラム）では、よく利用するプログラムを登録して、すぐ呼び出せるように設定できます。最大18件登録できます。



項目	説明
(1)プログラム一覧	登録されているプログラムのアイコンが表示されます。＋（プラス）はプログラムが登録されていないことを示します。 ・プログラムのアイコンをタップ：プログラムを起動 ・＋をタップ：プログラムを登録 ・上下になぞる：プログラム一覧をスクロール
(2)全てのプログラム	プログラム一覧が表示されます。プログラム名をタップすると起動します。
(3)削除	タップすると選択したプログラムを削除します。

プログラムを登録する

1 ホーム画面（プログラム）で＋をタップする

2 登録したいプログラムをタップする

選択したスロットにアイコンが表示されます。

次ページにつづく

プログラムを削除する

1 ホーム画面（プログラム）の「削除」をタップする

2 削除するプログラムをタップする

プログラムが消去されます。
複数のプログラムを続けて削除することができます。

■ すべてのプログラムを削除した場合
プログラムの削除が自動的に終了します。

3「実行」をタップする

便利な機能

FMラジオを聴く

[FMラジオ]

付属のminiUSBステレオヘッドセットを接続して、FMラジオを聴くことができます。

FMラジオを聴く

1 「スタート」→「プログラム」→「FM Radio」

FMラジオ画面が表示されます。



2 選局する

■ 自動選局する場合

⏮／⏭をタップします。

■ 手動選局する場合

⏪／⏩をタップします。

再生中の放送局をプリセットに登録する

1 「プリセット」

プリセットを登録する画面が表示されます。

2 登録する番号の✓をタップする

3 「ラジオを聴く」をタップする

おしらせ
・プリセットから削除するには、手順2で✕をタップします。

FM Radioのメニュー

項目		説明
スキャンして保存		自動的に選局して、設定を保存します。
ステレオ		ステレオ出力に切り替えます。
ミュート		音をミュートします。
出力	スピーカー	スピーカーに出力します。
	コード付きヘッドセット	miniUSBステレオヘッドセットに出力します。
スリープ	オフ	スリープモードをオフにします。
	30分	30分後にスリープモードになります。
	60分	60分後にスリープモードになります。
	90分	90分後にスリープモードになります。
放送帯域	日本	日本の放送帯域に設定します。
	その他の国	日本以外の放送帯域に設定します。
終了		FM Radioを終了します。
バージョン情報		FM Radioの詳細情報を表示します。

おしらせ
・スピーカーに出力する場合でも、miniUSBステレオヘッドセットを接続しないとFMラジオは使用できません。

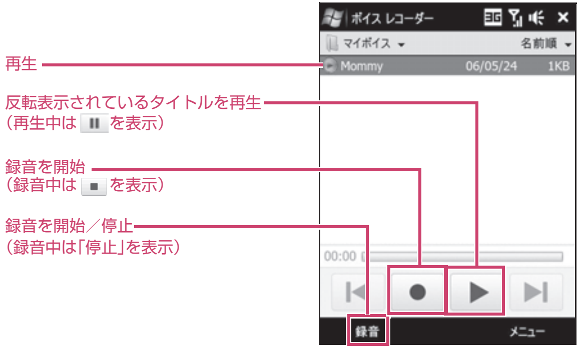
ボイス レコーダーを利用する

［ボイス レコーダー］

ボイス レコーダーを利用すると、ご自身の声を録音してファイルに保存できます。録音したファイルは着信音として設定することもできます。

録音する

1 「スタート」→「プログラム」→「ボイス レコーダー」



2 ● または「録音」をタップする

録音が開始されます。

一時停止する場合は「一時停止」をタップします。録音を再開する場合は、「再開」をタップします。

3 ■ または「停止」をタップする

録音が停止します。

おしらせ

・録音された音声はAMR-NB形式で保存されます。

・録音されたファイルは、お買い上げ時の設定では「マイボイス」フォルダに保存されます。他のフォルダに保存するには、画面左上のフォルダ名の隣の▼をタップして、保存先を選択してください。

再生する

1 「スタート」→「プログラム」→「ボイス レコーダー」

2 対象の音声ファイルをタップ、または対象の音声ファイルを◎で反転表示して ▶ をタップする

録音されている内容が再生されます。

ボイス レコーダーのメニュー

項目	説明
名前の変更/移動	選択しているファイル名と保存先を変更して保存します。
削除	選択しているファイルを削除します。
コピー作成	選択しているファイルのコピーを作成します。
すべて選択	一覧で表示されているファイルをすべて選択します。
送信	選択しているファイルをメールに添付して送信します。
ファイルをビームする	選択しているファイルをBluetoothで送信します。
着信音に設定	選択しているファイルを着信音に設定します。
バージョン情報	ボイス レコーダーのバージョン情報を表示します。

次ページにつづく

録音中に自動的に音量調節する

[マイクロフォンAGC]

お買い上げ時	無効

録音中に、録音レベルに応じて自動的に録音音量を調節します。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「マイクロフォンAGC」

2 「有効」にチェックを付ける

3 「ok」をタップする

電卓として使う

[電卓]

電卓を利用して、四則演算（+、−、×、÷）やパーセント計算などを行うことができます。

1 「スタート」→「プログラム」→「電卓」



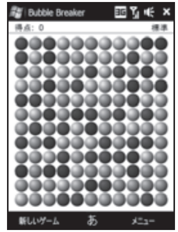
ゲームで遊ぶ

[ゲーム]

Bubble Breaker、Teeter、ソリティアの3つのゲームがプリインストールされています。

Bubble Breaker

隣り合う同じ色のバブル（シャボン玉）を数多く消していくゲームです。一度にたくさんのバブルを消すと、高得点が得られます。



1 「スタート」→「プログラム」→「ゲーム」→「Bubble Breaker」

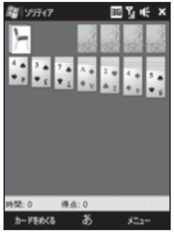
Teeter

玉をルート上の穴に落とさないように、ゴールまで転がしていくゲームです。



1 「スタート」→「プログラム」→「ゲーム」→「Teeter」

ソリティア



トランプのカードを山札からめくり、場札にAからKまで並べていくゲームです。

1 「スタート」→「プログラム」→「ゲーム」→「ソリティア」

NAVITIMEを利用する

[NAVITIME]

NAVITIMEでは、目的地までの最適なルートを検索し、音声や地図でナビゲーションしてくれるサービスです。NAVITIMEには、次のような機能があります。

- ナビ
  目的地までのルートを検索し、案内してくれます。
- 地図／スポット検索
  地図や周辺施設を検索することができます。
- 乗換／時刻表
  電車や地下鉄の乗換案内や時刻表を検索することができます。
- 道路交通情報
  渋滞や規制などの交通情報や駐車場を検索することができます。
- 登録／インフォメーション
  NAVITIMEの設定や会員登録などができます。

おしらせ

- NAVITIMEは、初回利用時から30日間無料でお使いいただけます。30日過ぎると、ご利用料金が発生いたしますので、ご注意ください。なお、無料期間中でも、通信料（パケット料金）は別途発生いたします。
- プリインストールされているNAVITIMEは、市販の外部GPS機器からのGPSデータ取得には対応していません。

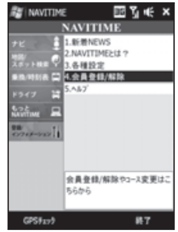
NAVITIMEを起動する



1 「スタート」→「プログラム」→「NAVITIME」→「はい」／「はい（次回以降も同様）」

はじめてNAVITIMEを起動した場合は、通信を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい（次回以降も同様）」をタップすると、次回から確認画面は表示されません。

会員登録する



1 「スタート」→「プログラム」→「NAVITIME」

2 「登録／インフォメーション」→「4.会員登録／解除」

画面の指示に従って、会員登録を行ってください。

NAVITIMEを利用する

1 「スタート」→「プログラム」→「NAVITIME」

2 情報を検索する

カテゴリを選択して、目的のメニューをタップしてください。

おしらせ

- 現在地などの情報を検索できない場合は、クイック GPSで最新の衛星データをダウンロードしてください(P.148)。
- 操作中にNAVITIMEのトップメニュー画面に戻る場合は、「トップメニュー」をタップしてください。

GPSを利用する

本FOMA端末では、GPS機能を利用できます。

GPS機能に対応した地図ソフトウェアやナビゲーションソフトウェアを使用すると、現在地の確認や目的地までのルート検索などをすばやく行うことができます。

● クイックGPS(P.148)を利用すると、GPS測位をよりすばやく行うことができます。

GPSの利用にあたって

● GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

● FOMA端末の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因(電池切れを含む)によって、測位(通信)結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますので予めご了承ください。

● 車内で使用する際は、カーホルダーなどを使用してFOMA端末を安全な場所に固定してください。次に示す位置には取り付けないでください。

・運転手の視野を妨げる場所　　・エアバッグ設置位置

● GPSは不透明な個体障害物に遮断されます。信号の強度は高層ビル、トンネル、橋、森、悪天候(雨やくもりなど)の影響を受ける場合があります。車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。

● 衛星利用測位(GPS)は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。

● ワイヤレス通信製品(携帯電話やデータ検出機など)は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。

● 車内に放置したまま直射日光に当てないでください。電池パックがオーバーヒートし、FOMA端末や車内に損害を与える場合があります。

受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

・建物の中や直下
・かばんや箱の中
・密集した樹木の中や下
・自動車、電車などの室内
・FOMA端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
・地下やトンネル、地中、水中
・ビル街や住宅密集地
・高圧線の近く
・大雨、雪などの悪天候
・FOMA端末の画面、操作ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合

このような場合，得られる位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。

衛星データをダウンロードする

[クイック GPS]

クイック GPSは、インターネットから衛星軌道データをダウンロードします。あらかじめダウンロードしておくと、測位時間を短縮できます。

1 「スタート」→「プログラム」→「クイック GPS」

クイック GPS画面が表示されます。

2 「ダウンロード」をタップする

衛星データがダウンロードされます。



クイック GPSのメニュー

項目	説明
オプション	・データが期限切れになったら通知:チェックを付けると、衛星データの有効期限が切れたときに通知します。 ・データが期限切れになったら自動ダウンロード:チェックを付けると、衛星データの有効期限が切れたときに自動的にダウンロードします。 ・ActiveSyncでPCに接続したときに自動ダウンロード:チェックを付けると、ActiveSyncでFOMA端末とパソコンを接続したとき自動的にダウンロードします。
バージョン情報	クイックGPSのバージョン情報を確認します。

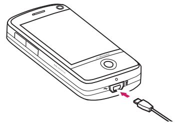
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

本FOMA端末では、付属の「miniUSBステレオヘッドセット」をスイッチ付イヤホンマイクとして使用します。

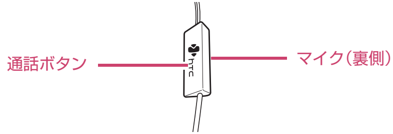
miniUSBステレオヘッドセットを取り付ける

1 miniUSBステレオヘッドセットのminiUSBプラグを、FOMA端末の外部接続端子に水平に差し込む

miniUSBプラグは差込口の広い方を上にして差し込みます。



スイッチの使いかた



機能	操作
電話に出る	電話の呼び出し中に通話ボタンを押す。
電話を切る	通話中に通話ボタンを1秒以上押す。
保留	通話中に通話ボタンを押す。
リダイヤル	通話ボタンをすばやく2回押すと、直前に通話した相手の番号にダイヤルします。
スピードダイヤル	通話ボタンを1秒以上押すと、音声でダイヤルします。 ※:事前にボイスタグと電話番号を登録しておきます(P.47)。

指定時刻にアラームを鳴らす

[アラーム]

お買い上げ時	オフ

曜日ごとに時間を指定してアラームを鳴らすことができます。

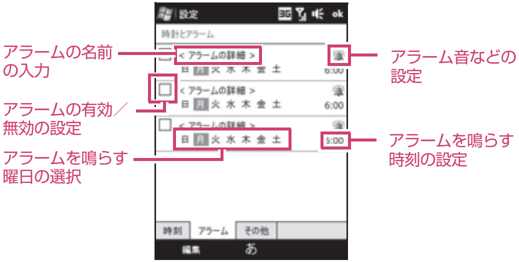
- アラームが鳴るとメッセージが表示され、「アラームを消す」をタップするまでアラーム音が繰り返し鳴動します。

1 ホーム画面(ホーム)の時刻表示部分をタップする

時計とアラーム画面が表示されます。(ホーム画面(ホーム)→P.132)

次ページにつづく

2 「アラーム」タブをタップする



3 アラーム時刻などを設定して「ok」をタップする

ホーム画面（ホーム）のフリップクロック表示時に が表示されます。

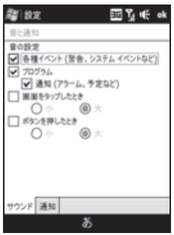
メール着信音やアラーム通知音などを設定する

［音と通知］

メール受信やアラーム、予定などの通知音や、警告メッセージなどの各種イベント発生時の通知音の有効／無効を切り替えます。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「音と通知」

2 「サウンド」タブ上の各項目を設定する



3 「通知」タブ→イベントの種類や効果音を設定する

4 「ok」をタップする

■ メール着信音を変更するには

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「音と通知」→「通知」タブ

2 「イベント」欄で「メール：新しい電子メール メッセージ」を選択する

ここで「メール：新しいSMSメッセージ」を選択すると、SMS着信音を変更できます。

3 「音を鳴らす」にチェックを付け、隣のアラーム音のリストから着信音を選択する

▶をタップして着信音を確認できます。停止するにはを■タップします。

4 「ok」をタップする

画面のデザインを変更する

ホーム画面の画面デザインやスタートメニューの表示内容の設定を変更します。

ホーム画面の設定を変更する

お買い上げ時	Htc black

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「Today」



2 「デザイン」タブ上で、テーマを選択する

お買い上げ時は、次の5つのテーマが用意されています。

- ・Htc black
- ・Koyo
- ・Windows Mobile 6.1
- ・Windows Mobile Green
- ・Windows標準

3 「ok」をタップする

おしらせ

・手順2で「アイテム」タブを選択し、「TouchFLO 3D」以外にチェックを付けると、チェックした項目をホーム画面に表示することができます。「TouchFLO 3D」にチェックを付けると、その他の項目は無効になります。

ホーム画面（ホーム）の背景イメージを変更する

FOMA端末に保存されている静止画像を、ホーム画面（ホーム）の背景イメージに設定できます。

1 TouchFLO 3Dのホーム画面（設定）→「壁紙」

画像の選択画面が表示されます。

2 フォルダを選択し、背景に表示したい画像ファイルをタップする

スタートメニューの表示サイズを変更する

［大きいスタートメニュー］

お買い上げ時	オン

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「TouchFLO」

2 「大きいスタートメニューを有効にする」にチェックを付ける

チェックを外すと、スタートメニューの表示サイズが小さくなります。

3 「ok」をタップする

おしらせ

・「フィンガースクロールとパンを実行時にサウンドを有効にする」にチェックを付けると、フィンガースクロールやパンをしたときに設定した音が鳴ります。

・「ステータスアイコンをタップしたときにシステムの状態画面を表示する」のチェックを外すと、ステータスアイコンをタップしてもシステムの状態画面が表示されません。

スタートメニューの表示内容を変更する

［メニュー］

お買い上げ時	Office Mobile、ヘルプ、メール、自局番号、電話、予定表、連絡先

スタートメニューの直下（「スタート」をタップしたときの状態）にどのアイコンを表示するかを設定します。

● スタートメニューの直下に表示できるのは、最大7個です。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「メニュー」

2 スタートメニュー直下に表示させたいメニュー項目にチェックを付ける

チェックが付いていない項目は、「スタート」→「プログラム」をタップしたときに表示されます。

3 「ok」をタップする

文字サイズを変更する

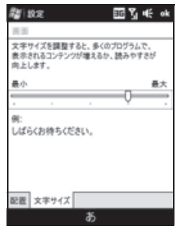
［画面］

お買い上げ時	右から2つめ

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「画面」

2 「文字サイズ」タブ上で、サイズを選択する

スライダーで選択します。



3 「ok」をタップする

おしらせ

・「配置」タブでタッチスクリーンの補正を行うこともできます。

時計の表示を設定する

[時計表示設定]

お買い上げ時	H:mm:ss

FOMA端末に表示される時刻の表示形式を変更することができます。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「地域」→「時刻」タブ

2 時刻の表示形式を選択する

H:mm:ss	:24時間表示(0時〜9時は1桁で表示。例:9:55:30)
HH:mm:ss	:24時間表示(0時〜9時は2桁で表示。例:09:55:30)
tt h:mm:ss	:12時間表示(1時〜9時は1桁で表示。例:9:55:30)
tt hh:mm:ss	:12時間表示(1時〜9時は2桁で表示。例:09:55:30)



3 区切り記号を選択する

入力することもできます。

4 午前の表示形式を選択する

「午前」または「AM」を選択します。

5 午後の表示形式を選択する

「午後」または「PM」を選択します。

6「ok」をタップする

おしらせ

・画面上部の「サンプル」欄で、変更後の表示イメージを確認できます。

省電力モードで使う

[スリープモード]

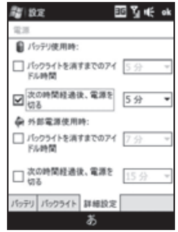
お買い上げ時	1分

一定時間操作を行わなかったときに、自動的にディスプレイの表示が消えるように設定しておくと、電池の消耗を節約することができます。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「電源」→「詳細設定」タブ

2「次の時間経過後、電源を切る」にチェックを付ける

3 画面表示が消えるまでの待ち時間を選択し、「ok」をタップする



おしらせ

・スリープモードによってディスプレイの表示が消えたときは、[電源]を押すとディスプレイを再表示します。

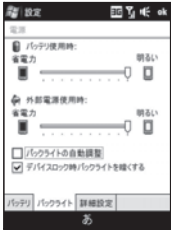
バックライトの明るさを設定する

バックライトの明るさ（画面の明るさ）を設定することで、電池の消費をおさえることができます。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「電源」→「バックライト」タブ

2「バックライトの自動調整」のチェックを外し、「バッテリ使用時」と「外部電源使用時」のバックライトの明るさを設定する

3「ok」をタップする



地域設定を変更する

[地域]

お買い上げ時	日本語(日本)

地域設定を変更すると、本FOMA端末で表示する数値、通貨、時刻、日付が、選択した地域の表示に変更されます。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「地域」

2「地域」タブで、リストの中から地域を選択する

自動的に他のタブの設定も変更されます。詳細設定を行う場合は、該当タブをタップして変更してください。

3「ok」をタップする

おしらせ

・地域設定を変更しても、本FOMA端末のオペレーティングシステムの言語は変更されません。

・設定を変更すると、再起動を促すメッセージが表示されますので、電源を一度切ってから、再度電源を入れてください。

ボイス短縮ダイヤルを使う

[ボイス短縮ダイヤル]

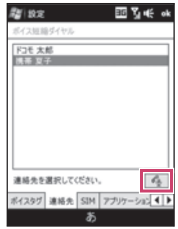
連絡先や各プログラムにボイスタグを割り当てて、そのタグを発声しただけで電話をかけたりプログラムを起動したりします。

ボイスタグを割り当てる

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボイス短縮ダイヤル」→「連絡先」タブ

2 登録する連絡先をタップし、をタップする

連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、ボイスタグを割り当てる電話番号をタップしてください。



■ FOMAカードの連絡先またはプログラムにボイスタグを割り当てる場合

「SIM」タブまたは「アプリケーション」タブをタップし、対象の項目をタップします。

3 をタップ→送話口に向かって音声を録音し、「ok」をタップする

ボイスタグを割り当てた電話番号にはが表示されます。



おしらせ

・音声認識の精度を上げるため、静かな場所で録音してください。

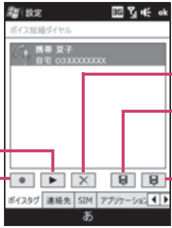
次ページにつづく

ボイスタグを管理する

ボイスタグを割り当てた連絡先およびプログラムを一覧表示して、ボイスタグを管理できます。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボイス短縮ダイヤル」→「ボイスタグ」タブ

「ボイスタグ」タブに表示された各ボタンを操作してボイスタグを管理します。



ボイスタグを利用する

ボイスタグを割り当てた連絡先に電話をかけたり、プログラムを起動したりします。

1 「スタート」→「プログラム」→「ボイス短縮ダイヤル」

「発信音の後に発音してください。」が表示されます。

2 送話口に向かって、割り当てたボイスタグを発声する

発信先が表示され登録されている電話番号に自動で発信したり、プログラムが起動したりします。

おしらせ

- を1秒以上押しても「発信音の後に発音してください。」画面を起動することができます。※
  ※：Windowsの状況により長く押す必要がある場合があります。
- ボイスタグがうまく認識されない場合は、はっきり発音したり、周囲の雑音が少なくなるようにしたりして、録音し直してください。

MP3ファイルを利用する

[MP3 Trimmer]

MP3 Trimmerを使って、MP3ファイルを切り出して新しいファイルに保存したり、切り出したファイルを着信音に設定したりできます。

MP3ファイルを切り出す

1 「スタート」→「プログラム」→「MP3 Trimmer」→「開く」

2 切り出すMP3ファイルを選択する

MP3 Trimmer画面に戻り、選択したMP3ファイルのタイトルと再生時間が表示されます。

3 「再生」をタップする

4 切り出しを開始する位置で「開始ポイント」をタップする

開始位置マークが移動します。



5 切り出しを終了する位置で「終了ポイント」をタップする

6 「メニュー」→「名前を付けて保存」→ファイル名を入力し「ok」をタップする

おしらせ
・開始位置マークおよび終了位置マークをドラッグしても、開始ポイントおよび終了ポイントを設定できます。

楽曲の一部を着信音に設定する

1「スタート」→「プログラム」→「MP3 Trimmer」→「開く」

2 着信音に登録するMP3ファイルを選択する

3「メニュー」→「規定の着信音として設定する」

■ My Documentsの「着信音フォルダ」に保存する場合

「メニュー」→「着信音のフォルダに保存する」をタップします。

おしらせ
・MP3ファイルの切り出し後に、「メニュー」→「規定の着信音として設定する」をタップしても着信音に設定できます。

RSS Hubを利用する

[RSS Hub]

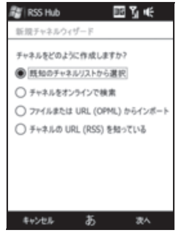
RSSリーダーを使用して、インターネットから最新のニュースをダウンロードし、更新することができます。

新しいチャネルを登録する

1「スタート」→「プログラム」→「RSS Hub」→「続行＞＞」

新規チャネルウィザード画面が表示されます。

2「既知のチャネルリストから選択」を選択し、「次へ」をタップする



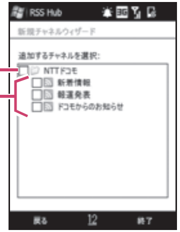
RSSチャネル一覧が表示されます。

・登録したいチャネルが表示されない場合は、「戻る」をタップして、新規チャネルウィザード画面で他のオプションを選択します。

3 登録したいチャネルにチェックを付け、「終了」をタップする

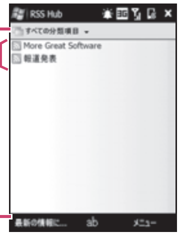
チャネルリスト画面が表示されます。

・チャネルはグループごとに分類されています。グループ内をすべて選択する場合は、分類項目にチェックを付けます。



4「最新の情報に...」をタップする

最新のチャネルに更新されます。



チャネルリスト画面

チャネルを追加する

1 チャネルリスト画面の「メニュー」→「チャネル」→「新規作成」

新規チャネルウィザード画面が表示されます。

2 チャネルをどのように作成しますか？から選択し、「次へ」をタップする。

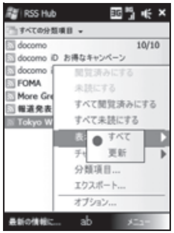
3 画面の指示に従って設定する。



表示するチャネルをフィルタリングする

1 チャネルリスト画面の「メニュー」→「表示」→「すべて」または「更新」をタップする

- すべて：登録されているすべてのチャネルを表示します。
- 更新：未読の見出しのみを表示します。



見出しを表示する

1 チャネルリスト画面で読みたいチャネルをタップする

選択したチャネルの見出しが、見出し画面に表示されます。



見出し画面

見出しの要約を読む

1 見出し画面で、読みたい見出しをタップする

選択した見出しの要約が、要約画面に表示されます。



要約画面

■ さらに詳しい情報を読む場合

1 要約画面で、「オンラインで続きを読む」をタップする

Operaブラウザ(P.83)に情報が表示されます。



要約画面


Opera ブラウザ

「お使いになる前にディスク」から利用できる機能

Sprite Backup、辞書ウォーカー英語、英語で反義GO!、WorldCard Mobileは必要に応じて「お使いになる前にディスク」からインストールしてください。

インストール

「お使いになる前にディスク」からアプリケーションプログラムをインストールします。

あらかじめActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターでの接続設定が完了している必要があります。

1 付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使って、FOMA端末をパソコンに接続する

2 「お使いになる前にディスク」をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

「はじめに」画面が表示されます。

3 言語を選択し、「次へ」をクリックする

4 「その他のツール」をクリックする



5 インストールするプログラムをクリックして、画面の指示に従ってインストールする

アプリケーションプログラムについて

それぞれのアプリケーションプログラムの使い方については、各アプリケーションプログラムのヘルプなどを参照してください。

Sprite Backup

ファイルやデータなど、すべての情報をmicroSDカードにバックアップすることができます。
FOMA端末が故障した場合や修理に出す場合などの万が一に備え、大切なデータはバックアップしておくことをおすすめします。



おしらせ

・Sprite Backupはバックアップやバックアップファイルの復旧作業をはじめる前にFOMA端末を再起動します。

辞書ウォーカー英語

辞書ウォーカー英語は、単語の対訳や成句、用例を調べることができる和英／英和辞書です。

● 辞書ウォーカー英語を使用するには、あらかじめFOMA端末にmicroSDカード(空き容量が101MB以上必要)を取り付けた上で、「お使いになる前にディスク」に格納されている「kodensha」フォルダ(辞書ファイル)を、フォルダごとmicroSDカードにコピーしておく必要があります。microSDカードの使い方についてはP.112を、ファイル／フォルダのコピー方法はP.111をご覧ください。



おしらせ

・入力した文字から予想される単語が、単語候補欄に表示されます。この中から単語を選択することもできます。
・「履歴」タブをタップすると、今までに検索した単語が表示されます。
・検索した単語を単語帳に登録する場合は、「登録」をタップしてください。
・「単語帳」タブをタップすると、単語帳に登録されている単語が表示されます。
・「辞書ウォーカー英語」をインストールすると、同時に「英語で反義GO!」もインストールされます。

英語で反義GO!

英語の反義語の知識を試すゲームです。



おしらせ

・「英語で反義GO!」は、「辞書ウォーカー英語」をインストールすると同時にインストールされます。
・「英語で反義GO!」は「辞書ウォーカー英語」と共通の辞書ファイルを使用します。詳しくは「辞書ウォーカー英語」(P.158)をご覧ください。

WorldCard Mobile

内蔵カメラで名刺を撮影して、記載されている情報を連絡先に登録することができます。



おしらせ

・WorldCard Mobileは、初回利用時から30日間無料で試用できます。続けてご利用になるには製品登録が必要です。なお、試用期間中は名刺データ(連絡先)のエクスポートができません。

MEMO

端末管理

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る ［スキャン機能］

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。→P.165
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

手動で全ファイルをスキャンする ［スキャン］

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。→P.164
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください。

1 「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

「パターンデータ更新を起動してください」という画面が表示された場合は「ok」をタップしてください。

2 「スキャン」→「OK」をタップする



セキュリティスキャン画面



スキャン中画面

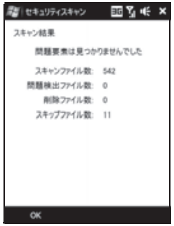
スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

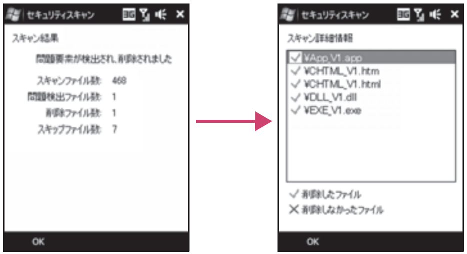
■「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき

[OK]をタップして画面を閉じてください。



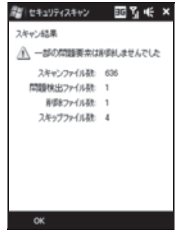
■「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき

[OK]をタップして画面を閉じてください。
または、[詳細]をタップすると削除されたファイルの確認ができます。



■「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき

「詳細」をタップして削除しなかったファイルを確認してください。
削除しなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるので手動で削除することをおすすめします。



スキャン機能を設定する

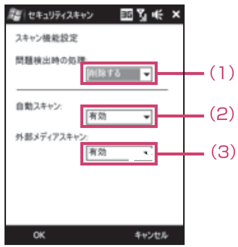
[スキャン機能設定]

問題検出時の動作やスキャン機能の「有効」「無効」を設定します。

お買い上げ時	問題検出時の処理:削除する 自動スキャン:有効 外部メディアスキャン:有効

1「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

2「メニュー」→「スキャン機能設定」



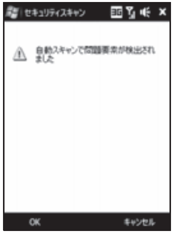
(1)	問題を検出した場合、データを自動的に削除するか設定します。
(2)	ファイル更新時に自動的にスキャンするか設定します。
(3)	外部メディア(microSDカード)をスキャン対象とするか設定します。

次ページにつづく

自動的にファイルをスキャンする
[自動スキャン]

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- 終了するには「OK」をタップします。
- 「詳細」をタップするとスキャン結果が表示されます。



自動スキャン結果を表示する
[自動スキャン結果]

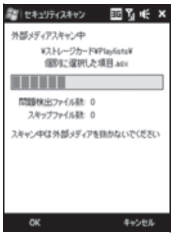
自動スキャンの結果を確認します。

1 「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「自動スキャン結果」

自動的に外部メディアのファイルをスキャンする
[外部メディアスキャン]

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、microSDカードがFOMA端末に挿入された際にmicroSDカードの全ファイルを自動的にスキャンします。

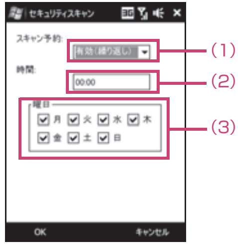


指定した時刻に全ファイルをスキャンする
[スキャン予約]

お買い上げ時	予約スキャンの設定:有効(繰り返し) 時間:00:00 曜日:月･火･水･木･金･土･日にチェック

1 「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

2 「メニュー」→「スキャン予約」



(1)	予約スキャンの設定を行います。
(2)	スキャンを実施する時間を設定します。
(3)	スキャンを実施する曜日を設定します。

おしらせ

- 予約スキャンが「有効」に設定されていると、指定した時刻に外部メディアを含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。

パターンデータを更新する

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

- 最新のパターンファイルをダウンロード(通信料無料)してからスキャンを行ってください。

1 「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

2「更新」→「はい」→「はい」をタップする

パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

自動でパターンデータを更新する

［自動更新設定］

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

1「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

2「メニュー」→「自動更新設定」→「有効」

おしらせ

・パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。

・FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

・次の場合はパターンデータを更新できません。

- FOMAカードが未挿入
- FOMAカード不正
- デバイスロック中
- PINロック中
- PINロック解除コードロック中
- 音声通話中
- インターネット接続中
- メール／SMS受信中
- パケット通信中
- ロック中
- 圏外にいる場合
- フライトモード中
- 時計を設定していない場合
- 外部機器接続中
- FOMA通信がOFFの場合
- 海外で利用している場合
- ほかの機能を利用中

・パターンデータの更新に失敗した場合、[M]のアイコンが表示されますので、パターンデータの更新をしてください。

パターンデータのバージョンを確認する

［バージョン表示］

1「スタート」→「プログラム」→「SecurityScan」

「パターンデータ更新を起動してください」が表示されます。

2「メニュー」→「バージョン表示」

プログラムを管理する

プログラムをインストールする

ゲームなどのプログラム（アプリケーション）をFOMA端末にインストールして利用することができます。

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動で回線を切断する場合は、「回線を切断する」（P.75）を参照してください。

プログラムを削除する

お客様がご自身でインストールしたプログラムを削除します。また、お買い上げ時に登録されているプログラムは削除することができません（「NAVITIME」は削除できます）。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「プログラムの削除」

インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

2 削除するプログラムを選択し、「削除」→「はい」



メモリの使用量を確認する

[メモリ]

データ記憶用の記憶領域やプログラム実行用の記憶領域、またmicroSDカードの記憶領域などの使用状況を確認することができます。実行中のプログラムを確認することもできます。
プログラムが不安定になったり、プログラムメモリの残量が少なくなった場合は、実行中のプログラムを中止するなどしてメモリの空き容量を確保してください。

メモリの空き容量を確認する

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」→「メイン」タブ

おしらせ

・「メイン」タブには、データ記憶用メモリの使用容量と空き容量、プログラム実行用メモリの使用容量と空き容量が表示されます。

microSDカードの空き容量を確認する

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「メモリ」→「メモリ カード」タブ

ボタンの機能を変更する

[ボタン]

に割り当てられているプログラムをお好みのプログラムに変更することができます。また、項目を選択する画面などで◎を押し続けたときのスクロールの設定を変更することもできます。

ボタンの割り当てを変更する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボタン」→「プログラム ボタン」タブ

2 割り当てるプログラムをプルダウンメニューから選択する

3 「ok」をタップする

上／下コントロールボタンの設定を変更する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「ボタン」→「上／下コントロール」タブ

2 ◎を押し続けたときにスクロールを開始するまでの待ち時間や移動速度を設定する

3 「ok」をタップする

外部GPS機器を接続する

[外付けGPS]

市販の外部GPS機器と、市販のGPS対応ソフトウェアを利用する場合に、外部GPS機器からGPSデータを取得するための通信ポートやハードウェアポートを設定します。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「外付け GPS」

2 「プログラム」タブ、「ハードウェア」タブ、「アクセス」タブの各項目を設定する

3 「ok」をタップする

バージョン情報を確認する

[バージョン情報]

本FOMA端末のオペレーティングシステムのバージョンやデバイス名などの情報を確認できます。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「バージョン情報」

装置情報を確認する

[装置情報]

FOMA端末のハードウェアのバージョン情報や端末固有IDなどを確認します。

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「デバイス情報」

2 「バージョン」タブ、「ハードウェア」タブ、「ID」タブをタップする

ネットワークへの接続に関する設定を行う

CSDラインの種類

CSD（Circuit Switch Data）接続を行うときに使用する回線の種類を設定できます。接続を確立できない場合を除き、通常は設定を変更する必要はありません。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「高度なネットワーク設定」→「CSDラインの種類」タブ

2 「データレート」および「接続要素」を選択する

3 「ok」をタップする

おしらせ
・日本国内ではCSD接続は使用できません。

HSDPA

FOMAハイスピードによるパケット通信（HSDPA:High Speed Downlink Packet Access）を有効にします。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「高度なネットワーク設定」→「HSDPA」

2 「HSDPAを有効にする」にチェックを付ける

3 「ok」をタップする

次ページにつづく

PC への USB接続

パソコンとのUSBによる接続を、シリアル接続またはLAN接続に切り替えます。

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「PCへのUSB接続」

2「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付ける

シリアル接続する場合はチェックを外します。

3「ok」をタップする

SMSサービス

SMSを使用するためのサービスをGPRS、GSMから設定します。

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「高度なネットワーク設定」→「SMSサービス」タブ

2 SMSを使用するためのサービスを選択する

GPRS	GPRS(General Packet Radio Service)でパケット通信をします。GSMより高速で通信が可能です。 まとめて大量のSMSを送信することが多い場合は、GPRSに設定することをおすすめします。
GSM	GSM(Global System for Mobile Communications)方式でデータ通信をします。
GPRS優先	GPRSを優先して選択します。
GSM優先	GSMを優先して選択します。

3「ok」をタップする

通話時間を確認する

[通話時間]

これまでの合計通話時間（受信／送信）を確認することができます。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「デバイス情報」→「通話時間」タブ

登録データを一括して削除する

[データ一括削除]

登録されているデータを削除し、端末をお買い上げ時の状態に戻します。

1「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「ストレージをクリア」

注意画面が表示されます。

2「1234」を入力し、「はい」をタップする

注意

・本操作を行うと、FOMA端末はお買い上げ時の状態に戻ります。FOMA端末にインストールしたプログラムやデータなどはすべて失われますので、メモを取ったりデータをバックアップすることをおすすめします。

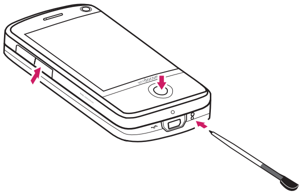
・本操作を行う前に、microSDカードに保存されている暗号化されたファイルは、ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターでパソコンに保存してください。本操作を行う前に暗号化されていたファイルは、一切読み出すことができなくなります。

■ 強制的にデータを一括削除(ハードリセット)する

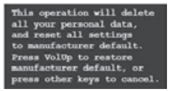
FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 (音量小)と◯(決定)を同時に押したまま、リセットボタンをスタイラスの先で押す

(音量小)と◯(決定)は警告メッセージが表示されるまで押し続けます。



2 警告メッセージが表示されたら、(音量大)を押す


This operation will delete
all your personal data,
and reset all settings
to manufacturer default.
Press VolUp to restore
manufacturer default, or
press other keys to cancel.

(警告メッセージの内容)

ハードリセットを行うと、FOMA端末のすべてのデータや設定内容が削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。(音量大)を押すとハードリセットを開始します。ハードリセットを中止するには、(音量大)以外のボタンを押します。

3 「Restore...completed　Press VolUp to boot」と表示されたら(音量大)を押す

注意

- ハードリセットを行うと、本FOMA端末内のデータや設定内容はすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 本FOMA端末に後からインストールしたプログラムや入力したデータ、カスタマイズした設定はすべて消去されます。

おしらせ

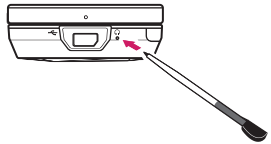
削除されるデータは以下のとおりです。

- メールに保存されているメッセージ
- 連絡先、仕事、予定表の内容
- お客様が撮影し、本体メモリに保存されている静止画／動画
- お客様がインストールしたプログラム
- その他、お買い上げ以降に登録されたすべてのデータおよび設定内容
- FOMAカードに登録されている連絡先やSMSは削除されません。

FOMA端末を再起動する

プログラムの動作が極端に遅くなったり、不安定になったり、フリーズしたりしたときに、ソフトリセットを行います。FOMA端末が再起動して、ホーム画面が表示されます。

FOMA端末の底部にあるリセットボタンを、スタイラスの先で押してリセットします。



注意

- ソフトリセットを行うと、保存していない編集中のデータは失われます。

MEMO

データ通信／ワイヤレスLAN

パケット通信を利用する

■ パケット通信とは

パケット通信では、送受信されたデータ量に応じて課金され、受信最大7.2Mbps、送信最大384kbpsの通信速度※でデータを送受信します。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。少ないデータ量を高速でやり取りするのに適しています。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信を行うこともできます。

※7.2Mbps、384kbpsは規格上の最大値で、実際の通信速度はネットワークの混み具合や通信環境により異なります。FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに非対応のアクセスポイントへの接続時は、送受信ともに最大384kbpsになります。

おしらせ

- データ容量の大きいファイルやデータなどを送受信した場合、通信料が高額になりますので、ご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア以外では、送受信とも最大384kbpsとなります。
- 64Kデータ通信には対応していません。
- 海外ではGPRSおよびGSM回線交換方式によるデータ通信が可能です。

■ mopera Uについて

mopera Uを利用すると簡単な設定でインターネットに接続できます。設定方法は「mopera U」（P.181）を参照してください。

■ Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイについて

Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイを利用するとパケット通信を定額料金でご利用いただけます「Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ」（P.184）を参照してください。

パケット通信を開始する

Internet Explorerなどの、インターネットにアクセスするソフトウェアを起動すると、自動的にパケット通信が開始されます。

■ 手動でパケット通信を開始する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」→「設定」タブ

2 「既存の接続を管理」をタップする

3 接続したい接続名をタップして押したままにする

4 「接続」をタップする

■ 手動でパケット通信を終了する

Comm Manager（P.69）の「データ接続」がオンになっている場合は、電子メールを送受信した後、手動で回線を切断します。

●切断するまでインターネットに接続されています。

1 ステータスアイコンの3Gをタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面で3Gをタップする

切断画面が表示されます。



3 「切断」をタップする

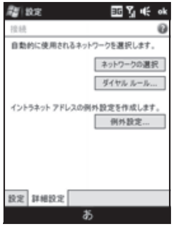
通常使う接続先を設定する

インターネットや電子メール使用時に、自動的に接続するネットワークを通常使う接続先を指定しておきます。

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」→「詳細設定」タブ

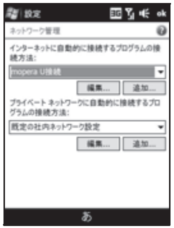
2「ネットワークの選択」をタップする

ネットワーク管理画面が表示されます。



3「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」のリストから接続先を選択する

4「ok」をタップする



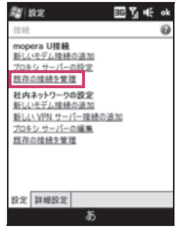
おしらせ

- Biz･ホーダイ／Biz･ホーダイ ダブルに加入した場合は、手順3の後「編集...」→「mopera U(Biz･ホ...」にチェックを付ける→「ok」をタップします。
- 接続先としてmopera U (従量) を選択された場合は、従量課金となりますのでご注意ください。

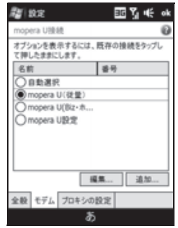
接続先のアクセスポイントを設定する

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」→「設定」タブ

2「既存の接続を管理」をタップする



3 一覧の中から接続するアクセスポイントにチェックを付けて「ok」をタップする



■ パケット接続の設定をする

「mopera U」以外のインターネット接続サービスプロバイダ（以下プロバイダ）を利用する場合は、次の手順で設定を追加します。

- FOMAのパケット通信に対応したプロバイダ／アクセスポイントが利用できます。
- 接続に必要なユーザー名とパスワード、アクセスポイント情報などは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- FOMA端末単体でのデータ通信では、パケット(PDP type=IP)に対応しています。

次ページにつづく

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」→「設定」タブ

2「新しいモデム接続の追加」をタップする

3 新しい接続画面の「接続名」に接続名を入力する（必須）

4「モデムの選択」リストから、「パケット通信（3G, GPRS）」を選択し、「次へ」をタップする

5 アクセスポイント名を入力し（必須）、「次へ」をタップする

6 ユーザー名とパスワードを入力する

ドメインがプロバイダまたはネットワーク管理者から指定されている場合は、「詳細設定」をタップして表示される画面に従って設定してください。



7「完了」をタップする

■ パケット接続の設定を編集／削除する

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「接続」→「設定」タブ

2「既存の接続を管理」→「モデム」タブ

■ 編集する場合

編集する接続名を選択して「編集」をタップし、必要な修正を行い「次へ」→「完了」をタップします。

■ 削除する場合

削除する接続名をタップして押したままにし、表示されたメニューから「削除」をタップします。

おしらせ
・アクセスポイント名は半角英数字で入力してください。

ワイヤレスLANを利用する

ワイヤレスLAN機能を利用して、自宅や社内のアクセスポイント、公衆無線LANサービスなどに接続し次の機能が利用できます。

・メールの送受信
・インターネット接続（OperaブラウザやInternet Explorerの閲覧、天気情報のダウンロードなど）

公衆無線LANサービスを利用するためには、別途プロバイダなどとのサービス契約が必要です。

【ワイヤレス LAN で接続するまでの流れ】

利用形態を決める
↓
公衆無線 LAN サービスで接続する	企業内 LAN で接続する	家庭内など個人環境で接続する
・サービス提供者と契約して接続に必要な情報を入手する	・ネットワーク管理者に問い合わせて接続に必要な情報を入手する	・アクセスポイントを設置して取扱説明書などから接続に必要な情報を入手する

↓
ワイヤレス LAN 機能をオンにする→ P.175
↓
アクセスポイントを設定する→ P.175

● メールやブラウザによるアクセスが開始されたとき、自動的にワイヤレスLANで通信が開始されます（3Gパケット通信よりもワイヤレスLANが優先されます）。

■ Bluetooth対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のワイヤレスLANとBluetooth対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

・ワイヤレスLAN対応機器と、Bluetooth対応機器は、10メートル以上離してください。

・10メートル以内で使用する場合は、ワイヤレスLAN対応機器またはBluetooth対応機器の電源を切ってください。

■ ワイヤレスLAN利用時の注意

・次の状態では、ワイヤレスLANを利用できません。

- 接続先をBiz･ホーダイ ダブルまたはBiz･ホーダイにして通信しているとき→P.184
- ActiveSyncの通信中→P.114

・ワイヤレスLAN接続中にスリープモード(P.152)になると、ワイヤレスLANはいったん切断されます。

ワイヤレスLAN機能をオンにする

● 「スタート」→「プログラム」→「Comm Manager」→「ワイヤレスLAN」をタップして、オンにします。が表示されます。有効なワイヤレスネットワークが検出されると左にが表示されます。

● アクセスポイントに関する情報(ネットワーク名、データ暗号化の形式、ネットワークキー)を確認しておきます。

おしらせ

・アクセスポイントに関する情報は、アクセスポイントにより異なります。アクセスポイントに関する情報がわからない場合は、ワイヤレスLANで接続することはできません。

・社内ネットワークに接続する場合は、社内システム管理者に設定方法をご確認ください。

アクセスポイントを設定する

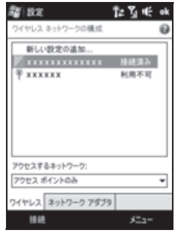
1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Wi-Fi」→「ワイヤレス」タブ

アクセスポイントの一覧画面が表示されます。

接続したいアクセスポイントが表示されない場合は、「アクセスポイントを追加／編集する」で手動登録してください。

2 接続するアクセスポイントを選択し、「接続」をタップする

接続が完了するとがに変わります。

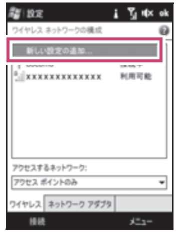


アクセスポイントを追加／編集する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Wi-Fi」→「ワイヤレス」タブ

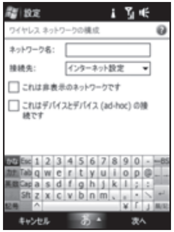
2 「新しい設定の追加」をタップする

既存のアクセスポイントを編集する場合は、対象のアクセスポイントをタップして手順4に進んでください。



3 ネットワーク名を入力する

登録するアクセスポイントのネットワーク名を入力します。



4 ネットワークの接続先を選択する

- インターネット設定:インターネットに接続する場合に選択します。
- 社内ネットワーク設定:社内ネットワークに接続する場合に選択します。

ネットワーク名を配信しないアクセスポイントの場合は、「これは非表示のネットワークです」にチェックを付けます。

アクセスポイントを使用せず、直接パソコンなどのワイヤレスLAN機器と接続する場合(アドホック接続)は、「これはデバイスとデバイス(ad-hoc)の接続です」にチェックを付けます。特に指定がなければチェックを外したままにしてください。

5 「次へ」をタップする

ネットワーク認証の構成画面が表示されます。

6 アクセスポイントの認証形式を選択する

指定がない場合は「オープン」を選択します。

7 アクセスポイントのデータ暗号化形式を選択する

指定がない場合は「無効」を選択します。

8 自動的に提供されるキーを使用するかどうかを設定する

自動的に提供される場合は、「自動的に提供されるキーを使用する」にチェックを付けます。

指定がない場合はチェックを外して、「ネットワークキー」欄にアクセスポイントのネットワークキーを入力します。

9 キーインデックスを設定する

データ暗号化のWEPのためのキーインデックスを設定します。最大4つのネットワークキーを、キーインデックスによって切り替えることができます。

10 「次へ」をタップする

IEEE 802.1xの設定画面が表示されます。

「次へ」が表示されず「完了」が表示された場合は、手順13に進んでください。

11 IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用するかどうかを設定する

アクセスポイントがこの認証方式に対応してる場合は、「IEEE 802.1xネットワークアクセスコントロールを使用」にチェックを付けます。指定がない場合はチェックを外します。

12 EAPの種類を選択する

認証方式を選択します。

13 「完了」をタップする

追加/編集したアクセスポイントの接続情報が保存され、アクセスポイントの一覧画面に戻ります。

アクセスポイントの接続状態を確認する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ワイヤレスLAN」→「メイン」タブ

接続状態の確認以外に、次の設定もできます。

- パワーモード:省電力の設定
- LEAP:LEAP認証方式を使用するアクセスポイントの設定
- Enroll:デジタル証明書(Certificate Enrollement Control)を使用する場合の設定

接続できないときは

接続できないときは、アクセスポイントの設定を確認してください。市販のアクセスポイント機器や公衆無線LANサービスでは、認証、データ暗号化、ネットワークキーの設定が誤っていると接続できません。

正しく設定されていても接続できないときは、次のように設定し、再度接続状態を確認してください。

- 「自動的に提供されるキーを使用する」のチェックを外す
- 「IEEE 802.1xネットワーク アクセスコントロールを使用」のチェックを外す

Bluetoothを利用する

[Bluetooth]

Bluetoothでは、無線を利用して約10メートル以内でBluetooth対応機器とデータの送受信を行うことができます。

- 送受信できるデータは、連絡先／予定表などのPIMデータや画像データなどです。

■ ワイヤレスLAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetoothとワイヤレスLAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、ワイヤレスLAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- ・Bluetooth対応機器とワイヤレスLAN対応機器は、10メートル以上離してください。
- ・10メートル以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器またはワイヤレスLAN対応機器の電源を切ってください。

※：すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。FOMA端末をモデムとしてパソコンからダイヤルアップ接続することはできませんのでご注意ください。

Bluetoothのモードについて

オン　　：Bluetooth機能を有効にします。FOMA端末から他のBluetooth対応機器を検出することができます。

オフ　　：Bluetooth機能を無効にします。このモードでは、Bluetoothを使っての送受信ができません。電池の残量をセーブしたいときや、飛行機や病院の中など、無線の使用が禁止になっている場所などでこのモードにします。

検出可能：Bluetooth機能を有効にし、他のBluetooth対応機器から検出可能な状態にします。

おしらせ

・お買い上げ時には、Bluetooth機能は無効になっています。Bluetooth機能を有効にした後で、FOMA端末の電源を切ると、Bluetooth機能も無効になります。もう一度、FOMA端末の電源を入れると、Bluetooth機能も有効になります。

Bluetoothを有効にする

1 「スタート」→「プログラム」→「Comm Manager」をタップする

Comm Manager画面が表示されます（→P.69）。

2 「Bluetooth」をタップする（Bluetooth機能がオフの場合）

Bluetoothパートナーシップについて

Bluetoothパートナーシップとは、FOMA端末と他のBluetooth対応機器との間で安全に情報交換できるようにするための機能です。

■ FOMA端末をBluetooth通信で検索されるようにする

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」→「モード」タブ

2 「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付け、「ok」をタップする



次ページにつづく

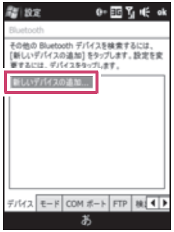
■ Bluetoothパートナーシップを確立する

FOMA端末の周辺にあるBluetooth機器を探します。登録したいBluetooth機器は、あらかじめ登録待機状態にしておいてください。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Bluetooth」

2 「デバイス」タブ→「新しいデバイスの追加」

他のBluetooth対応機器を検索して、画面に表示します。



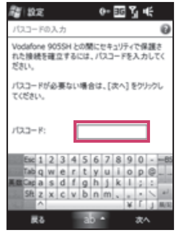
3 目的の機器名をタップし、「次へ」をタップする



4 パスコードを指定して、安全な接続を確立する

指定できるパスコードは、16文字以内です。

5 「次へ」をタップする



6 接続先の機器でパートナーシップを受け入れる操作を行う

指定したパスコードと同じパスコードを入力する必要があります。

7 接続先の機器名が表示される

表示された機器名を変更することもできます。

8 接続先の機器から提供されるサービスの中から、使用したいサービスにチェックを付ける

9 「保存」をタップする

■ Bluetoothパートナーシップを受け入れる

FOMA端末のBluetooth機能が有効で、他の機器から検出できるようになっていることを確認してください。

1 他の機器とのパートナーシップを確立するメッセージが表示されたら、「はい」をタップする

2 パスコードを入力して、接続を確立する

パスコードは、パートナーシップを要求している機器で入力したパスコードと同じものを(16文字以内)を入力します。

3 「次へ」をタップする

4 「完了」をタップする

おしらせ

・Bluetoothパートナーシップの名前を変更するには、Bluetooth設定画面の「デバイス」タブでパートナーシップの名前をタップします。
・Bluetoothパートナーシップを削除するには、Bluetooth設定画面の「デバイス」タブでパートナーシップの名前を1秒以上タップし、「削除」をタップします。
・パスコードがあらかじめ「0000」に設定されている機器とのパートナーシップ時は、FOMA端末でのパスコード入力が省略されます。

着信ビームの設定

他のBluetooth対応機器からビーム認証方式※によりデータが送信されてきたときに、受信できるように設定します。

※：ビーム認証方式は、データ送信側のデバイスでパスワードを入力することにより認証を行う、より安全性の高いBluetooth通信方式です。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ビーム」

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付ける

3 「ok」をタップする

パソコンからFOMA端末を利用して通信する

[インターネット共有]

インターネット共有を使う

「インターネット共有」とは、FOMA端末の 3G パケット通信を利用して、パソコンやノートパソコンなどの機器からインターネットに接続する機能です。例えば、外出先でノートパソコンからインターネットに接続する必要があるときなどに、FOMA端末を付属のUSB接続ケーブル（試供品）やBluetoothで接続すると、ノートパソコンからインターネットホームページなどにアクセスすることができるようになります。

パソコンなどの機器から、FOMA端末を利用してインターネットに接続する方法には、付属のUSB接続ケーブル（試供品）を使って接続する方法と、Bluetoothを使って接続する方法があります。

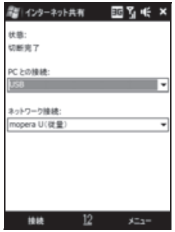
おしらせ

・Biz・ホーダイではインターネット共有をご利用することはできません。
・データ接続の設定がまだお済みでない場合は、インターネット共有画面の右下にある「メニュー」→「接続の設定」から設定してください。
・USB接続ケーブル（試供品）を使って接続する場合は、パソコンにWindows Mobileデバイスセンター（Windows Vista）またはMicrosoft ActiveSync 4.5以降（Windows XP／Windows 2000）がインストールされていることを確認してください。
・インターネット共有を使用する前に、パソコンのWindows MobileデバイスセンターまたはMicrosoft ActiveSyncを終了させてください。

■ USB接続ケーブルを使って接続する

1 「スタート」→「プログラム」→「インターネット共有」

2 「PCとの接続」で「USB」を選択する



3 「ネットワーク接続」で接続名を選択する

インターネット接続で使用している接続名を選択します。

4 付属のUSB接続ケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続する

5 「接続」をタップする

■ Bluetoothを使って接続する

パソコンからFOMA端末を使ってインターネットに接続するには、FOMA端末で「インターネット共有」を起動した後、パソコンとFOMA端末間のBluetooth PAN（Personal Area Network）を設定します。

・パソコン側の設定については、お使いのパソコンやBluetoothアダプタの取扱説明書を参照してください。

次ページにつづく

1 Bluetoothを有効にし、他の機器からFOMA端末を検出できるようにする

「Bluetoothを有効にする」(P.177)を参照してください。

2 FOMA端末でBluetoothパートナーシップを確立する

「Bluetoothパートナーシップを確立する」(P.178)を参照してください。

3「スタート」→「プログラム」→「インターネット共有」

4「PCとの接続」で「Bluetooth PAN」を選択する

5「ネットワーク接続」で接続名を選択する

インターネット接続で使用している接続名を選択します。

6「接続」をタップする

7 お使いのパソコン上で、FOMA端末とのBluetooth PANを設定する

■ Windows Vistaをお使いの場合：

(1)「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有センター」→「ネットワーク接続の管理」
(2)「パーソナルエリアネットワーク」で「Bluetoothネットワーク接続アイコン」をクリックする
(3)ツールバー上の「Bluetoothネットワークデバイスの表示」をクリックする
(4)「Bluetoothパーソナルエリアネットワークデバイス」ウィンドウでお使いのFOMA端末を選択し「接続」をクリックする

■ Windows XPをお使いの場合：

(1)「スタート」→「コントロールパネル」→「ネットワーク接続」
(2)「パーソナルエリアネットワーク」で「Bluetoothネットワーク接続アイコン」をクリックする
(3)「ネットワークタスク」で「Bluetooth ネットワーク デバイスの表示」をクリックする
(4)「Bluetoothパーソナルエリアネットワークデバイス」ウィンドウでお使いのFOMA端末を選択し「接続」をクリックする

FOMA端末のインターネット共有画面で、接続状態が表示され、お使いのパソコンがFOMA端末のBluetooth接続を使って正常にインターネットに接続できていることを確認してください。

他社製のBluetoothアダプタやドングルをお使いの場合は、付属の取扱説明書をご覧ください。

■ パケット通信を終了する

Comm Manager（P.69）の「データ接続」がオンになっている場合は、電子メールを送受信した後、手動で回線を切断します。

●切断するまでインターネットに接続されています。

1 ステータスアイコンの3Gをタップする

システムの状態画面が表示されます。

2 システムの状態画面で3Gをタップする

切断画面が表示されます。



3「切断」をタップする

ドメインへの登録

ドメインに登録すると、FOMA端末のインターネット接続を利用して社内ネットワークにアクセスできます。

1「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「ドメインへの登録」

2「登録」→「次へ」→画面の指示に従って登録する

ドメインへの登録については、社内システム管理者に確認してください。

FOMA端末からパソコンを操作する
[リモートデスクトップモバイル]

ネットワーク内のパソコンをFOMA端末から操作できます。

● 事前にコンピュータ名、ユーザー名、パスワード、ドメインを確認しておいてください。詳細については、社内システム管理者にご確認ください。

1「スタート」→「プログラム」→「リモートデスクトップモバイル」

2 項目を入力し、「接続」をタップする

FOMA端末とパソコンが接続され、ディスプレイにパソコンの画面が表示されます。

■ 全画面表示をする場合
「全画面表示」をタップします。

■ パソコンの操作を終了する場合
「切断」をタップします。

リモートデスクトップのオプション設定

リモートデスクトップの表示や動作を設定します。

1「スタート」→「プログラム」→「リモートデスクトップモバイル」

2「オプション」をタップする

3 表示とリソースを設定する

・表示　　：リモートデスクトップの画面の色、全画面表示するか、画面にあわせて表示サイズを調整するかを設定します。

・リソース：デバイスの保存スペースをパソコンにマップするか、リモートデスクトップの操作音をどのデバイスから出力するかを設定します。

4「ok」をタップする

mopera U

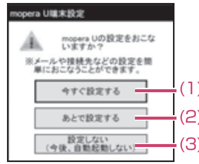
mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。

mopera Uの設定

はじめてFOMA端末の電源を入れたときに、Windows Mobileデバイスの初期設定に続けて、mopera Uを設定するメニュー画面が表示されます。画面の表示に従って、順に設定を行ってください。

● サイト接続中の画面はイメージです。表示内容など、実際の画面と異なる場合があります。

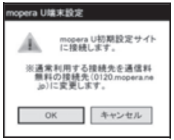
1「mopera U端末設定」メニュー画面表示後、続けて設定を行う場合は、「今すぐ設定する」をタップする



(1)今すぐ設定する	mopera U初期設定サイトへ接続し、mopera Uを快適に利用するために必要な設定を行います。
(2)あとで設定する	mopera Uの設定を終了します。 次回、FOMA端末の電源を入れたときに、再度この画面が表示されます。 メールの設定は後回しにし、すぐにインターネット接続をご利用になるような場合に選択してください。
(3)設定しない（今後、自動起動しない）	mopera Uの設定を終了します。 手動で設定する場合、または他のプロバイダをご利用になる場合に選択してください。 次回、FOMA端末の電源を入れたときに、この画面は表示されません。 再度、mopera U端末設定のメニュー画面を表示する場合は、「スタート」→「プログラム」→ U をタップしてください。

次ページにつづく

2 「mopera U初期設定サイトに接続します。」が表示されたら「OK」をタップする

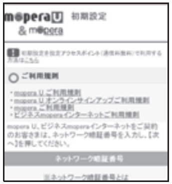


通常利用する接続先を【mopera U設定(0120.mopera.ne.jp)】に変更して接続します。

※通信料は無料です。

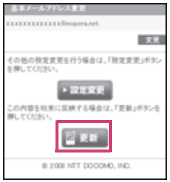
ブラウザが起動し、「mopera U初期設定サイト(http://start.mopera.net/)」が表示されます。

3 画面の指示に該当する項目を選択する

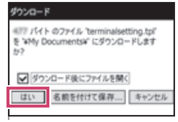


4 メールアドレス、ID、パスワードを確認し、「完了」(または「更新」)をタップする

ダウンロード画面が表示されます。

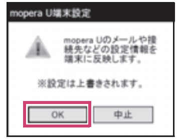


5 ダウンロード画面で「はい」をタップする



mopera Uのメールや接続先などの設定情報がダウンロードされます。

6 mopera U端末設定画面で「OK」をタップする

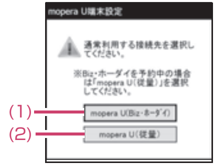


ダウンロードされた設定情報がFOMA端末に反映されます。

※メールやネットワーク接続を設定済みの場合、上書きされますのでご注意ください。

7 「設定が完了しました。」が表示されたら「ok」をタップする

8 通常利用する接続先を選択する



(1)mopera U(Biz・ホーダイ)	通常利用する接続先をmopera U(Biz・ホーダイ)「mpr.bizho.net」に設定します。
(2)mopera U(従量)	通常利用する接続先をmopera U(従量)「mopera.net」に設定します。

注意

・手順1～7の設定を途中で終了または中断した場合、通常利用する接続先がmopera U設定(0120.mopera.ne.jp)に変更されたたままの場合があります。mopera U端末設定を再度実行するか、ネットワーク設定で通常利用する接続先を変更してください。変更の方法は「通常使う接続先を設定する」(P.173)を参照してください。

おしらせ

・ホーム画面(プログラム)、または「スタート」→「プログラム」で表示される U をタップしても「mopera U端末設定」メニュー画面が表示されます。

mopera U端末設定の名称表示

Uアイコンの下に表示される名称は、端末設定の完了／未完了状態によって変わります。

アイコン名称	状態
mopera Uへようこそ	mopera U端末設定が未完了の状態です。
mopera U端末設定	mopera U端末設定が完了している状態です。





mopera Uをご利用になれないときは

mopera Uをご利用になれない場合、以下をご確認ください。

状況	対処方法
mopera Uのアクセスポイントに接続できない。	再度、ご契約の内容をお確かめください。ご契約内容確認後、「通常使う接続先を設定する」(P.173)を参照の上、接続先を設定してください。
mopera Uに接続はされているようだが、インターネットにアクセスできない。	mopera U端末設定を途中で中断した場合、通常利用する接続先がmopera U設定(0120.mopera.ne.jp)に変更されたままの場合があります。 mopera U端末設定を再度実行するか、ネットワーク設定を変更してください。 変更の方法は「通常使う接続先を設定する」(P.173)を参照してください。
海外で接続できない。	海外ではBiz･ホーダイのアクセスポイントをご利用になれません。mopera U(従量)に変更してご利用ください。 変更の方法は「通常使う接続先を設定する」(P.173)を参照してください。
端末設定の途中で電源を切ってしまった。	mopera U端末設定を再度実行してください。 「スタート」→「プログラム」→Uをタップして設定してください。
端末設定を中断したい。	mopera U端末設定を途中で中断するには、次の方法があります。 ･ブラウザを終了 ･回線を切断 ･各画面で「キャンセル」または「中止」を押す 途中で中断した場合、通常利用する接続先がmopera U設定(0120.mopera.ne.jp)に変更されたままの場合があります。 mopera U端末設定を再度実行するか、ネットワーク設定を変更してください。 変更の方法は「通常使う接続先を設定する」(P.173)を参照してください。

■ ドコモ公衆無線LANサービスについて

ドコモ公衆無線LANサービス※をご利用いただければ、空港、駅、ファーストフード店、カフェなどで無線による高速大容量インターネットアクセスが可能です。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。

※お申し込みが必要な有料サービスです。

Biz・ホーダイ ダブル／Biz・ホーダイ

Biz・ホーダイ ダブルとは、iモード以外のパケット通信（パソコンなどに接続しての利用は除きます）を気軽にはじめられる安心の2段階パケット定額サービスです。また、Biz・ホーダイとは、定額料金でiモード以外のパケット通信（パソコンなどに接続しての利用は除きます）が利用できるサービスです（2008年12月31日をもって新規受付停止予定）。
またBiz・ホーダイ ダブルおよびBiz・ホーダイの接続を行うために必要なBiz・ホーダイアプリ（両サービス共通）は、ご購入時の段階でインストールされています。Biz・ホーダイ ダブルおよびBiz・ホーダイの設定をした上でご利用ください。

注意事項

- ご利用いただくには事前に「Biz･ホーダイ ダブル」または「Biz･ホーダイ」のご契約が必要です。ご契約をいただけるのは、FOMA新料金プランをご契約いただいている場合に限ります。
- 外部インタフェース（USB、Bluetooth、ワイヤレスLAN）接続時にはご利用できません。
- mopera U、ビジネスmoperaインターネット（法人向け）など、Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイ対応インターネット接続サービスのお申し込みが必要となります。
- i-mode以外の国内におけるFOMAパケット通信のうち、本FOMA端末でパケット通信の接続先としてBiz･ホーダイ対象アクセスポイントを利用して接続したものが、Biz･ホーダイ ダブルの上限額対象通信、またはBiz･ホーダイの定額料金対象通信となります。
- Biz･ホーダイ対象アクセスポイント以外に接続して通信を行った場合はBiz･ホーダイ ダブルの上限額対象外通信、Biz･ホーダイの定額料金対象外通信となり、利用したパケット通信量に応じた通信料金がかかります。
- ネットワークの混雑状況によっては、Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイを適用しない場合に比べて、通信が遅くなることや接続しづらくなることがあります。
- 1回の接続で大量のデータ通信（約20MB以上）があった場合や長時間（約12時間以上）接続された場合は、その通信が中断されたり、それ以降一定時間接続できなくなることがあります。また、1分間に連続して4回以上の接続がなされた場合は、接続が制限されます。
- Windows Live™など、自動通信を行うアプリケーションの利用時に、通信が行えない場合や通信を行っていても［Biz］（白）表示の場合があります。その際は、通信を切断してから再度接続を行ってください。
- Biz･ホーダイからBiz･ホーダイ ダブルへご契約の変更をした場合、Biz･ホーダイアプリから「ご利用機種変更」を行ってください。
- Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイのご契約を解約する手続きについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

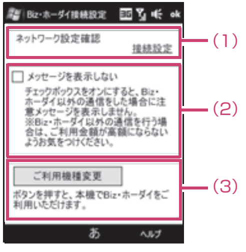
※：2008年10月現在のものとなります。

Biz・ホーダイアプリの設定

設定後はブラウザでインターネット接続しようとしたりメール送受信を行おうとするとBiz・ホーダイで接続されます。接続後、Biz・ホーダイアプリのバージョンアップが自動的に行われることがあります。

1 ホーム画面（ホーム）の［Biz］をタップする

「Biz･ホーダイ接続設定」画面が表示されます。



(1)ネットワーク設定確認	現在のモデム接続先が確認できます。
(2)メッセージ表示設定	・「メッセージを表示しない」のチェックを外すとBiz･ホーダイ以外へ接続を行った際に、ご利用料金に関する注意メッセージを表示します。 ・「メッセージを表示しない」のチェックを付け※るとBiz･ホーダイ以外へ接続を行った際にも、メッセージは表示されません。 また、接続設定の追加･編集を行った場合や、手動でパケット通信を開始する場合(→P.172)は、自動的にチェックが外れメッセージが表示されます。
(3)ご利用機種変更	Biz･ホーダイアプリがインストールされている端末を複数台お持ちの方、または故障などによりご使用の端末を変更される場合は、「ご利用機種変更」をタップします。

※「メッセージを表示しない」にチェックを付けると、以降、Biz･ホーダイ以外へ接続してもメッセージが表示されないため、ご利用には注意してください。

Biz･ホーダイの接続を確認する

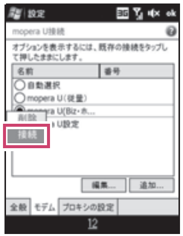
1 ホーム画面（ホーム）のをタップする

2 「接続設定」リンクを選択する

3 「詳細設定」タブ→「ネットワークの選択」

4 「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」で「mopera U接続」を選択し、「編集」をタップする

5 「mopera U(Biz・ホ...」をタップして押したままにし、表示されたメニューから「接続」をタップする



ホーム画面（ホーム）のアイコン表示

Biz・ホーダイアプリが起動しているとき、ホーム画面（ホーム）には、現在の接続状態を示すアイコンが表示されます。



アイコン	状態
(白)	通信していない状態を表示しています。
(黄)	Biz・ホーダイ対象アクセスポイントまたは無料アクセスポイントを利用した通信状態を表示しています。
(青)	Biz・ホーダイ対象アクセスポイント以外の接続先（mopera U など）を利用した通信状態を表示しています。

Biz・ホーダイ接続がご利用になれない場合は、以下をご確認ください。

状況	対処方法
海外で接続ができない	海外では、Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイをご利用になれません。Biz･ホーダイ対象アクセスポイント以外への接続をご利用ください。
電波状況が悪い場合	電波の安定している場所へ移動してご利用ください。
Biz･ホーダイアプリが起動していない場合	Biz･ホーダイアプリを起動してください。 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Biz･ホーダイ接続設定」アイコンをタップして起動することができます。
Biz･ホーダイ対象アクセスポイント以外に接続してしまう場合	Biz･ホーダイ対象アクセスポイント※に接続するようにモデム設定を変更してください。

以上のことをご確認されてもご利用できない場合は、「Biz・ホーダイアプリの設定」（3）ご利用機種変更(P.185)を行ってみてください。

※Biz･ホーダイ対象アクセスポイントは、Biz･ホーダイ ダブル、Biz･ホーダイ共通です。

次ページにつづく

これらの方法をお試しになってもBiz・ホーダイ接続がご利用になれない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合せ先」までお問い合わせください。

Biz・ホーダイアプリの再インストール

Biz・ホーダイアプリをアンインストールした場合でも、再インストールすることができます。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「Biz・ホーダイインストール」

インストールが開始されます。



2 「ok」をタップ

端末が再起動されます。インストールが正常に終了すると、アイコンの表示が「Biz・ホーダイ接続設定」に変わります。





おしらせ

- microSDカードを挿入した状態でインストールを行った場合、インストール先の選択画面が表示されます。「ストレージ」を選択するとインストールが中断されます。
- Biz･ホーダイアプリが起動していないと、定額通信がご利用できません。
- Biz･ホーダイアプリを削除してもBiz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイは解約されません。
- Biz･ホーダイアプリは「インターネット共有」（アプリケーション）と併用してご利用できません。Biz･ホーダイ ダブルおよびBiz･ホーダイ接続時にインターネット共有を起動している場合、インターネット共有が自動的に終了します。
- Biz･ホーダイをご利用にならない場合は、Biz･ホーダイ アプリのアンインストールをおこなうことができます。「プログラムを削除する」（→P.165）で、「NTT DOCOMO Biz-hodai」を選択し、手順に沿ってアンインストールします。

文字入力

文字を入力する

本FOMA端末には、QWERTYキーボードが搭載されているので文字を直接入力することができます。また、ディスプレイに表示したソフトウェアキーボード（入力パネル）から目的の文字をタップして入力することもできます。

■ QWERTYキーボードで入力する場合



入力するキーを押す

■ 入力パネルを使ってディスプレイから入力する場合



入力するボタンをタップする

入力パネル表示アイコン（入力パネルの表示有無を切り替え）

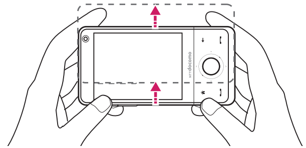
入力セレクタ（入力モードの切り替え）

キーボードを使って入力する

キーボードを開く

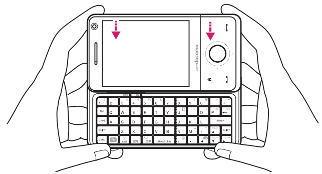
1 本体をスライドさせて開く

ディスプレイは自動的に横向きで表示されます。



キーボードを閉じる

1 カチッと音がするまで閉じる



注意

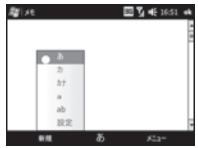
無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

文字入力モードを切り替える（かな／カナ／英）

1 文字入力画面で[FN]＋[入力文字]を押す

文字入力モード選択画面が表示されます。

2 文字入力モード選択画面で入力するモードをタップする



おしらせ

・選択できるモードは次の5種類です。
- ·ひらがな(あ)
- ·カタカナ全角(カ)
- ·カタカナ半角(ｶ)
- ・英全角(a)
- ・英半角(ab)

文字入力モードを切り替える(かな／英半角)

1 文字入力画面で[入力文字]を押す

ひらがなと英半角が交互に切り替わります。

記号入力モードを切り替える

1 文字入力画面で[記号]または「切替」を押す

▶ 全角記号→半角記号→顔文字

の順に切り替わります。画面には、記号や文字が表示されます。

■記号／顔文字を入力するには

画面に表示された記号や文字をタップして入力します。



その他の文字入力

項目	操作	操作結果
英字入力時の大文字と小文字の切り替え	[SHIFT]を1回押してから入力	1文字のみ大文字で入力
	・[SHIFT]を2回押してから入力 ・[CAPS]を押してから入力 (小文字入力に戻るには[SHIFT]、または[CAPS]を押してください)	2文字以降も大文字で入力(Capsロックされる) ※Capsロックを解除すると小文字入力に戻る
	[SHIFT]を押したまま入力	2文字以降も大文字で入力
記号(緑色の文字)の入力	[FN]を1回押してから入力	1文字のみ緑色の記号を入力
	[FN]を2回押してから入力 (黒文字入力に戻るには[FN]を1回押してください)	2文字以降も緑色の記号を入力
	[FN]を押したまま入力	2文字以降も緑色の記号を入力
文字の削除	[DEL]を押します。	カーソルの前の文字を削除します。 (押し続けると入力した文字をすべてクリアします)

おしらせ

・[FN]を押した場合は、[SHIFT]および[CAPS]は無効です。
・Capsロック中に[FN]を押すと、記号の入力ができます。

効果音を設定する　[キーボードスライディングサウンド]

お買い上げ時	オフ

キーボードを開いたり閉じたときに効果音を鳴らすように設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「キーボード スライディングサウンド」

2 「スライディングサウンド」にチェックを付け、効果音を選択して「ok」をタップする

▶をタップして効果音を確認することができます。

次ページにつづく

入力パネルを使って入力する

プログラムを起動したり、文字や数字を入力する欄を選択すると、メニューバーの入力パネル表示アイコンが有効になります。入力パネル切替矢印をタップして、入力モードを切り替えます。
入力モードには、次に示す5つのモードがあります。

- ・10キー入力
- ・ローマ字／かな
- ・ひらがな／カタカナ
- ・手書き入力
- ・手書き検索

文字の入力の際は、単語ごとに変換しながら入力したり、1つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな変換方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

入力モードを切り替える

1 入力セレクタをタップする

入力モードが表示されます。

2 入力モードを選択する



入力セレクタ

おしらせ

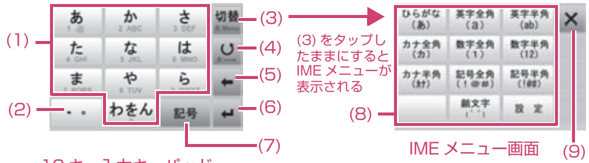
・パスワードを入力する画面では、半角英字モードのみ入力できます。

10キー入力で入力する

■ 10キー入力キーパッドを表示する

1 入力セレクタをタップし、「10キー入力」をタップする

10キー入力キーパッドが表示されます。



10 キー入力キーパッド
（漢字／ひらがな入力モード例）

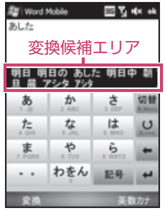
名称	説明
(1)ダイヤルキー	キーに表示されている文字を入力します。
(2)・・／Shift／＊キー	・漢字／ひらがな／カタカナの場合は、濁点／半濁点を入力します。 ・英字入力の場合は、英字を大文字で入力します。 ・数字入力の場合は、＊を入力します。
(3)切替キー	・タップして入力文字の種類を次の順で切り替えます。 ▶漢字／ひらがな→カタカナ→英字→数字 ・タップしたままにするとIMEメニュー画面が表示されます。
(4)戻るキー	ダイヤルキーに割り当てられている1つ前の文字を表示します。
(5)バックスペースキー	カーソルの前の文字を削除します。タップし続けると入力した文字をすべてクリアします。
(6)Enterキー	項目の選択、値の入力、改行などをします。
(7)記号キー	記号／顔文字の入力画面に切り替わります(P.192)。
(8)入力モード	10キー入力キーパッドの入力モードを選択します。
(9)×キー	(8)で選択した入力モードに対応したキーパッドに切り替わります。

■ 文字を入力する
例：「明日」と入力する場合

1 「切替」キーをタップして、入力モードを「漢字／ひらがな」にする

2 「あ」（1回）→「さ」（2回）→「た」（1回）をタップする

3 変換候補の中から「明日」をタップする



おしらせ

・同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、↻を1秒以上タップして、ブルッという合図（バイブ）の後で次の文字を入力します。

ローマ字／かな方式で入力する

■ ローマ字／かなキーボードを表示する

1 入力セレクタをタップし、「ローマ字／かな」をタップする
ローマ字／かなキーボードが表示されます。

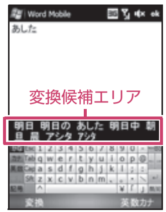
■ 文字を入力する
例：「明日」と入力する場合

1 「かな」をタップする

2 「a」→「s」→「i」→「t」→「a」をタップする

3 「変換」をタップする

4 変換候補の中から「明日」をタップする



ひらがな／カタカナ方式で入力する

■ ひらがな／カタカナキーボードを表示する

1 入力セレクタをタップし、「ひらがな／カタカナ」をタップする
ひらがな／カタカナキーボードが表示されます。

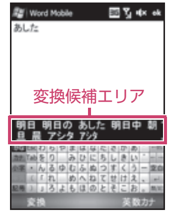
■ 文字を入力する
例：「明日」と入力する場合

1 「かな」をタップする

2 「あ」→「し」→「た」をタップする

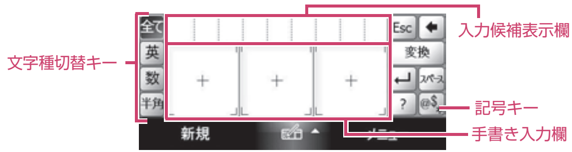
3 「変換」をタップする

4 変換候補の中から「明日」をタップする



手書き入力方式で入力する

1 入力セレクタをタップし、「手書き入力」をタップする
手書き入力キーボードが表示されます。



2 スタイラスで、手書き入力欄に文字を描く
文字を描き進めていくと、候補文字が絞られていきます。

3 変換候補の中から目的の文字が表示されたらタップする

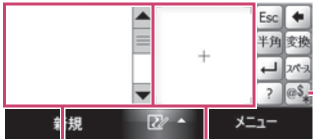


手書き検索を使って入力する

手書き検索画面で手書きできる文字は1文字のみです。

1 入力セレクタをタップし、「手書き検索」をタップする

手書き検索画面が表示されます。



2 スタイラスで、手書き入力欄に文字を描く

文字を描き進めていくと、候補文字が絞られていきます。

3 変換候補の中から目的の文字が表示されたらタップする



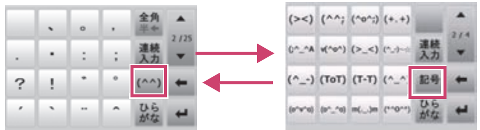
記号／顔文字を入力する

■ 10キー入力キーパッドで入力する場合

1 「記号」をタップする

文字／記号一覧画面が表示されます。

2 (^^)／記号をタップして入力したい記号／顔文字一覧画面を表示する



記号一覧画面　顔文字一覧画面

3 画面に表示された記号／顔文字をタップする

記号／顔文字が入力されます。

> **おしらせ**
> ・文字入力に戻るには「ひらがな／カタカナ／英字／数字」をタップします。
> ・「連続入力」をタップすると連続して入力できます。

■ ひらがな／カタカナ、ローマ字／かな方式で記号を入力する場合

1 「記号」をタップする

記号一覧画面が表示されます。



2 入力したい記号をタップする

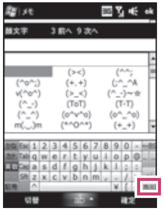
■ ひらがな／カタカナ、ローマ字／かな方式で記号／顔文字を入力する場合

1 「顔/記」をタップする

記号一覧画面が表示されます。

「顔/記」をタップすると、全角記号→半角記号→顔文字の順に切り替わります。

2 入力したい記号をタップし、↵ をタップする



おしらせ

・記号／顔文字の一覧画面を開いた後、記号／顔文字の入力をキャンセルする（入力せずに一覧画面を閉じる）には、←BSをタップします。

変換辞書による文字変換

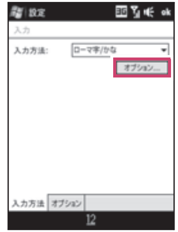
予測変換機能を使うと、入力した文字に応じて候補語が絞り込まれます。



変換辞書の設定を行う

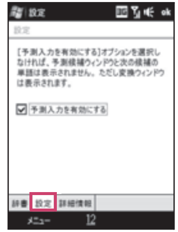
1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」→「入力方法」タブ

2 「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、「オプション」をタップする



3 「設定」タブで「予測入力を有効にする」にチェックを付ける

4 「ok」をタップする



よく使う単語をあらかじめ登録する

[単語登録]

よく使う単語をあらかじめユーザー辞書に登録しておくと、文字入力（編集）画面でその読みを入力して変換したときに登録した単語が表示されます。

新しい単語を登録する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」→「入力方法」タブ→入力方法が「10キー入力」、「ひらがな／カタカナ」、または「ローマ字／かな」のときに「オプション」をタップする

次ページにつづく

2「辞書」タブで「追加」をタップする

単語登録画面が表示されます。



3「読み方：」に読みかたを入力する

4「候補の単語：」に単語を入力する

5「OK」→「ok」をタップする



登録した単語を削除する

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」→「入力方法」タブ→入力方法が「10キー入力」、「ひらがな／カタカナ」、または「ローマ字／かな」のときに「オプション」をタップする

2「辞書」タブで削除する単語を選択する

3「削除」をタップする

削除確認メッセージが表示されます。

4「OK」→「ok」をタップする

ユーザー辞書をリセットする

ユーザー辞書をリセットすると、登録した単語が消去されお買い上げ時の状態に戻ります。

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」→「入力方法」タブ→入力方法が「10キー入力」、「ひらがな／カタカナ」、または「ローマ字／かな」のときに「オプション」をタップする

2「辞書」タブで「メニュー」→「ユーザー辞書をリセット」

3「OK」→「ok」をタップする

学習した内容をリセットする

[学習辞書リセット]

一度入力した文字列を自動的に記憶し、変換時の候補にする機能（学習辞書）をリセット（お買い上げ時の状態に戻す）します。

1「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「入力」→「入力方法」タブ→入力方法が「10キー入力」、「ひらがな／カタカナ」、または「ローマ字／かな」のときに「オプション」をタップする

2「辞書」タブで「メニュー」→「学習辞書をリセット」

リセット確認メッセージが表示されます。

3「OK」→「ok」をタップする

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用いただけません。
- お申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.196
キャッチホン	有料	必要	P.197
転送でんわサービス	無料	必要	P.199
迷惑電話ストップサービス	無料	不要	P.200
発信者番号通知サービス	無料	不要	P.40
国際ローミング	無料	不要	P.200
追加サービス	無料	不要	P.200

おしらせ

・本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

留守番電話サービス

[留守番電話]

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話をかけてきた相手に応答メッセージを返信するサービスです。

- 「伝言メモ」(P.52)を同時に設定しているときに、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの応答時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスを「サービス中」にしているときに、かかってきた音声電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在着信履歴」として記録され、📞!(不在着信あり)がホーム画面に表示されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

▼

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

▼

音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

▼

相手がボイスメッセージを録音／録画する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに「キーパッド」→「#」をタップすると、すぐに録音できる状態になります。

▼

留守番電話サービスセンターにボイスメッセージが入っていることが通知される

▼

ボイスメッセージを再生する

おしらせ

・ボイスメッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。

・留守番メッセージの件数表示は、すべてのメッセージを再生するまで表示したままです。

留守番電話サービスを設定する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「1.留守番電話」をタップする

以下から利用したい項目を選択します。

1.留守番電話サービス開始	「はい」を選択すると、留守番電話サービスを開始します。
2.留守番呼出時間設定	呼び出し時間(0 ～120秒)を入力します。呼出時間のみを変更します。
3.留守番サービス停止	「はい」を選択すると、留守番電話サービスを停止します。
4.留守番設定状態確認	現在のサービスの設定内容を確認します。
5.留守番メッセージ再生	「はい」を選択すると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従ってボイスメッセージを再生します。
6.留守番サービス設定	「はい」を選択すると、音声ガイダンスで留守番電話の設定を変更します。留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。
7.メッセージ問合せ	ボイスメッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
8.件数増加鳴動設定	新しいボイスメッセージをお預かりしたときに、音やバイブレータでお知らせします。この項目を選択する前に、あらかじめ「音と通知」で通知の設定を行ってください。
9.着信通知	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報(着信日時や発信者番号)を、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにSMSでお知らせします。
1.着信通知開始	「全着信規制」を選択すると、すべての着信を通知します。「発信者番号通知」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知します。
2.着信通知停止	「はい」を選択すると、着信通知を停止します。
3.着信通知開始設定確認	着信通知の設定を確認します。
0.留守番アイコン消去	留守番アイコンを消去します。

おしらせ

- 留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりしている場合、ホーム画面に(情報あり)と(留守番電話あり)が表示されます。(留守番電話あり)は、すべての伝言メッセージを再生すると消去されます。
- 着信通知設定および通知(SMSの受信)にかかる料金は無料です。

ボイスメッセージを再生する

1 「ネットワークからのメッセージ　VM:XX」という通知画面が表示されたら「閉じる」をタップする

「新しいボイスメッセージ　VM:XX」が表示されます(XXはメッセージの件数)。

2 →をタップする

再度「新しいボイスメッセージ　VM:XX」が表示されます。

3 「ボイスメール」をタップする

録音されたメッセージが再生されます。

4 音声ガイダンスに従って操作する

キャッチホン

[キャッチホン]

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。

おしらせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「2.キャッチホン」をタップする

次に示す中から利用したい項目を選択します。

1.キャッチホンサービス開始	「はい」を選択すると、キャッチホンを開始します。
2.キャッチホンサービス停止	「はい」を選択すると、キャッチホンを停止します。
3.キャッチホンサービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

おしらせ

・電話を通話中保留にしているときに電話がかかってくると、保留が解除され通話中の状態になります。「ププ･･･ププ･･･」という音が聞こえたら を押すと最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた通話を受けます。

通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた電話を受けます。

2 最初の相手との通話に切り替える

■ あとからかかってきた相手との通話を終了する場合

を押す

あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合

を押す

あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。 を押すたびに通話相手が切り替わります。

「切り替え」をタップしても通話の相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら を押す

最初の相手との通話が終了し、着信音が鳴ります。

2 を押す

あとからかかってきた電話を受けます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手に電話をかけることができます。

1 通話中に相手の電話番号をダイヤル→ を押す

最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。「連絡先」をタップして連絡先を検索することもできます。

連絡先の検索のしかた→P.57

2 最初の相手との通話に切り替える

■ 新しくかけた相手との通話を終了する場合

→ を押す

新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。

■ 新しくかけた相手との通話を保留にする場合

を押す

新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。 を押すたびに通話相手が切り替わります。

「切り替え」をタップしても通話の相手が切り替わります。

転送でんわサービス

[転送でんわ]

電波が届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話を転送するサービスです。

- 「伝言メモ」(P.52)を同時に設定しているときに、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスを「サービス中」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「着信履歴」には「不在履歴」として記憶され、「不在着信あり」がホーム画面に表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

▼

転送でんわサービスを開始に設定する

▼

お客様のFOMA端末に音声電話がかかる

▼

音声電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの通話料について

発信者 → 転送でんわサービスのご契約者 → 転送先

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

おしらせ

・転送でんわサービスを「サービス中」に設定していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「3.転送でんわ」をタップする

利用したい項目を選択します。

1.転送サービス開始		転送先の番号や呼出時間を設定し、「OK」を選択すると、転送でんわサービスを開始します。
	転送先の番号	転送先の電話番号を入力します。
	呼び出し時間	呼出時間(0 ～120秒)を入力します。 呼出時間を0 秒に設定した場合、かかってきた電話は「着信履歴」に記憶されません。
2.転送サービス停止		「はい」を選択すると、転送でんわサービスを停止します。
3.転送先変更		転送先の番号のみ変更します。転送先の電話番号を入力し、「OK」を選択します。
4.転送先通話中時設定※		「はい」を選択すると、転送先が通話中のとき、かかってきた音声電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
5.転送サービス設定確認		現在のサービスの設定内容を確認します。

※:「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 「1」「4」「2」「9」→[キー]

音声ガイダンスに従って設定してください。

詳しくは『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

[迷惑電話ストップ]

いたずら電話などの「迷惑電話」を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。また、「着信履歴」にも記憶されません。

迷惑電話ストップサービスを設定する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「4.迷惑電話ストップ」をタップする

1.迷惑電話着信拒否登録	→「はい」→「ok」 最後に着信応答した相手の電話番号を拒否登録します。
2.電話番号指定拒否登録	→電話番号を入力→「OK」→「ok」
3.迷惑電話全登録削除	→「はい」→「ok」 拒否登録した電話番号をすべて削除します。
4.迷惑電話1登録削除	→「はい」→「ok」 最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。
5.拒否登録件数確認	登録した件数を確認します。

国際ローミング

[国際ローミング設定]

国際ローミングサービスを設定する

- 海外の通信事業者によっては、設定できないことがあります。

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「6.国際ローミング設定」をタップする

以下の項目を選択します。

1.ローミング時着信規制		ローミング中は着信を受け付けないように設定します。
	1.ローミング時着信規制開始	「全着信規制」を選択すると、すべての着信を拒否します。 「64kデータ通信規制」を選択すると、64Kデータ通信の着信を拒否します。 設定するには、ネットワーク暗証番号の入力が必要です。
	2.ローミング時着信規制停止	ローミング中の着信規制を停止します。 停止するには、ネットワーク暗証番号の入力が必要です。
	3.ローミング時着信規制確認	現在の設定内容を確認します。

追加サービス

[追加サービス（USSD登録）]

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

追加サービスや応答メッセージを登録する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「7.追加サービス」をタップする

次に示す中から利用する項目を選択します。

1.USSD機能を追加	→「オプション」→「新規作成」→サービス名とサービスコード(USSDストリング)を入力→「保存」 新しいサービスを追加します。 サービス名は、全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。
2.応答メッセージを追加	→「オプション」→「新規作成」→応答メッセージとサービスコード(USSDストリング)を入力→「保存」 新しいサービスを追加します。 登録したネットワークサービスを利用するときに、ネットワークから通知されるコマンドに対して応答メッセージを登録します。

おしらせ

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。
- 新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するための「特番」または「サービスコード」が通知されます。FOMA端末には「特番」または「サービスコード」とサービス名を登録してください。
- サービスを利用する場合は、ドコモから通知される「特番」または「サービスコード」を入力します。「特番」はサービスセンターに接続するための番号です。「サービスコード(USSD)」はサービスセンターに通知するためのコード番号です。

登録したサービスを利用する

1 「スタート」→「設定」→「接続」タブ→「NW サービス」

2 「7.追加サービス」をタップする

3 「USSD機能を追加」→登録したサービスをタップする

サービスダイヤル

FOMAカードにあらかじめ登録されている、「ドコモ総合案内・受付」や「故障の問合せ」などへ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や、表示されない場合があります。

サービスダイヤル番号を表示する

1 「スタート」→「プログラム」→「SIMマネージャ」→「メニュー」→「ツール」→「サービスダイヤル番号」

1.ドコモ故障問合せ	ドコモの故障お問い合せ先へ電話をかけることができます。
2.ドコモ総合案内・受付	ドコモの総合お問い合せ先へ電話をかけることができます。

MEMO

海外利用

国際ローミングサービスについて

国際ローミング（WORLD WING）は、ドコモがFOMAをご利用の方に提供するサービスで、海外の通信事業者を利用して、海外でも通話やデータ通信などをご利用いただくものです。

- 本FOMA端末は、国内で使用している電話番号を海外でも利用できます。海外でも音声電話、SMSを利用できます。
- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいた方は、お申し込み不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨をお申し込みいただいた方や途中でご解約された方は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で「WORLD WING」をお申し込みいただいていない方はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際ローミングサービスを利用するためには、WORLD WING対応のFOMAカード（青色以外）を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 本FOMA端末は海外のドコモのローミングエリアのみで利用できます。エリアやご利用料金について詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 海外のネットワークには、3Gネットワーク、GSMネットワーク、GPRSネットワークの3つがあります。
  - ・3Gネットワークは、世界標準規格である3GPP※1に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。
  - ・GSM※2ネットワークは、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動通信ネットワークです。
  - ・GPRS※3ネットワークは、GSMネットワーク上でGPRSによる高速パケット通信を利用できるようにした第2.5世代移動通信ネットワークです。

※1:3GPP（3rd Generation Partnership Project）は、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

※2:GSM（Global System for Mobile Communications）は、ヨーロッパで規格が統一された携帯電話機の標準規格で、世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信システムです。

※3:GPRS（General Packet Radio Service）は、通信速度最大115kbpsのパケット通信サービスで、ヨーロッパや中国を中心に普及しています。

海外でご利用になる前の確認

- 海外で利用する場合は、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』もあわせてご覧ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、海外の通信事業者の都合で請求が1ヶ月程度、遅れる場合がございます。
- お買い上げ時は、海外でFOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され滞在先の利用できる通信事業者に設定し直されます。接続する通信事業者を手動で設定する（P.208）こともできます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。海外利用における通信料が高額になる場合がありますので、ご注意ください。

海外でのお問い合わせについて

海外での紛失や盗難、清算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、清算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお、紛失、盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- ユニバーサルナンバー用の国際電話識別番号、国際電話アクセス番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

出発前の準備

- 海外の通信事業者によっては、ネットワークサービスの設定や確認ができない場合があります。ご出発前に『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』および『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

充電について

- ACアダプタの取り扱い上のご注意について→P.15
- ACアダプタでの充電方法について→P.36

おしらせ

・準備や設定について詳しくは『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

ディスプレイの表示、日付・時刻について

海外利用中は、接続している通信事業者名がホーム画面に表示されます。

- ホーム画面(ホーム)に滞在中の時刻を表示させるには、「時計とアラーム」設定画面の「時刻」タブで、「訪問先」を選択し滞在中の都市名を指定します。
- 海外でも国内同様、リダイヤル/発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、送信アドレス一覧のメールは、本FOMA端末の「時計とアラーム」で設定した日付・時刻に基づいて表示されます。ただし、本FOMA端末の「時計とアラーム」の設定に関係なく、送信アドレス一覧のSMSは送信時の滞在国内の日付・時刻に基づいて表示され、受信アドレス一覧は受信時の日本国内の日付・時刻に基づいて表示されます。

海外で利用できる通信サービス

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

※:設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、利用する海外の通信事業者によっては利用できない場合があります。詳細は『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』や『ご利用ガイドブック(ネットワークサービス編)』をご覧ください。

通信サービス	説明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在中の国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信が可能です。
ブラウザ	海外でもインターネット接続が可能です。
電子メール	日本国内で使用している電子メールアドレスのまま、海外でも電子メールの送受信が可能です。
SMS	相手のFOMA端末の電話番号を宛先にして、海外からでもFOMA端末ユーザーどうしでSMSの送受信が可能です。
パソコンなどと接続して行うデータ通信	パソコンなどと接続して、海外でもパケット通信によるデータ通信の利用が可能です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。

- FOMAネットワークに設定されない場合は、ネットワークの種類を設定してください(P.208)。
  - ・ネットワークタイプ:「自動」または「3G」
  - ・周波数:「Auto」または「UMTS(2100+800)」

滞在先での電話のかけかた/受けかた

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。この場合、着信履歴画面から電話をかけることはできません。

滞在国外(日本含む)に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、日本以外の国や地域から音声電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。



電話画面

1 〔—〕を押す

電話画面が表示されます。

2 +(「0」を1秒以上タップする)→国番号→地域番号(市外局番)→相手先電話番号の順にダイヤルする

地域番号(市外局番)が「0」ではじまる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになるときは「0」が必要になる場合があります。

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」(日本)をダイヤルしてください。

3 〔—〕を押す

次ページにつづく

■ 主要国の国番号について

国際電話を利用するときは、以下の番号をご使用ください。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

※：このほかの国の番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』を確認してください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

海外からのお問い合わせ時にユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）がご利用できない場合は、国際電話アクセス番号を利用します。主要国の国際電話アクセス番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021／0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号をダイヤルし、対応する番号に電話をかけると、海外からでも各種お問い合わせをすることができます。

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は以下のとおりです。

ご利用地域	番号	ご利用地域	番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

※：ユニバーサルナンバーは携帯電話や公衆電話、ホテルなどからご利用いただけない場合が多いため、ご注意ください。

※：ユニバーサルナンバーは、上記表に記載のある国のみご利用可能です。

※：ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認されてからご利用ください。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号をダイヤルするだけで電話をかけることができます。

1 を押す

電話画面が表示されます。

2 相手の電話番号をダイヤルする

一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）+相手先電話番号をダイヤルします。

電話をかける相手が「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

3 を押す

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話番号を変更することなく、いつもどおりに電話を受けることができます。

1 電話がかかってきたらを押す

2 会話が終了したら、を押す

おしらせ

・国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 相手からの電話のかけかたについて

●日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本FOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

●日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合

滞在先が日本国内または海外にかかわらず、国際アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

国際アクセス番号 - 81 - 90（または80） - XXXX - XXXX

海外利用に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を利用するには、滞在先のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定してあります。
手動でネットワークを切り替える必要がある場合には、次の手順に従って海外の通信事業者のネットワークや帯域を設定してください。

ネットワークの種類を設定する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「帯域」タブ

2 ネットワークタイプをリストの中から選択する

次の項目から選択します。

自動	利用できるネットワークを自動的に切り替えます。
GSM／GPRS	GSM／GPRSネットワーク対応の通信事業者間で切り替えます。
3G	FOMAネットワークなど、3Gネットワーク対応の通信事業者間で切り替えます。

3 周波数をGSM／UMTS帯域リストの中から選択する

次の項目から選択します。

Auto	周波数を自動的に切り替えます。
GSM(900+1800)+UMTS(2100)	ヨーロッパやアジアなど
GSM(1900+850)+UMTS(1900+850)	北米など
UMTS(2100+800)	日本など

※：UMTSとは、日本やヨーロッパなどの3Gネットワークのことです。

優先する通信事業者を設定する

FOMA端末に複数のネットワーク設定をしている場合に、優先してアクセスするネットワークの順番を設定します。

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「ネットワーク」タブ

2 「優先ネットワーク」をタップする

3 優先する通信事業者を選択し、優先する順に並べ替えます。

おしらせ

・ネットワークの設定内容は、FOMAカードに保存されている内容を読み込んでいます。新しいネットワーク設定を作成した場合も、FOMAカードに保存されます。

手動で通信事業者を設定する

1 「スタート」→「設定」→「個人用」タブ→「電話」→「ネットワーク」タブ

2 「ネットワークの選択」→「マニュアル」を選択する

3 通信事業者を選択し「OK」をタップする

おしらせ

・ネットワークタイプ（GSM／GPRS／3G）は表示されません。
・ネットワークの選択を「オート」に設定しているときに同じ通信事業者のGSM／GPRSネットワークと3Gネットワークを一度に検出すると、3Gネットワークに接続します。

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

スタートメニューをタップすると表示されます。

アプリケーション	概要	参照先
Today	ホーム画面を表示します。	P.132
Office Mobile	Office文書の作成や表示ができます。	–
Excel Mobile	Excel Mobileを利用します。	P.125
OneNote Mobile	OneNote Mobileを利用します。	P.128
PowerPoint Mobile	PowerPoint Mobileを利用します。	P.127
Word Mobile	Word Mobileを利用します。	P.124
メール	メール、SMSの送受信ができます。	P.74
自局番号	自局電話番号を表示します。	P.40
電話	電話の発着信などを行います。また、サービス設定などができます。	P.44
予定表	カレンダーにスケジュールを登録します。	P.60
連絡先	友人や知人の氏名、電話番号、勤務先、住所などを登録します。	P.56
プログラム		
ゲーム	Bubble Breaker、Teeter、ソリティアの3種類のゲームがあります。	–
Bubble Breaker	泡を消して、点数を競うゲームをはじめます。	P.146
Treeter	玉をルート上の穴に落とさないように、ゴールまで転がすゲームをはじめます。	P.146
ソリティア	トランプを並べていくゲームをはじめます。	P.147
SecurityScan	FOMA端末に取り込んだデータやプログラムをスキャンします。	P.162
ActiveSync	FOMA端末とパソコンの間で情報の同期ができます。	P.114
Adobe Reader LE	PDFファイルを表示します。	P.129
Bluetooth Explorer	Bluetooth対応機器どうしでファイル交換などのデータ通信ができます。	P.177
Comm Manager	通話および通信機能のオンとオフを切り替えます。	P.69

アプリケーション	概要	参照先
FM Radio	FMラジオを聴くことができます。	P.144
Internet Explorer	インターネットホームページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.86
Messenger	Messengerを起動します。	P.78
mopera Uへようこそ（またはmopera U端末設定）	mopera Uの設定や端末設定を行います。	P.73、P.183
MP3 Trimmer	MP3ファイルを切り出したり、着信音に設定できます。	P.154
NAVITIME	地図検索や乗換案内などが利用できます。	P.147
Opera Browser	インターネットホームページを閲覧したり、プログラムやファイルをインターネットからダウンロードできます。	P.83
RSS Hub	RSSリーダーを使用して、インターネットから最新のニュースをダウンロードし、更新することができます。	P.155
SIMマネージャ	FOMAカードに保存されている連絡先を管理します。	P.57
Windows Live	Microsoft社が提供するオンラインサービスを利用します。	P.77
Windows Media	音楽や動画を再生できます。	P.101
YouTube	動画コンテンツを視聴できます。	P.105
Zip	ZIPフォーマットの書庫ファイルを利用します。	P.113
アルバム	静止画や動画を再生します。	P.97
インターネット共有	FOMA端末からのインターネット接続を、他のパソコンなどから利用します。	P.179
オーディオブースター	音声出力の音質を調整します。	P.106
カメラ	静止画や動画を撮影します。	P.92
クイック GPS	インターネットから衛星データをダウンロードし、すばやくGPS位置を確認します。	P.148
ストリーミングメディア	ストリーミング動画を再生します。	P.104

アプリケーション	概要	参照先
ファイル エクスプローラ	ファイルの整理や管理をします。	P.110
ボイス レコーダー	音声の録音や再生ができます。	P.145
ボイス短縮ダイヤル	連絡先やプログラムにボイスタグを割り当て、ボイスタグを発声して電話をかけたりプログラムを起動したりできます。	P.153
メモ	入力パネルでタップまたは手書きしたメモを作成します。	P.63
リモート デスクトップ モバイル	ネットワーク内のパソコンをFOMA端末から操作できます。	P.181
画像とビデオ	FOMA端末本体やmicroSDカードに保存されている静止画や動画の表示、整理、並べ替えができます。	P.100
検索	FOMA端末に保存されている連絡先、データ、その他の情報を検索します。	P.113
仕事	現在の仕事の進捗や優先度などを管理できます。	P.58
伝言メモ	伝言メモに関する設定ができます。	P.52
電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算ができます。	P.146
設定		
個人用タブ		
Today	ホーム画面に表示されるアイテムや画面の配色(テーマ)をカスタマイズできます。	P.150
オーナー情報	個人情報の入力ができます。	P.41
キーボード スライディング サウンド	FOMA端末を開いたり閉じたりするときの効果音を設定します。	P.189
ボイス短縮ダイヤル	連絡先やプログラムにボイスタグを割り当てます。	P.153
ボタン	ハードウェアボタン( )へのプログラム割り当てや上下ボタンの動作の調整をします。	P.166
メニュー	スタートメニューに表示するプログラムの設定ができます。	P.151
ロック	デバイスロックのパスワードの設定ができます。	P.68
伝言メモ設定	伝言メモに関する設定ができます。	P.52
入力	文字入力や手書き入力に関する設定をします。	P.188
電話	着信音などの電話の設定をカスタマイズしたり、ネットワークサービスなどに関する設定ができます。	P.40 P.53 P.67 P.208
音と通知	メール受信やアラームなどのイベントごとに通知音を設定できます。	P.150
システムタブ		
G-Sensor	ゲーム(Teeter)を行うときに、FOMA端末の水平位置を設定します。	−
TouchFLO	タッチスクリーン上をスクロールしたりパンするときの効果音の設定、スタートメニューの表示サイズやステータスアイコンの拡大表示を設定します。	P.151
Windows Update	Windows Mobileを最新の状態に更新します。	P.220
エラー報告	エラー報告機能の有効/無効を設定します。この機能が有効のときプログラムエラーが発生すると、プログラムとFOMA端末の状態を示す技術データがテキストファイルでログ化されます。エラーが発生したとき送信を選択すると、Microsoftのテクニカルサポートセンターにログが送信されます。	−
カスタマ フィードバック	システムの使用状況に関する匿名情報をマイクロソフト社に送信するかどうかを設定します。	−
ストレージを クリア	メモリからすべてのデータとファイルを消去し、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。	P.168
タスク マネージャ	現在実行中のアプリケーションの確認や終了方法などを設定します。	P.33
デバイス情報	ファームウェアのバージョン、ハードウェア、ID、通話時間などの情報を表示します。	P.167

次ページにつづく

アプリケーション			概要	参照先
		バージョン情報	OSのバージョンや著作権情報を確認します。	P.167
		プログラムの削除	インストールしたプログラムを削除します。	P.165
		マイクロフォンAGC	録音中に自動的に音量調整します。	P.146
		メモリ	FOMA端末のメモリ割り当て状態とmicroSDカード情報を表示します。	P.166
		地域	FOMA端末で表示する数値、通貨、日時の表示方法を、選択した地域ごとに設定できます。	P.153
		外付け GPS	市販の外部GPS機器からGPSデータを取得するための設定を行います。	P.167
		時計とアラーム	日付と時間の変更や特定の曜日と時間にアラームを設定できます。	P.149 P.39
		暗号化	microSDカードにファイルを保存するときに、自動的に暗号化されるように設定します。	P.113
		画面	タッチスクリーンの補正や文字サイズを設定します。	P.29 P.151
		管理プログラム	社内システム管理者によってインストールされたプログラムの履歴を確認します。	–
		証明書	インストールされている証明書についての情報を表示します。	P.69
		電源	バッテリー残量を表示します。また、スリープモードへの移行時間やバックライトの明るさの設定ができます。	P.37 P.152

アプリケーション			概要	参照先
	接続タブ			
		Biz・ホーダイ接続設定／Biz・ホーダイ インストール	Biz・ホーダイの設定、またはBiz・ホーダイアプリのインストールを行います。 ※：アイコン名は、Biz・ホーダイアプリがインストールされているときは「Biz・ホーダイ接続設定」、Biz・ホーダイアプリがインストールされていないときは「Biz・ホーダイ インストール」になります。	P.184
		Bluetooth	Bluetooth機能をオンにして、デバイスを検出可能モードに設定すると、他のBluetoothデバイスの検出ができます。	P.177
		Comm Manager	通話および通信機能のオンとオフを切り替えます。	P.69
		NW サービス	ネットワークサービスの設定を行います。	P.196
		PCへのUSB接続	パソコンとのUSBによる接続を、シリアル接続またはLAN接続に切り替えます。	P.168
		Wi-Fi	有効なワイヤレスネットワークを検出します。	P.175
		ドメインへの登録	FOMA端末を会社のドメインに登録して、社内システム管理者がFOMA端末を管理できるように設定します。	–
		ビーム	FOMA端末がBluetoothで通信できるように設定します。	P.179
		ワイヤレスLAN	有効なワイヤレスネットワークに関する情報を表示し、ワイヤレスLAN設定をカスタマイズします。	P.174
		接続	FOMA端末がインターネットやプライベートのローカルネットワークに接続できるように、パケット通信（GPRS、3G）、Bluetoothなど、モデムの種類を設定します。	P.173
		高度なネットワーク設定	GPRSの認証方式、CSD（Circuit Switch Data）接続を行うときに使用する回線の種類、SMSを使用するためのサービスを設定します。	P.167
ヘルプ			ヘルプを利用します。	–

マルチアクセスについて

[マルチアクセス]

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSを同時に使用できる機能です。これによって音声通話中にメールを受信したり、インターネット接続中に音声電話をかけたりできます。

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスで処理できる動作は次のとおりです。

新たに発生した通信／現在の状態	音声電話の発着信	ブラウザを利用したインターネット接続	電子メールの送受信	SMSの送受信
音声通話中	○※	○	○	○
パケット通信中	○	○	○	○
SMS送受信中	○	○	○	○

○ ：ご利用できます。

× ：ご利用できません。

※ ：キャッチホンをご契約いただき、サービス中に設定している場合に発着信が可能です。

おしらせ

・マルチアクセス中は、それぞれの通信回線に通話料金がかかります。

FOMA端末から利用できるサービス

電話案内サービス(有料:案内料+通話料) ※:電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません。	(局番なし)104
電報の発信(有料:電報料)	(局番なし)115
時報サービス(有料)	(局番なし)117
天気予報(有料)	知りたい地域の市外局番+177
警察への緊急通報	(局番なし)110
消防・救急への緊急通報	(局番なし)119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	(局番なし)118
災害用伝言ダイヤル(有料)	(局番なし)171
コレクトコール(有料:案内料+通話料)	(局番なし)106

おしらせ

・コレクトコール(106)をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円(税込み94.5円)がかかります(2008年10月現在)。

・番号案内(104)をご利用の際には、案内料100円(税込み105円)に加えて通話料がかかります。目や上肢などが不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番(NTT営業窓口)までお問い合わせください(2008年10月現在)。

・本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、118番、119番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらずに、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理期間の準備状況により異なります。

・FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、電話番号と、明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないよう、移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らずに10分程度は着信できる状態にしておいてください。

次ページにつづく

・おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されないことがあります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
・一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
・116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

・電池パック HT02
・リアカバー HT02
・FOMA miniUSB変換アダプタ HT01
・miniUSBステレオヘッドセット HT02
・スタイラス HT02
・FOMA USB接続ケーブル※1
・FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※1
・FOMA ACアダプタ 01／02※1
・FOMA DCアダプタ 01／02※1
・FOMA海外兼用ACアダプタ 01※1※2
・車内ホルダ 01
・FOMA 乾電池アダプタ 01※1
・ワイヤレスイヤホンセット P01※3※4※5

※1 ：本FOMA端末と接続するには、FOMA miniUSB変換アダプタ HT01が必要です。
※2 ：海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3 ：オプション品の操作により電話をかけることはできません。
※4 ：着信時にはFOMA端末からも着信音が鳴る場合があります。
※5 ：FMラジオを聴くことはできません。

異常が起きたとき

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
装置がオフになります。続行しますか？	電源ボタンを5秒以上押したときに表示されます。電源をオフにするには「はい」をタップします。	P.39
暗証番号（PIN）を入力してください。 残りの試行回数は3回です。 緊急通報のみ暗証番号（PIN）なしでかけられます。※1	暗証番号（PINコード）を有効にしているときに電源を入れると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.67
暗証番号（PIN）が正しくありません。もう一度暗証番号（PIN）を入力してください。残りの試行回数は2回です。 緊急通報のみ暗証番号（PIN）なしでかけられます。※1	正しくない暗証番号（PINコード）を入力すると表示されます。正しいPINコードを入力してください。	P.66
緊急通報は可能です。※2	デバイスロック中に表示されます。パスワードを入力し、［ロックの解除］をタップしてください。	P.68
パスワードが間違っています。	パスワードに誤りがあるときに表示されます。正しいパスワードを入力してください。	P.68
SIMカードが存在しません。 通信事業者によっては緊急電話が可能です。※2	FOMAカードが正しく挿入されていない状態で電源を入れたときに表示されます。FOMAカードが正しく挿入されているか確認してください。	P.34
電話はオフになっています。	Comm Managerで通話機能がオフになっている状態で電話を使用するときに表示されます。Comm Managerで通話機能をオンにしてください。	P.69

※1: 日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）に音声発信できません。
※2: FOMAカードが正しく挿入されていない場合、日本国内では、緊急通報（110番、119番、118番）に音声発信できません。

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
SMSを送信できません。	SMSを送信しようとしたとき、本文が長すぎたり、宛先の携帯電話番号が正しくない場合に表示されます。	P.76
このメッセージを下書きフォルダに保存しますか？ 取り消すには[X]をタップします。	電子メールを作成したり編集しているとき、下書きフォルダに保存する前に閉じようとしたときに表示されます。保存するときは「はい」をタップします。作成や編集を続けるには[X]をタップします。	P.74
接続中… 接続先: mopera U 接続先 パケット通信(GPRS, 3G)…	パケット通信のために、ネットワークに接続しようとしているときに表示されます。接続が完了するとパケット通信を利用することができます。	P.72 P.82
接続できません。電話が正しく設定されていること、サービスが利用できること、さらにフライトモードがオフになっていることを確認してから、やり直してください。	Comm Managerで通話機能がオフになっているか、FOMAカードが正しく挿入されていないか、インターネット接続サービスが正しく設定されていない場合に表示されます。	P.69 P.34 P.173
ミュージックファイルが見つかりません	FOMA端末およびmicroSDカードの中に再生できる楽曲ファイルが見つからないときに表示されます。	P.101
この連絡先を完全に削除しますか？	連絡先を削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.57
連絡先は完全に削除されます。続行しますか？	連絡先に登録されている内容の一つを削除しようとしたときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	P.57
名前などの連絡先情報を入力し、[検索]をタップしてください。	Exchange Serverを利用しているとき、共有連絡先の中を検索するときに表示されます。	P.57
この定期的な予定をすべて削除しますか？それとも、今回の予定のみを削除しますか？	定期的なパターンで登録した予定を削除しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが削除されます。「今回のみ」をタップすると、今削除しようとしている予定のみが削除されます。	P.62
この定期的な予定をすべて編集しますか？それとも、今回の予定のみを編集しますか？	定期的なパターンで登録した予定を編集しようとしたときに表示されます。「すべて」をタップすると、このパターンで登録されている予定すべてが編集されます。「今回のみ」をタップすると、今編集しようとしている予定のみが編集されます。	P.62
会議の変更を保存し、出席者に更新メッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定の内容を変更しようとしたときに表示されます。出席者に予定の変更をメールで知らせるときは「はい」をタップします。	P.62
会議を削除し、出席者に取り消しメッセージを送りますか？	出席者が設定されている予定を削除しようとしたときに表示されます。出席者に予定の削除をメールで知らせるには「はい」をタップします。	P.62
XXXがBluetoothによるデバイスへの接続を要求しています。デバイスの一覧にXXXを追加しますか？	他のBluetooth対応端末からFOMA端末に対してBluetoothによる接続の要求があった場合に表示されます。接続する場合は「はい」をタップします。	P.178
電話の機能は現在停止中です。電話の機能を有効にしますか？	Comm Managerで通話機能がオフになっているときに、ActiveSyncでExchange Serverと同期しようすると表示されます。	P.69
サーバーにアクセスできませんでした。サーバーの名前を確認してください。	Exchange Serverの名前が正しくないときに表示されます。 Exchange Serverの名前については、管理者に問い合わせてください。	－
ユーザー情報: 正しいExchange Serverの資格情報を指定してください。	Exchange Serverにアクセスするためのユーザー名やパスワードが正しくないときに表示されます。	－
このソースを削除すると、ソースとの同期関係とそのソースによって使用されているアイテムのみが削除されます。そのほかのアイテムはデバイスに残ります。続行しますか？	FOMA端末に登録した同期するパソコンやExchange Serverの設定を削除するときに表示されます。削除するときは「はい」をタップします。	－

次ページにつづく

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
ActiveSyncをサポートするPCとの既存のBluetoothパートナーシップが見つかりません。パートナーシップをセットアップしますか？	Bluetoothによってパソコンと同期しようとしたとき、パソコンとのパートナーシップが設定されていないときに表示されます。Bluetoothのパートナーシップの設定を行うときは、「はい」をタップします。	P.179

困ったときには

まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要がある場合はソフトウェアを更新してください。
「ソフトウェアを更新する」→P.218

症状	チェックする箇所	参照先
FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）	・電池パックが正しく取り付けられていますか？ ・電池切れになっていませんか？ ・電源ボタンを2秒以上押し続けていますか？	P.35 P.37
電源を入れたのに操作できない	・PINコードを入力する画面が表示されていませんか？ PINコードを入力してください。	P.67
ボタン操作ができない	・パスワード入力の画面が表示されていませんか？ デバイスロックが設定されているので、解除するパスワードを入力してください。	P.68
電話がつながらない（メールやWebが利用できない）	・FOMAカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか？ ・市外局番からダイヤルしていますか？ ・Comm Managerで「フライトモード」がオン、または「通話」がオフになっていませんか？	P.34 P.69
ダイヤルしたが話中音が出てつながらない	・FOMAカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか？ ・圏外ではありませんか？	P.34 P.38
通話が途切れたり切れたりする	・圏外ではありませんか？ ・電波の届きにくい場所でかけていませんか？ ・電池切れになっていませんか？	P.38
画面をタップしても動かない	・電源を入れ直してください。	P.38

症状	チェックする箇所	参照先
充電できない	・FOMA miniUSB変換アダプタのプラグがFOMA端末に確実に差し込まれていますか？ ・FOMA ACアダプタがコンセントにしっかりと差し込まれていますか？ ・電池パックが正しく取り付けられていますか？ ・FOMA端末や電池パックの充電端子、FOMA miniUSB変換アダプタのプラグ、FOMA端末の外部接続端子（USBポート）が汚れていませんか？ ・使用環境の温度が5℃～35℃の範囲外になると、充電できないことがあります。 ・電池パックの寿命、または電池パックの異常の可能性があります。	P.36
熱くなる	・充電中、充電器が熱くなったり、長時間使用するとFOMA端末が熱くなったりすることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、FOMA端末を長時間肌に触れたままにして使用していると、低温やけどになる恐れがあります。	P.8
電池の消耗が早い	・使用環境（周囲の温度／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなることがあります。 ・Bluetooth、ダイレクトプッシュがオンになっていると、電池パックの消耗が早くなります。	P.37
ディスプレイが見にくい	・バックライトの明るさの設定が省電力になっていませんか？	P.152
Bluetooth対応機器から検出されない	・Comm Managerで「Bluetooth」がオフになっていませんか？ ・「このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする」にチェックを付けていますか？	P.69 P.177
ワイヤレスLANに接続できない	・Comm Managerで「ワイヤレスLAN機能」がオフになっていませんか？	P.69
パソコンと接続してもデータの同期やファイルのやり取りができない	・付属のActiveSync（Windows 2000／XP）あるいは、Windows Mobileデバイスセンター（Windows Vista）のソフトウェアをパソコンにインストールしましたか？	P.114 P.121

以上の項目をチェックしても症状が改善されない場合は、本体をリセットしてみてください（P.169）。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
  ※本FOMA端末は、Sprite Backupを使って連絡先などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「困ったときには」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時は必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

・保証書の規定に基づき無料で修理を行います。

・故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有料修理となります。

・ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

・お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの損傷の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

・故障受付窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）

・お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。

次ページにつづく

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・火災・けが・故障の原因となります。
  - ・改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
    ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(連絡先機能)およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新について

[ソフトウェア更新]

ソフトウェアを更新する

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。インターネットを利用したソフトウェア更新には、「ActiveSyncなどを使ってパソコン経由でダウンロードしたファイルをFOMA端末に取り込んで行う方法」と「FOMA端末だけで行う方法」があります。

■ **重要**

ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただしダウンロードデータなどバックアップが取れない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態で実行してください。
- 更新プログラムのインストール中に、更新プログラムを中断して「更新プログラム削除」は行わないでください。

- 次の場合は端末からダウンロードが実行できません。
  - FOMAカード未挿入（ワイヤレスLAN接続時を除く）
  - FOMAカード不正
  - デバイスロック中
  - PINロック中
  - PINロック解除コードロック中
  - 音声通話中
  - インターネット接続中
  - メール／SMS受信中
  - パケット通信中
  - ロック中
  - 圏外
  - フライトモード設定中
  - 他の機能を利用中
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用できません。ただしダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。
- ソフトウェア更新前にスリープモードの設定(P.152)を解除することをおすすめします。
- ソフトウェア更新している時間帯にアラームを設定していても、ソフトウェア更新によりアラーム設定が解除される場合があります。その場合は、ソフトウェア更新終了後、再度アラーム設定をしてください。

ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備

■ **重要**
万が一のトラブルに備え、FOMA端末に登録されているお客様情報やデータのバックアップを推奨いたします。

ソフトウェア更新の前に以下の準備を行います。

- FOMA端末のソフトウェアバージョンを確認する。→P.167
- FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き領域を確認します。→P.166
- FOMA端末のすべてのプログラムを終了します。→P.33

パソコン経由で更新する

1 ダウンロードサイトから、ソフトウェア更新ファイルをパソコンにダウンロードする

ソフトウェア更新ファイルのダウンロードサイトについてはドコモのホームページでご確認ください。

2 ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを使ってFOMA端末の「My Documents」へソフトウェア更新ファイルをコピーする

パソコンとの同期方法→P.114

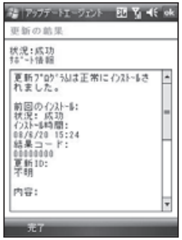
3 FOMA端末で、「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する

My Documentsフォルダについて→P.110

4 ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する

5 「今すぐインストール」をタップする

自動的に再起動した後、更新プログラムがインストールされます。終了すると自動的に再起動し、更新の結果画面が表示されます。



6 「完了」をタップする

ソフトウェア更新が終了すると、ソフトウェア更新ファイルは自動的に削除されます。

FOMA端末でソフトウェア更新を行う

接続形態や接続環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。また、ダウンロードにかかる通信料は、ご契約内容によって変わります。通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。またソフトウェア更新ファイルのファイルサイズによってはダウンロードできない場合がありますのでご了承ください。

1 ダウンロードサイトから、ソフトウェア更新ファイルを「My Documents」にダウンロードする

ソフトウェア更新ファイルのダウンロードサイトについてはドコモのホームページでご確認ください。

2 「My Documents」を開いて、ソフトウェア更新ファイルを表示する

My Documentsフォルダについて→P.110

3 ソフトウェア更新ファイルをタップして実行する

4 「今すぐインストール」をタップする

自動的に再起動した後､更新プログラムがインストールされます｡終了すると自動的に再起動し､更新の結果画面が表示されます。

5 「完了」をタップする

ソフトウェア更新が終了すると､ソフトウェア更新ファイルは自動的に削除されます。

おしらせ

・ソフトウェア更新は､電波が強く､アンテナマークが3本表示されている状態で､移動せずに実行することをおすすめします｡ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり､ダウンロードが中止された場合は､再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

Windows Updateについて

[Windows Update]

マイクロソフト社が提供する、本FOMA端末のオペレーティングシステムWindows Mobile® 6.1 Professionalのシステムファイルの更新があるかどうかをチェックし、必要な場合は最新の状態に更新することができます。あらかじめ更新方法などを設定します。
Windows Updateはマイクロソフト社が提供するサービスです。詳細についてはマイクロソフト社のホームページをご確認ください。

- Windows Updateで適用可能なアップデート有無の確認および配布アップデートをパケット通信でダウンロードすると課金対象となります｡データ量によっては通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Windows Updateを更新中は､電池パックを外さないでください。
- Windows Updateで適用可能なアップデート有無の確認および配布アップデートは､次の状態で実行することをおすすめします。
  - 電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態
  - 電波状態が変わらないように､移動しないで実行できる状態
- Windows Updateを実行する前にFOMA端末内のお客様情報やデータをバックアップしておくことをおすすめします。

更新をチェックする

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「Windows Update」

Windows Update画面が表示されます。

2 「次へ」をタップする

3 「自動」を選択し、「次へ」をタップする

4 「データプランを使用して更新をチェックし、ダウンロードします。」にチェックを付けて「次へ」をタップする

5 「完了」をタップする

6 「チェックする」をタップする

おしらせ

・2回目以降に更新のチェック方法を変更する場合は、「メニュー」→「スケジュールの変更」から選択してください。

Windows Updateを設定する

1 「スタート」→「設定」→「システム」タブ→「Windows Update」

■ Windows Updateのメニュー

項目	説明
詳細の表示	更新内容の詳細を表示します。
接続	データプランを使用して更新をチェックするかどうかを選択します。
スケジュールの変更	更新のチェック方法を「自動」または「手動」から選択します。
プライバシー	プライバシーに関する声明を表示します。

主な仕様

■ 本体

品名		HT-01A
サイズ		高さ約103mm ×幅約 52mm ×厚さ約20mm
質量		約172g(電池パック、スタイラス装着時)
メモリ		ROM　512MB (Flashメモリ) RAM　288MB (SRAM)
連続待受時間	FOMA／3G	静止時(自動):約400時間 移動時(自動):約130時間 移動時(3G固定):約130時間
	GSM	静止時:約240時間
連続通話時間	FOMA／3G	約220分
	GSM	約240分
FOMA ACアダプタ(別売品)での充電時間		約240分
FOMA DCアダプタ(別売品)での充電時間		約240分
液晶部	方式	TFT65,536色
	サイズ	約2.8inch
	画素数	307,200画素(480×640ドット)
撮像素子	種類	外側カメラ:CMOS 内側カメラ:CMOS
	サイズ	外側カメラ:1/4inch 内側カメラ:1/11inch
カメラ画素数		外側カメラ:有効画素数約320万画素 (記録画素数約310万画素) 内側カメラ:有効画素数約31万画素 (記録画素数約30万画素)
デジタルズーム		外側カメラ:最大約4.0倍(6段階) 内側カメラ:最大約2.0倍(6段階)
音楽再生	Windows Media Audio (WMA)ファイル	連続再生時間約540分(バックグラウンド再生対応)
	MP3ファイル	連続再生時間約540分(バックグラウンド再生対応)
FMラジオ周波数帯		76〜90MHz(日本) 87.5〜108MHz(日本以外)
ワイヤレスLAN		IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格 Ver.2.0+EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格 Power Class2
	見通し通信距離※2	約10m以内

次ページにつづく

Bluetooth	対応Bluetoothプロファイル※3	SPP(シリアルポートプロファイル) OPP(オブジェクトプッシュプロファイル) HSP(ヘッドセットプロファイル) HFP(ハンズフリープロファイル) A2DP(アドバンスドオーディオ配信プロファイル) AVRCP(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル) HID(ヒューマンインタフェースデバイスプロファイル)※4 FTP(ファイルトランスファープロファイル) PAN(パーソナルエリアネットワークプロファイル) PBAP (フォンブックアクセスプロファイル)

※1: FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2: 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3: Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

※4: Bluetooth対応のキーボード(別売)を使用する場合、本FOMA端末を開いた状態で文字を入力することはできません。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かないか弱い場所)などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話(通信)・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくても電子メールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話(通信)・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	1340mAh

ファイル形式

静止画と動画は次に示すファイル形式で保存されます。

種類	ファイル形式	拡張子
静止画	JPEG	JPG
動画	MP4	mp4、3gp

■ 静止画の撮影枚数(目安)

カメラ	解像度	本体メモリに保存できる撮影枚数(お買い上げ時)	microSDカード(64MB)に保存できる撮影枚数
外側カメラ	中(320×240)	約8000枚	約4260枚
	大(640×480)	約1890枚	約1010枚
	1M(1280×960)	約645枚	約345枚
	2M(1600×1200)	約445枚	約240枚
	3M(2048×1536)	約280枚	約150枚
内側カメラ	中(320×240)	約8000枚	約4260枚
	大(640×480)	約1890枚	約1010枚

※:撮影条件は、明るさ:0、ズーム:x 1、画質:ファイン

■ 動画の撮影時間(目安)

カメラ	解像度	本体メモリに保存できる撮影時間(お買い上げ時)	microSDカード(64MB)に保存できる撮影時間
外側カメラ／内側カメラ	小(128×96)(4:3)	約110分	約58分
	中(176×144)(11:9)	約110分	約58分
	大(320×240)(4:3)	約40分	約21分
	CIF(352×288)(11:9)	約40分	約21分

※:撮影条件は、明るさ:0、ズーム:x1、音声録音:オン、キャプチャフォーマット:MPEG4

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種［HT-01A］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。
この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。
この携帯電話機HT-01AのSARの値は、0.454W/kgです。この値は、適合性評価機関のテュフ・ライン・ランド・ジャパン(株)によって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人 電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/

※:技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14 条の2)で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). the SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for

example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.85 W/kg, and when worn on the body is 0.82 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted and Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/fccid after search on FCC ID NM8RPLD.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg(W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "HT-01A" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1(b) and 3.2.

This mobile phone compiles with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.596 W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

*   The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

**   The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pace makers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other medial Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera U」「セキュリティスキャン」「パケ・ホーダイ」「Biz・ホーダイ」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴは商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびAdobe Reader、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Mobile®、ActiveSync®、Outlook®、Excel®、PowerPoint®、Windows Media®、Windows Live™、およびInternet Explorerのロゴは、米国Microsoft Corporationの、米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- NAVITIMEは、株式会社ナビタイムジャパンの登録商標です。
- YouTubeは、YouTube,INC.の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee,Inc.またはその関係会社の米国ならびにその他の国における登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

次ページにつづく

その他

・本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
・MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
・MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

・Windows Vistaは、Windows Vista®(Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
・Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
・Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

索引

索引

た

な

は

MEMO

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo(http://www.mydocomo.com/)⇒ 各種お申込・お手続き
※ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう



カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】→P.53
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。

【公共モード(ドライブモード／電源OFF)】→P.50、P.51
電話をかけてきた相手に、運転中または通話を控える必要のあるような場所にいるか、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られないことを通知するガイダンスで応答します。

【バイブレータ】→P.53
電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

【伝言メモ】→P.52
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。そのほかにも、留守番電話サービス(P.196)、転送でんわサービス(P.199)などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
　ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-5366-3114***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※HT-01Aから、ご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.206およびP.207をご覧ください。

海外での故障に関して
〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1） **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※HT-01Aから、ご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は「0」ボタンを1秒以上押します。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2） **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）は、取扱説明書P.206およびP.207をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客さまが購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　HTC Corporation

Li-ion 00　環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

PRINTED WITH SOY INK
この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

再生紙を使用しています

'08.10（2.4版）